

水産業の動き

2022



船びき網漁業 (2020年34,914トン 全国1位)

食と緑の基本計画 2025 の施策体系

食と緑が支える県民の豊かな暮らし

《柱1：生産の柱》持続的に発展する農林水産業の実現

(1) 意欲ある人材の確保・育成

- ア 農業を支える多様な人材の確保・育成
- イ 林業を支える担い手の確保・育成
- ウ 水産業を支える担い手の確保・育成

(2) 生産性の高い農林水産業の基盤を作る取組の充実

- ア 新技術・新品種の開発と普及
- イ 農林水産業を支える生産基盤の整備と環境づくり
- ウ 産地の体制や生産設備の強化
- エ 食の安全・安心の確保

(3) 新たな需要を創造し持続可能な農林水産業の実現

- ア マーケット・インの視点に立った生産・流通の改善
- イ 農林水産物等に関する国内外での需要の開拓
- ウ 環境との調和に配慮した持続可能な農林水産業

《柱2：暮らしの柱》農林水産の恵みを共有する社会の実現

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

- ア 県産農林水産物への理解を深める取組の推進
- イ あいちの農林漁業を応援・体験し参加する機会の提供
- ウ 幅広い世代に対する食育の推進

(2) 災害に強く安全で快適な環境の確保

- ア 農山漁村の強靱化に向けた防災・減災対策
- イ 快適な生活環境の確保
- ウ 暮らしを支える森林・農地・漁場の整備・保全

(3) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山漁村の実現

- ア 地域の特性に応じた農山漁村の活性化
- イ 多面的機能の持続的な発揮につながる活動の推進

はじめに

伊勢湾・三河湾は、古来より魚介類の宝庫として知られ、我々の祖先も古くから、豊かな海の恵みを享受してきました。現在でも本県は、総生産量こそ全国中位ではありますが、多くの魚種において全国有数の産地となっており、沿岸域を中心に特色ある水産業が営まれています。

そして、多種多様な水産物を供給する本県の水産業は、豊かで健康的な日本型食生活の構築や食文化の継承など、県民の皆様の暮らしに重要な役割を果たしています。

しかし、水産業を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、漁場環境の変化に伴う水産資源の減少や沿岸の各種開発に伴う漁場の喪失、就業者の高齢化や後継者不足等の諸問題に加え、近年では、海域の栄養塩類の減少による漁業生産力の低下や、新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻による燃油・資材の高騰など新たな課題に直面しています。

こうした中、本県では2021年3月に「愛知県漁業振興計画」を策定し、将来に向けて本県の水産業が持続的に発展していくための必要な施策に取り組んでいくこととしたところです。

本書は、各種施策を効果的に実施するための基礎資料とするとともに、広く関係者に利用していただくため、県内水産業の動向を総合的にとりまとめたもので、1961年度から刊行を続けており、2010年度からは電子データで公表しています。

皆様に、本県水産業に対する理解を深めていただくとともに、水産業振興の一助としてご活用いただければ幸いです。

2022年12月

愛知県農業水産局長

主な統計用語の説明

1 漁業経営体

(1) 海面

漁業及び養殖業を含みます。調査期日（最新数値は2020年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るため販売を目的として、水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所をいいます。（ただし、年間の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除かれています。）経営体は、5年に1回の漁業センサスで調査されています。

(2) 内水面（養殖業）

調査期日（最新数値は2020年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るために内水面において販売を目的として計画的かつ持続的に投餌または施肥を行い、養殖用または放流用種苗の養成もしくは成魚を養成した世帯及び事業所をいいます。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

2 漁業就業者

海面漁業及び養殖業を含みます。調査期日（2020年11月1日）現在満15歳以上で、過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した人をいいます。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

3 生産量

(1) 海面

海面漁業漁獲量、海面養殖業収獲量の総称で、乗組員の船内食用、自家用、自家加工用、販売活餌等を含みます。全ての水産動植物の採捕時の原形重量であり、藻類は採捕時の生重量、貝類は殻付の重量です。

(2) 内水面漁業

河川・湖沼において採捕された水産動植物の量をいいます。本県の数値は、天然産種苗の採捕量及び自家用を含むほか、漁業権が設定されている全ての河川・湖沼における組合員・遊漁者の採捕量を含みます。一方、全国数値は2006年以降、販売を目的として漁獲した数量となり、2009年から、漁業権等が設定された年間漁獲量50t以上の河川及び湖沼並びに国の施策上毎年の調査が必要な河川及び湖沼（108河川21湖沼）に限定され、本県内の調査対象河川は主要河川（本県は4河川）のみです。なお、貝類の数値は内水面漁業生産統計調査の数値を用いています。

(3) 内水面養殖業

内水面養殖業経営体が食用を目的に収獲した量をいいます。自家用を含みますが種苗販売量は含めません。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。

4 産出額

調査で得られた魚種別生産量に、魚種別産地市場価格を乗じて算出したものです。生産者の手取価格ではなく、販売手数料、輸送費等の販売諸経費を控除せず、また歩戻しを含めない、いわゆる産地市場価格です。2015年度数値から、国の統計用語が「生産額」から「産出額」に改められました、内容は従前と同じです。

なお、内水面の産出額は2003年の統計から調査対象外となったため、県水産課が生産量と全国平均単価により推計しています。

5 水産加工品（加工水産品）

水産動植物を主原料（50%以上）として製造された食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいいます。なお、2001年調査から生鮮冷凍水産物のうち海産ほ乳類及び塩蔵品等、並びに寒天、油脂、飼肥料の調査が中止されました。

記号

「-」：事実のないもの「0」：単位に満たないもの「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「x」：統計法の規定により、秘密保護上統計数値を公表しないもの

6 技術の開発・普及	
○試験研究の動き	24
<主要な問題の解説>	
船びき網の春季休漁による資源増殖効果	25
7 時の話題	
○漁業用燃油価格高騰に対する支援について	26・27
○のり養殖の食害防止対策への支援について	28・29
○第5次漁港漁場整備長期計画の策定	30・31
○水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する 基本計画（第8次愛知県栽培漁業基本計画）の策定について	32・33
○新たに開発した乾燥飼料でうなぎ仔魚を シラスウナギに育成成功	34・35
[資料編]	36～62

1 愛知の水産業

愛知県水産業の主要指標

区 分	単 位	愛 知 県			全 国		備 考
		2015年	2020年	20年/15年	2020年	20年/15年	
海面漁業経営体(A)	経営体	(13年)2,348	(18年)1,924	81.9	(18年)79,067	83.7	漁業センサス
海面個人経営体(B)	経営体	(13年)2,261	(18年)1,849	81.8	(18年)74,526	83.3	漁業センサス
(漁家率B/A)	%	96	96	—	94	—	
海面漁業就業者数	人	(13年)4,319	(18年)3,373	78.1	(18年)151,701	83.8	漁業センサス
内水面養殖経営体	経営体	(13年)290	(18年)214	73.8	(18年)2,704	86.4	漁業センサス
漁船総隻数	隻	5,064	4,052	80.0	219,485	87.5	漁船統計表
海水動力船	隻	4,831	3,905	80.8	207,823	87.8	漁船統計表
海水無動力船	隻	47	28	59.6	3,520	85.7	漁船統計表
淡水動力船	隻	93	69	74.2	5,696	84.8	漁船統計表
淡水無動力船	隻	93	51	54.8	2,444	75.8	漁船統計表
漁業総生産量	t	91,385	69,503	76.1	4,233,948	90.3	全国値には捕鯨を含まない
海面漁業	t	72,056	53,459	74.2	3,213,035	90.5	
海面養殖業	t	12,679	10,292	81.2	970,081	90.7	
(のり生産枚数)	千枚	323,436	256,676	79.4	7,525,614	98.3	
内水面漁業	t	165	84	50.9	21,745	66.1	愛知県は県水産課調べ
内水面養殖業	t	6,485	5,668	87.4	29,087	80.1	きんぎよは含まない
きんぎよ	千尾	8,527	5,496	64.5	—	—	県水産課調べ(*1)
漁業総産出額	百万円	39,888	35,452	88.9	1,322,290	83.1	全国値には捕鯨を含む(*2)
海面漁業	百万円	17,975	13,123	73.0	773,483	77.3	全国値には捕鯨を含む
海面養殖業	百万円	3,950	2,856	72.3	436,847	89.8	
内水面漁業	百万円	322	217	67.4	16,490	89.9	愛知県は県水産課調べ
内水面養殖業	百万円	17,641	19,256	109.2	93,487	109.6	愛知県はきんぎよ(県水産課調べ)を含む(*3)

資料：特に注釈があるもの以外は農林水産統計（海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査）

(*1)：前年12月1日から当該年11月30日までの集計値。

(*2)：小数第1位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

(*3)：愛知県の内水面の産出額については、県水産課が全国平均単価を基に推計した。

県内産業のなかの水産業

●水産業の純生産は159億円

あいちの県民経済計算によると、2019年度の県内全産業の純生産は25兆3,086億円で、前年度に比べ5.2%減少しました。

このうち水産業は約159億円で前年度と同程度となり、全産業に占める割合は0.07%、第1次産業に占める割合は14.3%となっています（A図）。

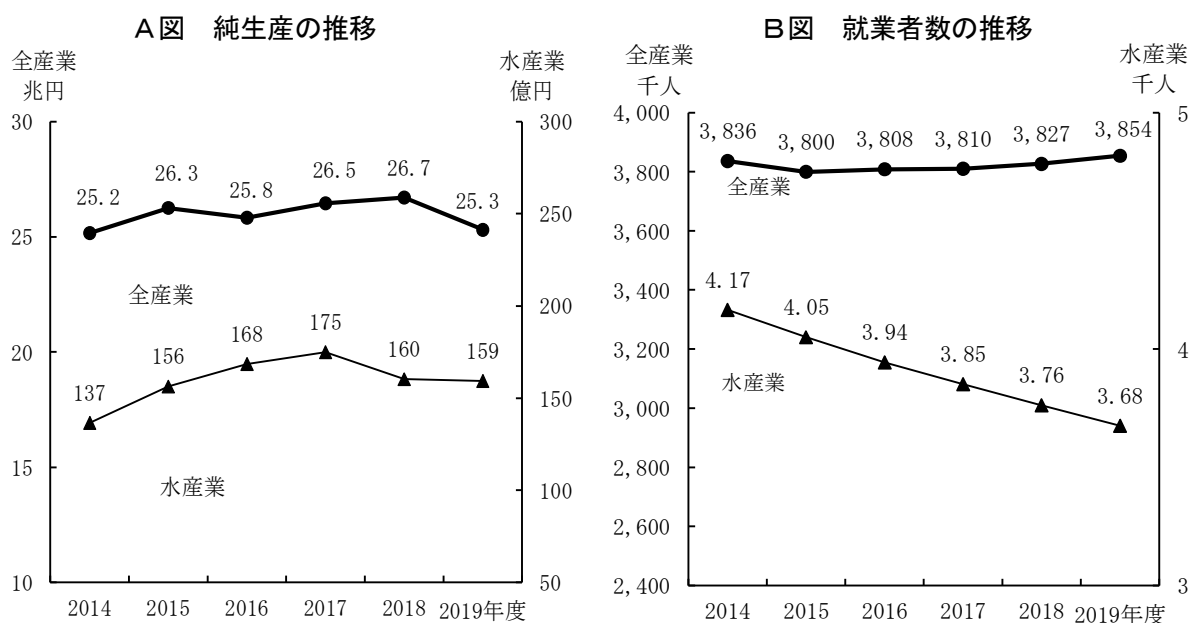
●水産業就業者は全産業就業者の0.1%

あいちの県民経済計算によると、2019年度的全産業の就業者数（従業地ベース）は3,854千人で前年度に比べ0.7%の増加、第1次産業は67.6千人で前年度に比べ2.6%の減少となっています。

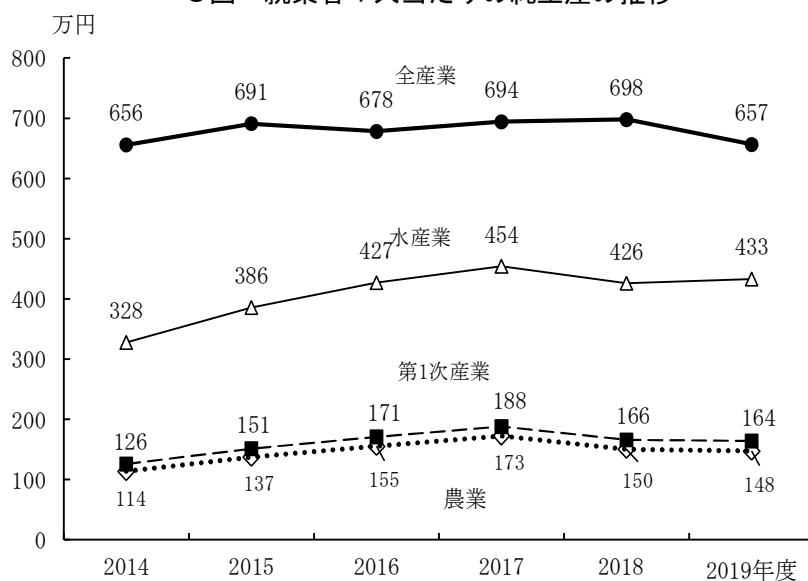
このうち水産業の就業者数は3.68千人で、前年度に比べ2.1%減少しており、水産業就業者数の全産業に占める割合は0.1%、第1次産業に占める割合は5.4%となっています（B図）。

●水産業就業者1人当たりの純生産は約433万円

2019年度的全産業の就業者1人当たりの純生産は657万円で前年度に比べ5.9%減少しました。水産業では433万円で前年度に比べ1.6%増加しており、第1次産業全体の164万円の約2.6倍となっています（C図）。



C図 就業者1人当たりの純生産の推移



(資料 あいちの県民経済計算 (A~C図))

〈主要な問題の解説〉

〈本県水産業の全国位置〉

海面漁業・養殖業において本県の生産量は全国で第22位、産出額は第24位となっていますが（A表）、多くの漁業種類や魚種で上位を占めているのが特色です。

漁業種類別では、小型底びき網、船びき網が盛んで、これらの生産量は全国的にもトップレベルにあります。

魚種別では、くるまえび、がざみ類、あさり類、あゆ養殖が第1位、しらす、にぎす類、くろだい、うなぎ養殖、きんぎょ養殖が第2位、かたくちいわし、すずき類が第3位となっています。全国シェアでは、あさり類が37.2%、くるまえびとがざみ類が30.6%、あゆ養殖が29.1%、うなぎ養殖が25.7%と高くなっています（B表）。

A表 愛知県水産業の全国順位（2020年）

海面漁業・養殖業生産量*1			海面漁業・養殖業総産出額		
順位	県名	(t)	順位	県名	(億円)
全国		4,183,116	全国		12,103
1位	北海道	989,026	1位	北海道	2,021
2位	茨城	302,213	2位	長崎	893
3位	長崎	251,080	3位	愛媛	718
4位	宮城	248,959	4位	宮城	459
5位	静岡	186,500	5位	鹿児島	454
6位	青森	172,491	6位	兵庫	424
7位	愛媛	148,150	7位	静岡	306
8位	三重	144,639	8位	青森	488
9位	宮崎	132,286	9位	高知	252
10位	広島	118,116	10位	三重	309
22位	愛知	63,751	24位	愛知	160

*1 茨城県は海面養殖業が秘匿値のため、海面漁業のみの数値。

（資料 海面漁業生産統計調査）

B表 主要な漁業種類・品目の全国順位（2020年）

漁業種類・品目	1位	2位	3位	4位	5位	全国	本県シェア(%)
小型底びき網 (t)	北海道 356,018	兵庫 7,440	愛媛 6,303	愛知 4,750	千葉 4,217	417,881	1.1%
船びき網 (t)	愛知 34,914	三重 20,727	広島 15,615	兵庫 14,509	愛媛 9,827	153,410	22.8%
かたくちいわし (t)	長崎 25,106	三重 17,738	愛知 15,995	広島 14,158	愛媛 11,675	143,857	11.1%
しらす (t)	兵庫 13,972	愛知 9,428	静岡 6,126	茨城 4,645	大阪 3,175	59,224	15.9%
にぎす類 (t)	石川 784	愛知 310	新潟 273	島根 246	兵庫 242	2,370	13.1%
まだい (t)	福岡 2,073	長崎 1,864	兵庫 1,664	愛媛 1,187	愛知(6位) 629	15,013	4.2%
くろだい (t)	兵庫 434	愛知 260	大阪 170	広島 167	福岡 166	2,353	18.4%
すずき類 (t)	千葉 1,406	兵庫 483	愛知 377	宮城 319	神奈川 258	5,603	6.7%
くるまえび (t)	愛知 75	愛媛 56	福岡 32	大分 22	熊本 15	245	30.6%
がざみ類 (t)	愛知 640	宮城 337	福岡 194	長崎 105	愛媛 104	2,092	30.6%
あさり類 (t)	愛知 1,602	北海道 1,460	静岡 707	福岡 213	長崎 103	4,305	37.2%
のり養殖(千枚)	佐賀 2,000,448	兵庫 1,578,382	福岡 1,453,174	熊本 946,193	愛知(7位) 256,676	7,525,614	3.4%
うなぎ養殖 (t)	鹿児島 7,057	愛知 4,315	宮崎 2,856	静岡 1,536	徳島 249	16,806	25.7%
あゆ養殖 (t)	愛知 1,189	岐阜 906	和歌山 630	栃木 310	滋賀 292	4,044	29.4%
きんぎょ養殖(千尾)	奈良 58,652	愛知 5,496	-	-	-	-	-

注)きんぎょ養殖は県水産課調べ。

愛知県きんぎょは、2019年12月1日から2020年11月30日までの集計値のため、単純比較はできない。

（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ）

2 漁業経営

漁業経営体の動向

●海面漁業経営体は1,924経営体（2018年漁業センサス）

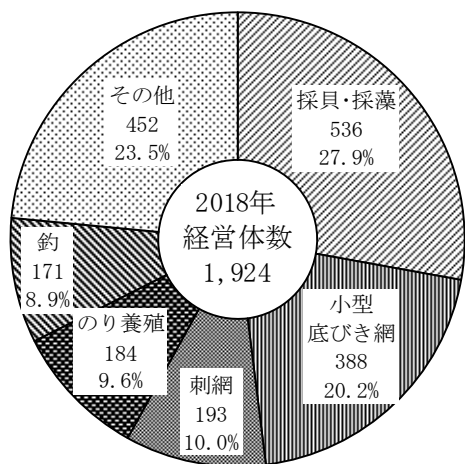
2018年の海面漁業経営体数(養殖業を含む・年間の海上作業日数が30日未満のものを除く)は1,924経営体となっています。主な漁業種類別では最も多いのが採貝・採藻の536経営体で27.9%を占め、以下小型底びき網388経営体(20.2%)、刺網193経営体(10.0%)が上位を占めています(A図)。

海面漁業経営体数は、5年前に比べ424経営体(18.1%)の減となっています(B図)。

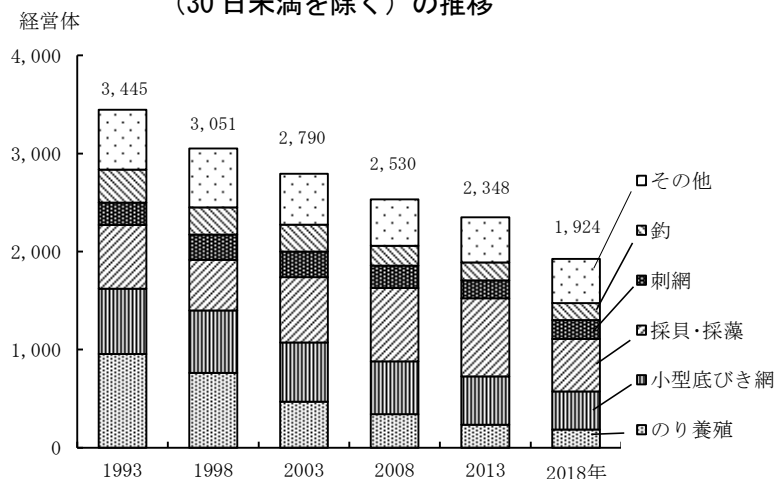
●内水面養殖業経営体数は239経営体（県水産課調べ）

2020年のきんぎょを含めた内水面養殖業の経営体数は239経営体となり、5年前に比べ34経営体(12.5%)の減少となっています(C図、D図)。

A図 海面漁業・養殖業種類別経営体数の構成比

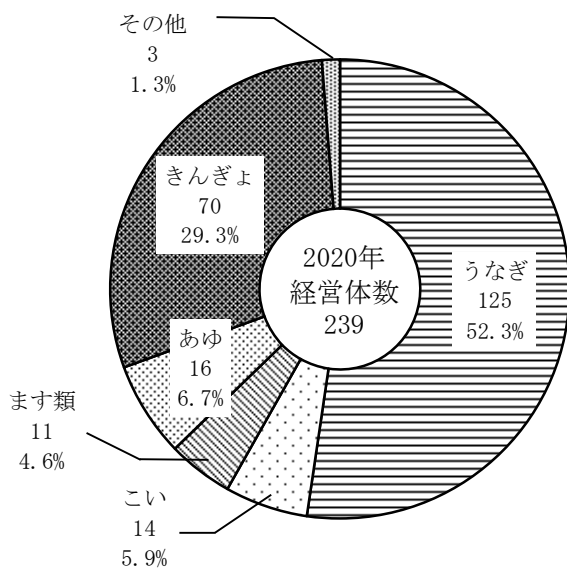


B図 海面漁業・養殖業種類別経営体数(30日未満を除く)の推移

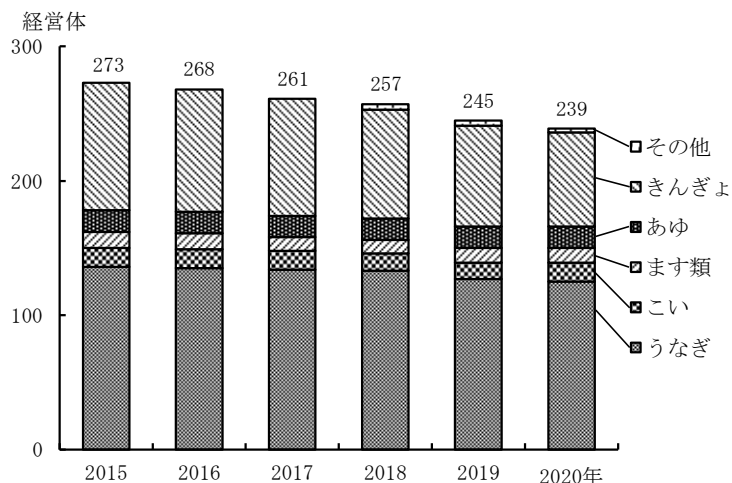


(資料 漁業センサス (A、B図))

C図 内水面養殖業種類別経営体数の構成比



D図 内水面養殖業種類別経営体数の推移



(資料 県水産課調べ (C、D図))

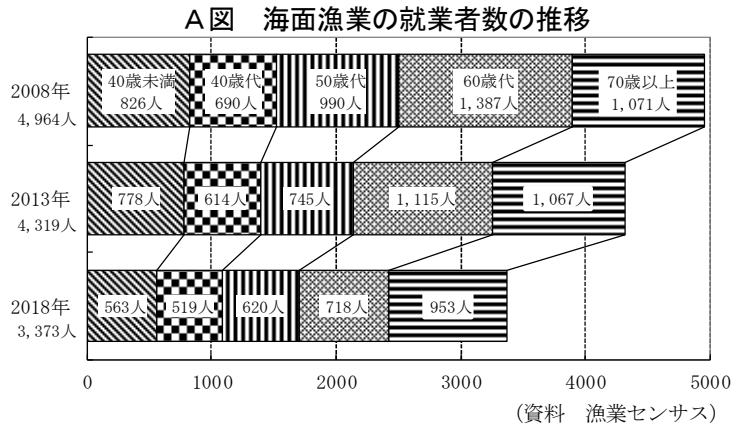
「その他」は2018年より掲載している。

＜主要な問題の解説＞

＜漁業就業者数＞

2018年（第14次）漁業センサスによると、2018年の愛知県の海面漁業の就業者数は3,373人で、5年前の4,319人と比べると946人（21.9%）減少しています（A図）。

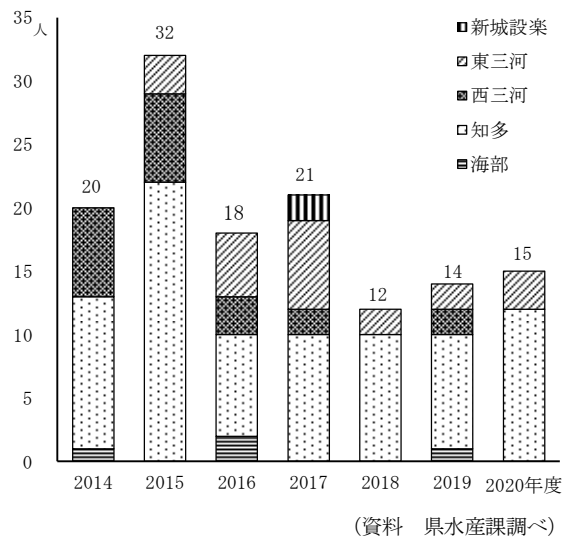
就業者の年齢別内訳は、50歳以上の層が約7割を占め、中でも70歳以上は953人で全体の28.3%を占めており、漁業就業者の高齢化が年々深刻となっています。



＜新規漁業就業者数＞

水産課では、各漁業協同組合の協力により新規漁業就業者の調査を毎年行っています。その結果によると、2020年度は全県で15人の新規就業者があり、知多地区が12人、東三河地区が3人となっています（B図）。新規就業者は減少傾向にあり、漁場環境の変化等により、水産資源の変動が大きくなったため、漁業経営が不安定になっていることが要因の一つと考えられます。

B図 新規漁業就業者数の推移

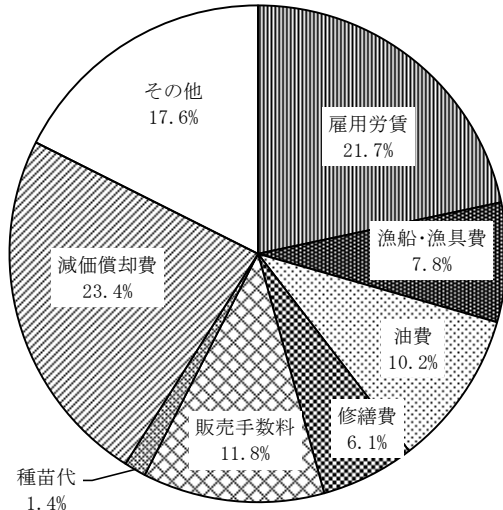
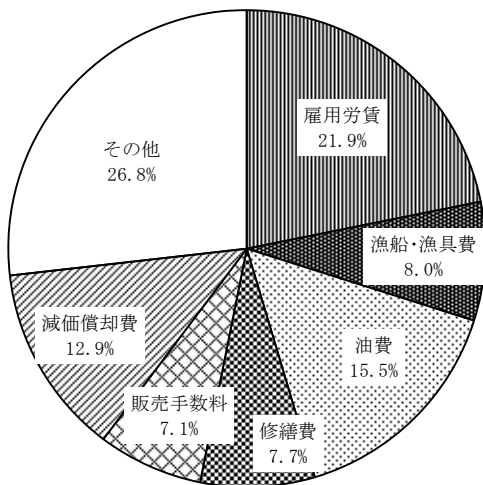


＜漁家経済＞

国の漁業経営調査によると、漁労支出に占める項目別の構成は、漁船漁業（太平洋中区）においては雇用労賃が最も多く21.9%、次いで油費15.5%、減価償却費12.9%となっています。東海2県ののり養殖業では、減価償却費が23.4%と最も多く、次いで雇用労賃21.7%、油費10.2%となっています（C図、D図）。

C図 漁船漁業（個人経営体）の漁労支出構成比（2020年：太平洋中区）

D図 のり養殖業（個人経営体）の漁労支出構成比（2020年：東海2県；愛知・三重）



（資料 漁業経営調査（C、D図））

水産業協同組合の動向

●組合員数、販売事業取扱高ともに減少傾向

水産業協同組合法に基づいて設立された組合は、1960年の134組合をピークに、解散や合併によって減少し、2020年1月1日現在の組合数は54、連合会3となっています。単位組合の組合員数は1989年度（32,830人）以降、毎年減少しており、2020年度には14,086人となっています（A表）。このうち沿海漁協の正組合員数は2,544人で、10年前に比べ29.7%減少しています（A図）。

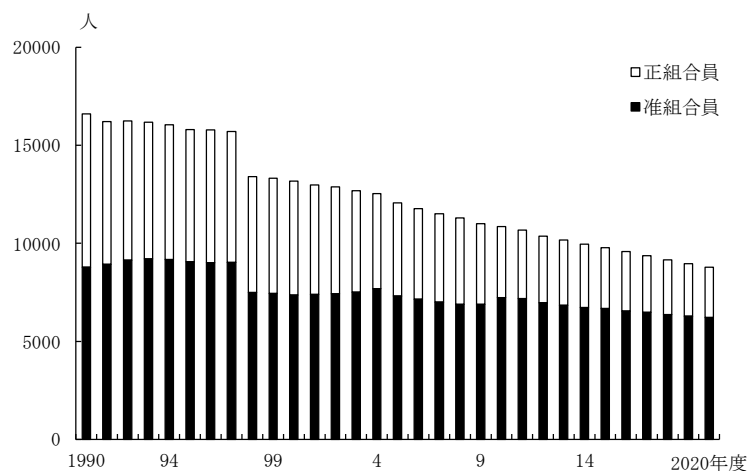
沿海漁協の主要事業である販売事業の取扱高は、高度経済成長とともに増加しましたが、1990年の378億円をピークに減少傾向となりました。なお、2020年は133億円で、10年前に比べ35.9%減少しています（B図）。

A表 本県の水産業協同組合の概況

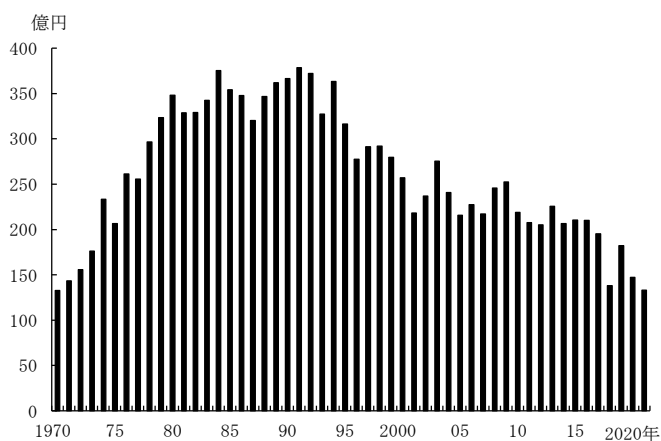
年度	区分	沿海漁業協同組合	内水面漁業協同組合	業種別漁業協同組合	水産加工業協同組合	漁業生産組合	計	連合会	
2020	組合数	22	19	7	-	6	54	3	
	組合員数	正	2,544	4,087	441	-	52	7,124	90
		准	6,234	588	140	-	-	6,962	1
		計	8,778	4,675	581	-	52	14,086	91

(資料 県調べ)

A図 沿海漁協の組合員数の推移



B図 沿海漁協の販売事業取扱高の推移



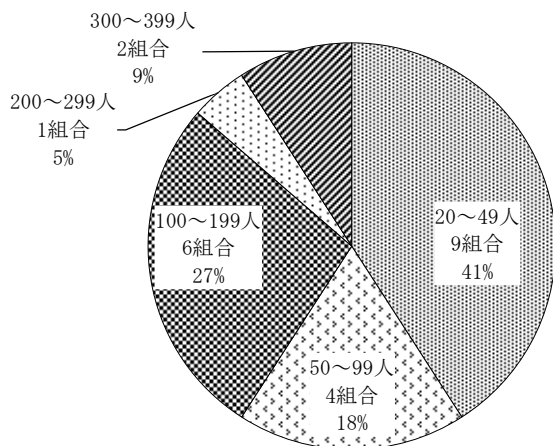
(資料 県調べ (A, B図))

〈主要な問題の解説〉

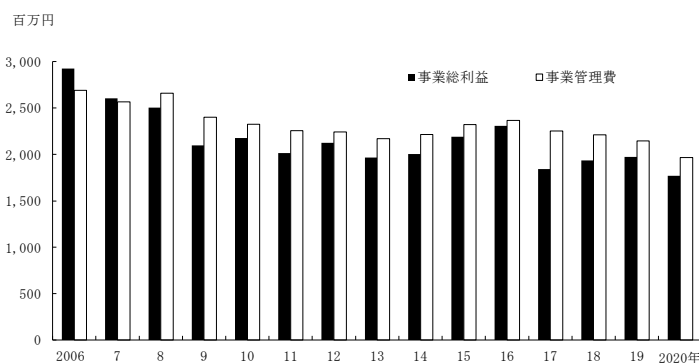
〈沿海漁協の経営規模〉

本県では正組合員数が200人未満の小規模な組合が全体の86%を占めています（A図）。また、事業管理費の大幅な削減が困難な状況にあり、事業管理費が事業総利益を上回るなど漁協経営が厳しい状況が続いています（B図）。後継者不足や高齢化の進行、水産資源の減少、消費者の魚離れなど、漁協経営を取り巻く環境が厳しさを増していることから、早急に将来を見越した経営基盤の強化が必要となっています。

A図 正組合員数別の組合割合



B図 事業総利益と事業管理費の推移

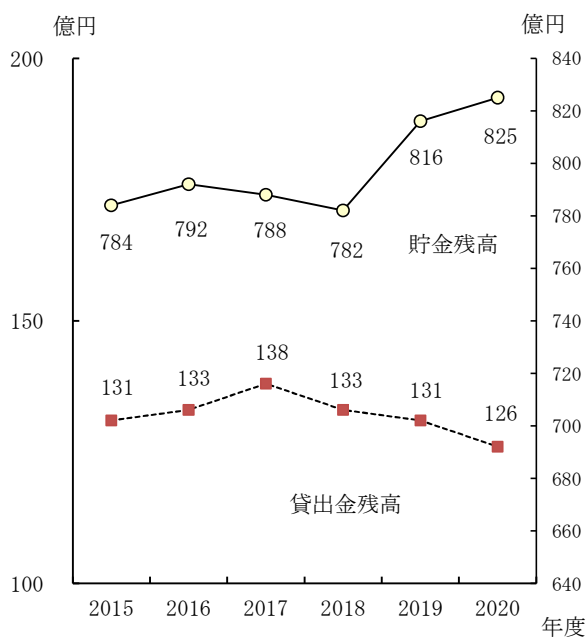


〈漁業金融〉

漁協等の系統団体は、漁業生産活動に必要な資金融資を行うことにより、漁業にとって重要な役割を果たしています。2020年度末における漁協系統貯金残高は、対前年度比1.1%増の825億円、貸出金残高は同3.5%減の126億円でした（C図）。

県では、漁業近代化資金、漁業振興資金、沿岸漁業改善資金の3種類の制度資金を設け、利子補給などにより漁業経営の支援を行っています（A表）。

C図 漁協系統貯金及び貸出金残高の推移



A表 制度資金の概要

区分 資金	融資機関	利率		目的
		貸付利率	利子補給率	
漁業近代化資金	信漁連	年0.50% 【20t以上漁船】 年0.50%	年0.60 ～1.25% 【20t以上漁船】 年1.25%	経営の近代化等に 必要な漁船、 漁具、養殖施設 等の取得促進
漁業振興資金	信漁連	年1.5～ 1.9%	—	短期の運転資金 等
沿岸漁業改善資金	県（窓口 は信漁連）	無利子		沿岸漁業従事者 等が漁業経営の 健全な発展、漁 業生産力の増大 等を図るため

(2022年3月18日現在)

(資料 県調べ (A～C図))

3 漁業生産の基盤

漁船・漁港の動向

●漁船隻数はやや減少

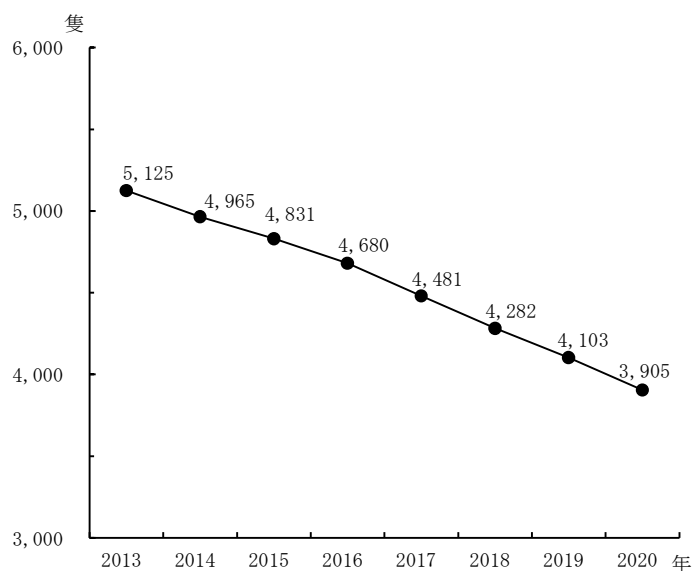
2020年の海水動力漁船の隻数（漁船統計表、2020年12月31日現在）は、前年に比べ198隻減少して3,905隻となっています（A図）。

●漁港への陸揚量

本県の指定漁港は、第1種漁港（利用範囲が地元の漁業を主とするもの）が17港、第2種（利用が第1種より広く第3種に属さないもの）が13港、第3種（利用が全国的なもの）が3港、第4種（避難港等）が1港であり、このうち11港が県管理、23港が市町管理漁港です。漁港における2021年の陸揚量は、54,188 tと前年から7.4%減少しました（B図）。

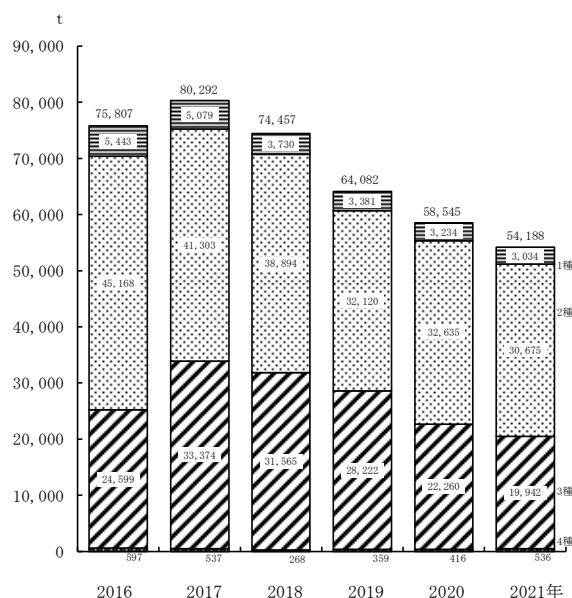
漁港は長期計画により整備を図っており、2017年度から2021年度は第4次漁港漁場長期計画に基づき整備を実施しています（A表）。

A図 海水動力漁船隻数の推移



（資料 漁船統計表）

B図 漁港における陸揚量の推移



（資料 県水産課調べ）

A表 第4次漁港漁場整備長期計画等に基づく整備計画（2017～2021年度）

事業名	港数	漁港地区名
水産流通基盤整備事業	1	師崎
水産生産基盤整備備事業	2	知柄、赤羽根
水産物供給基盤機能保全事業 （保全工事）	23	鬼崎、小鈴谷、上野間、豊浜、師崎、篠島、日間賀、大井、大浜、寺津、栄生、味沢、一色、衣崎、佐久島、宮崎、西幡豆、知柄、形原、三谷、福江、赤羽根、伊川津
漁港施設機能強化事業	8	鬼崎、豊浜、師崎、篠島、日間賀、栄生、佐久島、西幡豆
漁港機能増進事業等	8	豊浜、篠島、日間賀、一色、知柄、大浜、形原、三谷
計	延42	

〈主要な問題の解説〉

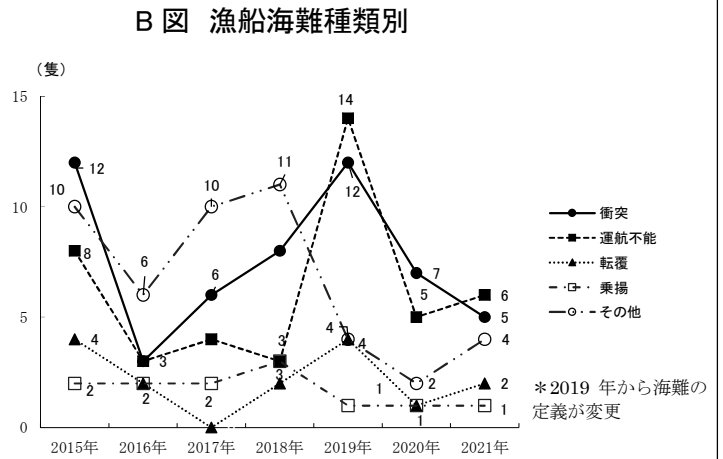
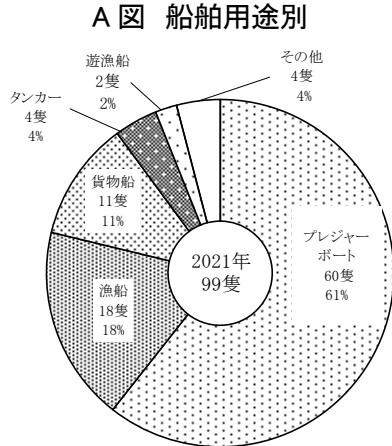
〈2021年の漁船海難の動向と対策〉

愛知・三重県の両沿岸及び沖合海域で2021年は99隻の船舶事故が発生しました（A図）。そのうち漁船の事故は18隻と全体の18%で、2020年（16隻・13%）に比べ隻数、割合ともに増加しました。

また、漁船の海難種類別で見ると機関故障等の運航不能が6隻で最も多く、次いで衝突が5隻となっています（B図）。

県では、このような海難を防止するため、漁業無線を使った安全操業や安全航行への呼びかけ等を実施しています。

〈海難の発生状況〉



（資料 第四管区海上保安本部）

〈漁場整備事業〉

県では、内湾から外海まで県域全体の水産資源増大と漁場環境改善を図るため「あさりとさかな漁場総合整備事業」を行っており、2021年度はあさり漁場となる干潟・浅場を三河湾（西尾市及び田原市地先）で5.0ha造成するとともに、渥美外海のさかな漁場となる魚礁を1,042.4空m³整備しました。また、2021年度は冬季波浪によるあさりの減耗対策として「貝類増殖場造成事業」を実施し、西尾市地先に碎石を利用した増殖場を1.0ha造成しました。

〈漁業生産力強化総合対策事業〉

漁業生産力強化総合対策事業は、漁業・漁村を取り巻く厳しい環境や食の安心安全等に関わる課題に対応する施設の重点的な整備により、力強い漁業生産地づくりを推進し、水産物の安定供給を図るための県単独補助事業です。4つの事業種目によりきめ細かい支援を行い、持続的な漁業・漁村の発展を図っています（A表）。

A表 2021年度実施件数

事業種目	実施件数	実施内容（施設）
防災対策推進事業	2	水産物荷さばき施設、燃料等補給施設
地先漁場生産力向上事業	1	漁場の耕耘・整地、浚渫
衛生管理強化事業	7	水産物荷さばき施設、水産物鮮度保持施設
就労環境改善事業	11	漁船保全修理施設、運搬施設、種苗生産施設
合計	21	

漁場環境の動向

●2021年度の赤潮発生は28件

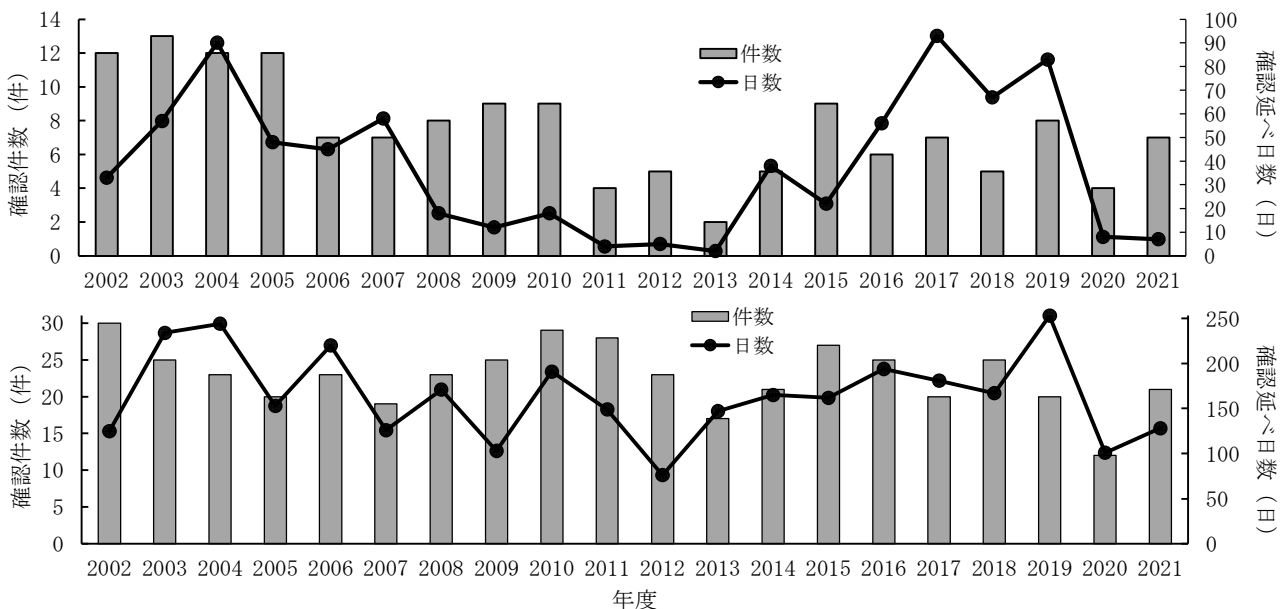
赤潮は、植物プランクトンが異常繁殖し、海水が赤色等に変色する現象で、のり養殖の色落ちや、底層の貧酸素化の要因となっています。

2021年度の赤潮確認件数は伊勢湾で7件、三河湾で21件の合計28件でした。確認延日数は伊勢湾で7日、三河湾で128日の合計135日でした。赤潮確認件数、確認延日数は年度により変動しているものの、伊勢湾、三河湾ともに経年的に明確な減少傾向は認められません。（A図）。

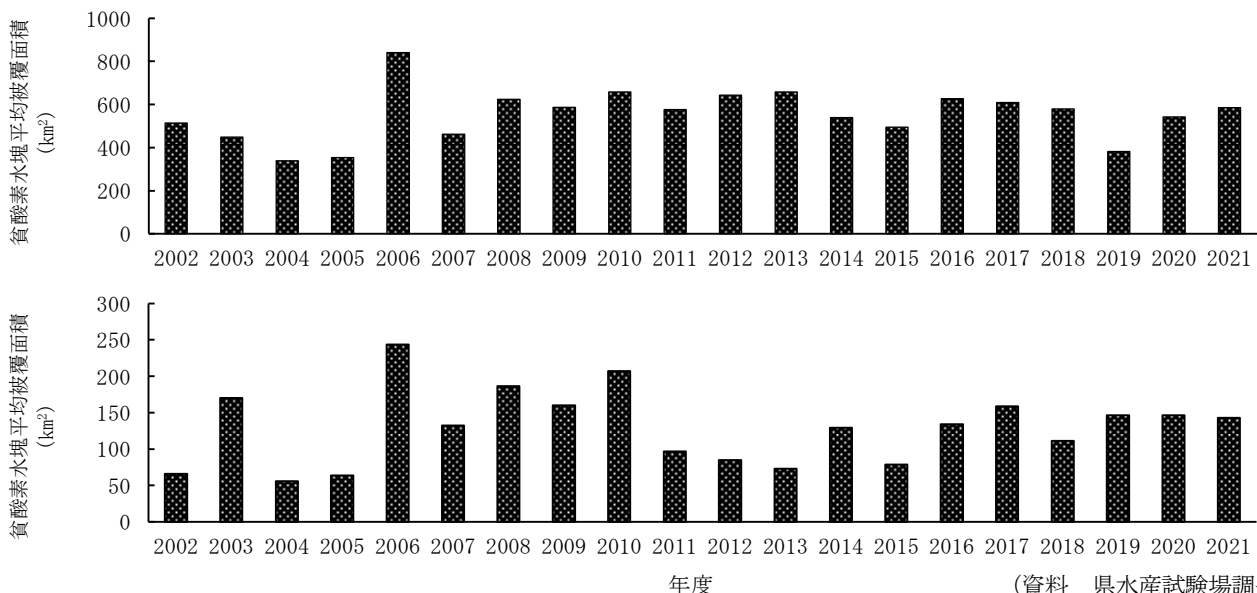
●2021年度の貧酸素水塊平均被覆面積

表層で発生した赤潮に由来する植物プランクトンの死骸等が沈降し、腐敗・分解することにより、酸素が消費され、底層では酸素が減少した水塊（＝貧酸素水塊：溶存酸素飽和度が30%以下の水塊と定義）が形成されます。貧酸素水塊に覆われた海底の面積（＝貧酸素水塊被覆面積）の2021年7～9月の平均は伊勢湾が585.9 km²、三河湾が143.0 km²でした（B図）。貧酸素水塊平均被覆面積は年度により変動しているものの、伊勢湾、三河湾の面積の半分近くを占めることも珍しくなく、経年的に明確な減少傾向は認められません。

A図 赤潮確認件数及び確認延日数の推移 上：伊勢湾、下：三河湾



B図 貧酸素水塊平均被覆面積（7-9月）の推移 上：伊勢湾、下：三河湾



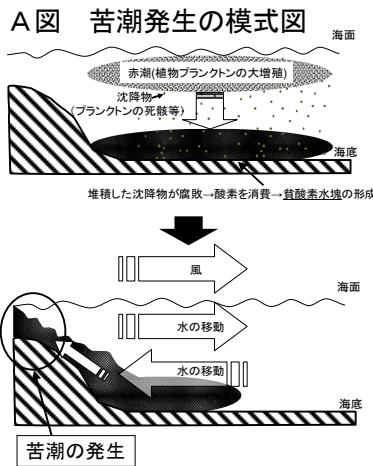
(資料 県水産試験場調べ)

＜主要な問題の解説＞

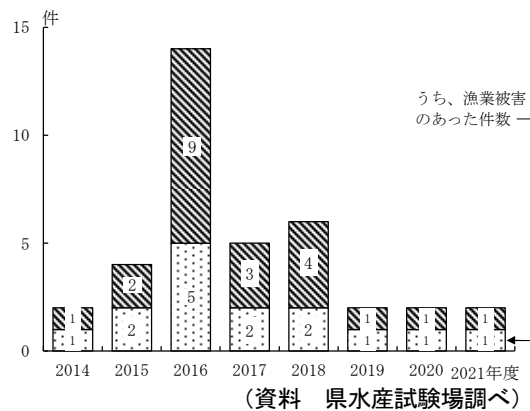
＜貧酸素水塊と苦潮＞

伊勢湾や三河湾では、毎年6月頃から10月頃にかけて、「貧酸素水塊」が海底を広く覆う現象が発生します。貧酸素水塊は、生物が生息できる海域を狭め、時には風にあおられ岸近くに「苦潮」となって押し寄せて漁業被害を引き起こします（A図）。本県では、毎年苦潮が確認されています。2021年度の苦潮確認件数は2件でしたが、多い年には10件を超える苦潮が確認されています（B図）。

また、あさり稚貝が大量に発生する豊川河口の六条潟では、しばしば苦潮による稚貝の大量死が発生しています。



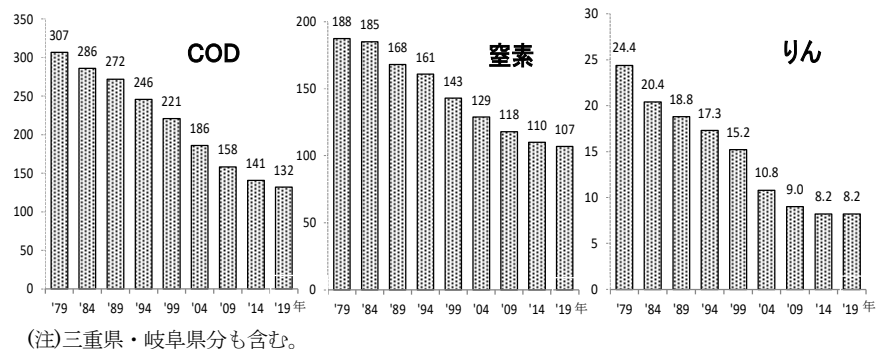
B図 苦潮確認件数の推移



＜総量削減計画＞

伊勢湾（三河湾を含む）は、水質汚濁防止法に基づき、陸域からの流入負荷（COD、窒素、りん）の総量削減を図る地域に指定されており、2017年6月には、2019年度を目標とする愛知県の第8次の総量削減計画が策定されています。

C図 伊勢湾における流入負荷量の推移（単位：トン/日）



この計画に基づき、県内事業所に厳しい排水規制がかけられた結果、流入負荷量は年々低下しており、2019年実績値は1979年実績値に比べ、CODは43%、窒素は57%、りんは34%となっています（C図）。第8次総量削減計画では、懸濁物質やプランクトンの海からの取出しに寄与するあさり漁獲の安定化や、「きれいな海」「豊かな海」「親しめる海」という視点から里海再生を推進することが、汚濁負荷量の総量の削減及び水環境の改善に関し必要な事項として位置付けられています。

＜下水道の放流水りん増加試験運転＞

厳しい排水規制の一方、伊勢湾や三河湾では、窒素、りんの栄養塩不足によるのり、あさりの不漁が問題となっています。このため県では、漁業者からの要望を踏まえ、2017年度から矢作川浄化センター（西尾市）及び豊川浄化センター（豊橋市）で、秋冬季における放流水のりん濃度増加に係る試験運転を実施しています。水産試験場の効果調査では、放流口の周辺海域にりんの供給が観測され、のり、あさり漁場への波及効果が確認されています。

資源保護増大の動向

●栽培漁業の推進

水産資源の維持増大を図るため、県では1978年10月に開設した愛知県栽培漁業センターにおいて放流用の種苗を生産・供給し、漁業者による栽培漁業の取組を推進しています（A表）。

本県の栽培漁業は1979年度のくるまえば、あわび、あゆに始まり、1985年度にくろだいがざみ、1993年度になまこ、更に2005年度にとらふぐとよしえびを生産魚種に加えてきました。2018年度からは資源造成が図られたくろだい（放流用）の生産を休止して、とらふぐ、がざみを増産して重点化を行うなど、資源状況に即した見直しを随時行い、栽培漁業の一層の推進を図っています。

A表 栽培漁業センター産種苗の供給実績

魚 種	供給先	年 度				
		2017	2018	2019	2020	2021
くるまえば（千尾） （全長1.5～2.0cm）	常滑市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	西尾市（旧一色町）	2,800	4,500	4,500	4,500	4,500
	西尾市（旧幡豆町）	2,800	—	—	—	—
	西尾市（三河湾）	2,200	3,300	3,300	3,300	3,300
	田原市（旧渥美町）	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
計		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
が ざ み（千尾） （甲幅0.5～0.8cm）	常滑市	170	170	170	170	170
	南知多町	330	330	330	330	330
	西尾市（旧一色町）	100	—	—	—	—
	西尾市（旧幡豆町）	400	500	500	500	500
	田原市（旧渥美町）	400	500	500	500	500
	蒲郡市	100	100	100	100	100
計		1,500	1,600	1,600	1,600	1,600
よしえび（千尾） （全長1.1～1.7cm）	常滑市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	南知多町	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	西尾市（旧一色町）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
計		4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
とらふぐ（千尾） （全長3.5～4.5cm）	南知多町	130	130	130	130	130
	西尾市（旧一色町）	—	40	40	40	50
計		130	170	170	170	180
くろだい（千尾） （全長2.5～3.5cm）	西尾市（旧一色町）	25	—	—	—	—
	西尾市（旧吉良町）	10	—	—	—	—
	西尾市（旧幡豆町）	20	—	—	—	—
	田原市（旧渥美町）	50	—	—	—	—
	養殖用	10	10	10	—	—
計		115	10	10	0	0
あ わ び（千個） （殻長1.0～2.0cm）	師崎漁協	60	60	60	60	30
	篠島 "	60	65	65	60	30
	日間賀島 "	60	60	60	60	30
	豊浜 "	60	60	60	60	30
	渥美、片名、愛知外海漁協他	35.5	35.5	38.7	35.5	20.5
計		275.5	280.5	283.7	275.5	140.5
な ま こ（千尾） （全長0.5～1.0cm）	南知多町	380	380	380	425	443
	西尾市（旧一色町）	35	35	35	35	44
	西尾市（旧吉良町）	25	25	25	25	25
	西尾市（旧幡豆町）	50	50	50	50	50
	蒲郡市	10	10	10	40	16
	田原市（旧渥美町）	138	200	200	215	222
計		638	700	700	790	800
あ ゆ（千尾） （全長3.0～3.9cm） （全長4.0～5.0cm）		500	500	500	500	—
	愛知県鮎養殖漁協等	1,500	1,500	1,500	1,500	1,300
計		2,000	2,000	2,000	2,000	1,300

＜主要な問題の解説＞

＜資源管理型漁業の推進＞

水産資源を増やす取組だけではなく、獲りすぎないように漁獲をコントロールする資源管理型漁業の推進も重要です。漁業者は、休漁期間や定期休漁日の設定や網目の制限など様々な自主的な取組を定めた「資源管理計画」を作成し、資源管理に取り組んでいます（A表）。

A表 資源管理計画の一覧表

No.	資源管理計画名	計画参加者数	No.	資源管理計画名	計画参加者数
1	大濱漁協中型まき網漁業	3	21	蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	9
2	愛知県ばっち網漁業者組合イカナゴ	22	22	幡豆漁協小型機船底びき網(改良備前網)漁業	3
3	愛知県ばっち網漁業者組合イワシ類	22	23	師崎漁協あなご電漁業	1
4	愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ	85	24	東幡豆漁協小型機船底びき網(改良備前網)漁業	1
5	愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イワシ類	85	25	西三河漁協吉良支所採貝(長柄まんが)漁業	4
6	蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網(えびけた網)漁業	4	26	西三河地区採貝(腰まんが)漁業	112
7	蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網(えびけた網)漁業	3	27	西三河地区小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	84
8	蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	4	28	鬼崎漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	25
9	豊浜漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	6	29	常滑漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	2
10	伊勢湾海域における小型機船底びき網(まめ板網)漁業	101	30	小鈴谷漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	26
11	愛知外海漁協しらす機船底びき網漁業	6	31	西三河漁協一色支所小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	5
12	東幡豆漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	5	32	片名漁協かに電漁業	5
13	幡豆漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	3	33	篠島漁協小型機船底びき網(手繰第二種餌料びき網)漁業	6
14	幡豆漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	2	34	大濱漁協小型機船底びき網(貝けた網、えびけた網及びまめ板網(三河湾))漁業	7
15	日間賀島漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	9	35	愛知県ふぐ延縄組合連合会トラフグ	54
16	三谷漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	1	36	篠島漁協あなご電漁業	12
17	西三河漁協吉良支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網、貝けた網及びえびけた網)漁業	5	37	日間賀島漁協潜水器漁業	51
18	片名漁協あなご電漁業	4	38	日間賀島漁協あなご電漁業	17
19	西三河漁協一色支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	22	39	大井漁協あなご電漁業	1
20	西三河漁協吉良支所及び幡豆漁協さし網漁業	3	40	篠島漁協かに電漁業	5
			計		825

＜漁獲可能量制度＞

漁獲可能量とは、法に基づき特定の魚種ごとに国が定める、年間に漁獲できる総量であり、通称TAC (Total Allowable Catch) と呼ばれています。漁獲可能量の管理対象には2022年4月1日現在で8魚種が指定され、このうち本県ではまいわしなど5魚種が管理対象となっています（B表）。

B表 本県に定められた漁獲可能量

魚種名	くろまぐろ		まあじ	まいわし	まさば及びごまさば	するめいか
	30kg 未満	30kg 以上				
管理期間	2022. 4～2023. 3		2022. 1～12	2022. 1～12	2021. 7～2022. 6	2022. 4～2023. 3
本県への配分量	0.1t	1.0t	現行水準	現行水準	現行水準	現行水準

4 漁業生産

漁業総生産の動向

●漁業・養殖業の総生産量は8.0%減少

2020年の海面及び内水面の漁業・養殖業の総生産量は69,503 tで、前年(75,514t)に比べ8.0%減少しました(A図)。

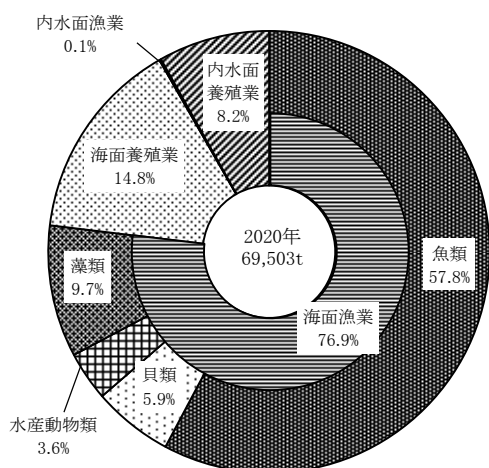
このうち、海面漁業は53,459 tで前年に比べ10.8%減少しており、海面養殖業は10,292 tで5.6%の増加となりました。また、内水面漁業は84 tで前年に比べ24.3%減少し、内水面養殖業は5,668 tで1.0%減少しています(C図)。

●漁業・養殖業の総産出額は13.3%減少

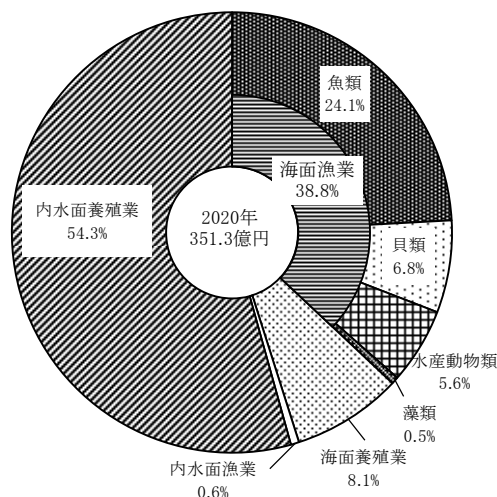
2020年の漁業・養殖業の総産出額は354.5億円で、前年(408.9億円)に比べ13.3%減少しました(B図)。

の内訳をみると、海面漁業は131.2億円で前年に比べ17.3%の減少、海面養殖業は28.6億円で18.8%の減少、内水面漁業は2.2億円で15.4%の減少、内水面養殖業は192.6億円で9.3%の減少となっています(D図)。(内水面漁業・養殖業の産出額(推計)は魚種別の生産量に全国平均単価を乗じて求めています)

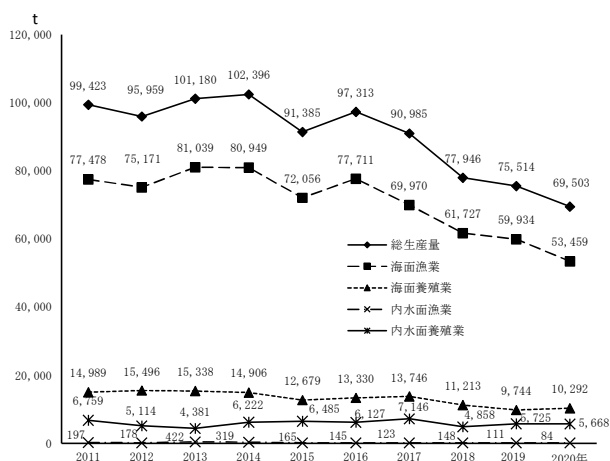
A図 漁業・養殖業の総生産量の内訳



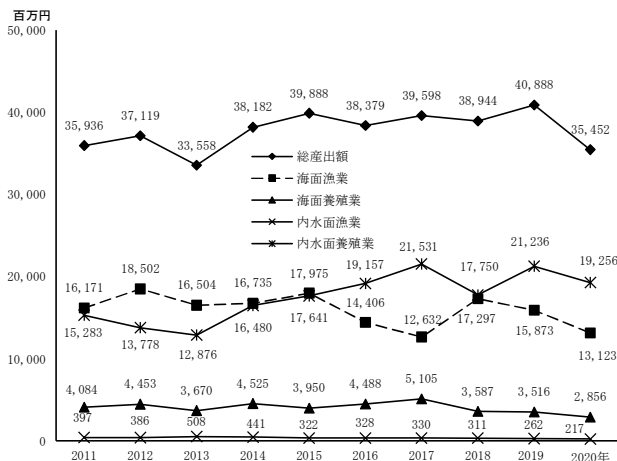
B図 漁業・養殖業の総産出額の内訳



C図 漁業・養殖業の総生産量の推移



D図 漁業・養殖業の総産出額の推移



内水面漁業および内水面養殖業の産出額は、県水産課が生産量に全国単価を乗じて求めた推計値。内水面養殖業は産出額(D図)のみきんぎょを含む。きんぎょは県水産課調べ

(資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ(A～D図))

〈主要な問題の解説〉

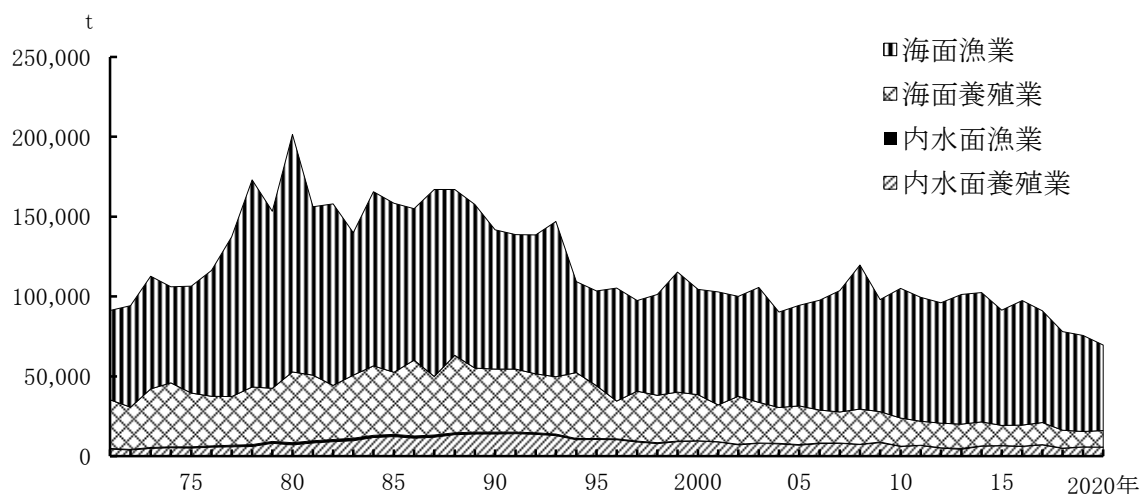
〈漁業生産量の推移〉

漁業・養殖業の総生産量は、まいわしの漁獲量が多かった1970年代後半～1990年代前半にかけては15万t前後でしたが、まいわしが急激に減少した1994年以降は10万t前後で横ばいに推移し、近年は減少傾向にあります。内訳を見ると、海面漁業が全体の半分以上を占め、近年は減少が大きくなっています。海面養殖業はのり養殖の経営体減少により一貫して減少傾向にあります。内水面養殖業は90年代前半は減少傾向にありましたが、近年は横ばいで推移しています（A図）。

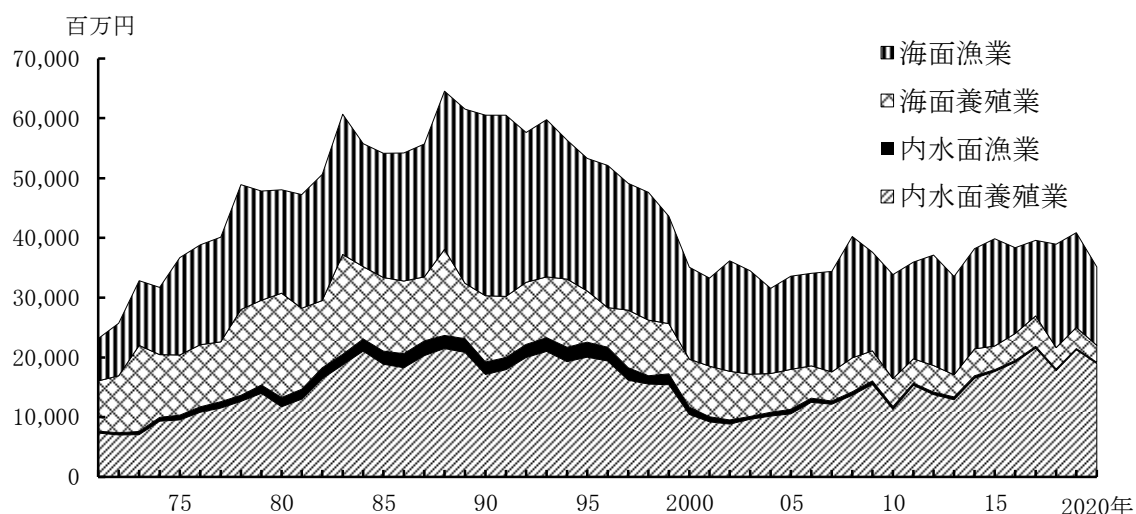
〈漁業産出額の推移〉

漁業総産出額は、1988年の645億円をピークに、以降は急激に減少しましたが、2000年以降は横ばいないし増加傾向となり、近年は350～400億円程度で推移しています。内訳を見ると、海面漁業、海面養殖業、内水面養殖業ともに、1988年頃から2000年頃までの減少が大きく、不況に伴う魚価の低迷が大きな要因と考えられます。近年は海面漁業は横ばい、内水面養殖業は増加傾向ですが、海面養殖業は減少傾向が続いています（B図）。

A図 海面・内水面漁業・養殖業生産量の推移



B図 海面・内水面漁業・養殖業産出額の推移



(資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ (A、B図))

海面漁業生産の動向

●海面漁業漁獲量は10.8%減少

2020年の海面漁業の漁獲量は53,459 tで、前年（59,934 t）に比べ10.8%減少しました（A図）。

漁業種類別では、船びき網が34,914 tで最も多く、県全体の65.3%を占め、次いで、小型底びき網が4,750 tで同8.9%となっています（B図）。

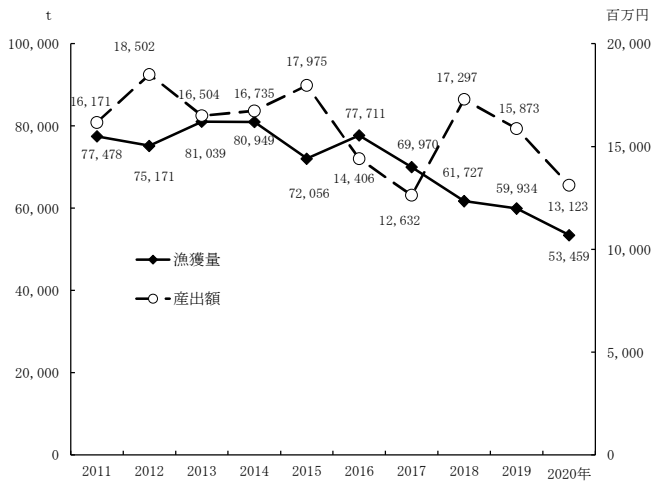
魚種別では、かたくちいわしが15,995 tで同29.9%、しらすが9,428 tで同17.6%、まいわしが8,880 tで同16.6%、あさり類が1,602 tで同3.0%を占めました。これら上位4魚種で全体の約3分の2となっています（C図）。

●海面漁業産出額は17.3%減少

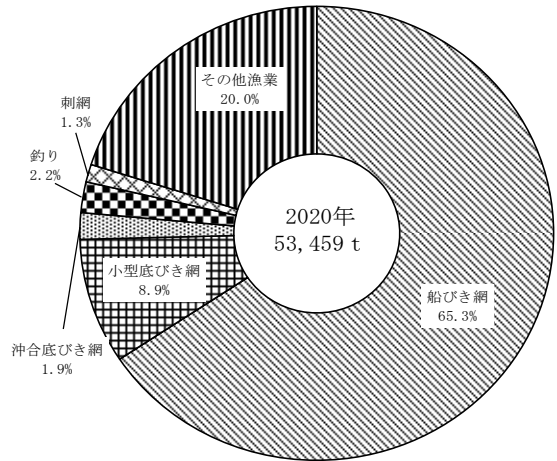
2020年の海面漁業の産出額は131.2億円で、前年（158.7億円）に比べ17.3%減少しました（A図）。

魚種別に見ると、しらすが45.8億円で県全体の32.7%を占め、あさり類が11.8億円で同9.4%、次いで、かたくちいわしが7.0億円で同5.4%となっています（D図）。

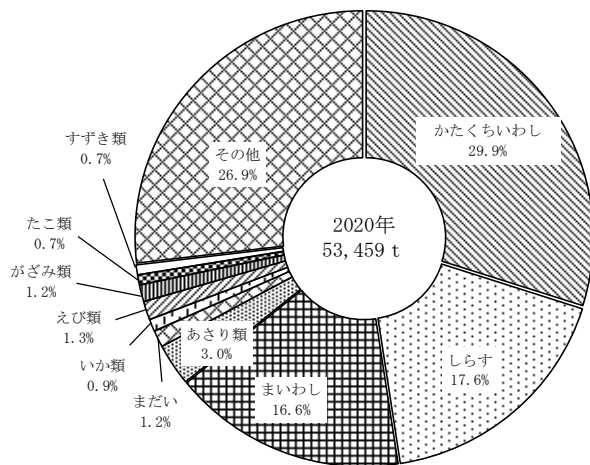
A図 海面漁業漁獲量及び産出額の推移



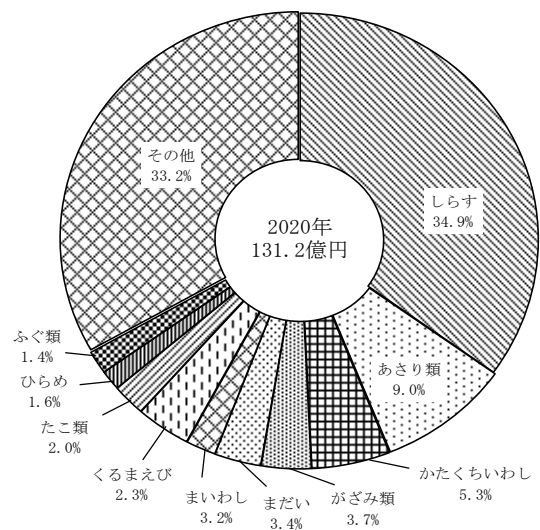
B図 海面漁業種類別漁獲量の構成



C図 海面漁業魚種別漁獲量の構成



D図 海面漁業魚種別産出額の構成



(資料 海面漁業生産統計調査 (A~D図))

〈主要な問題の解説〉

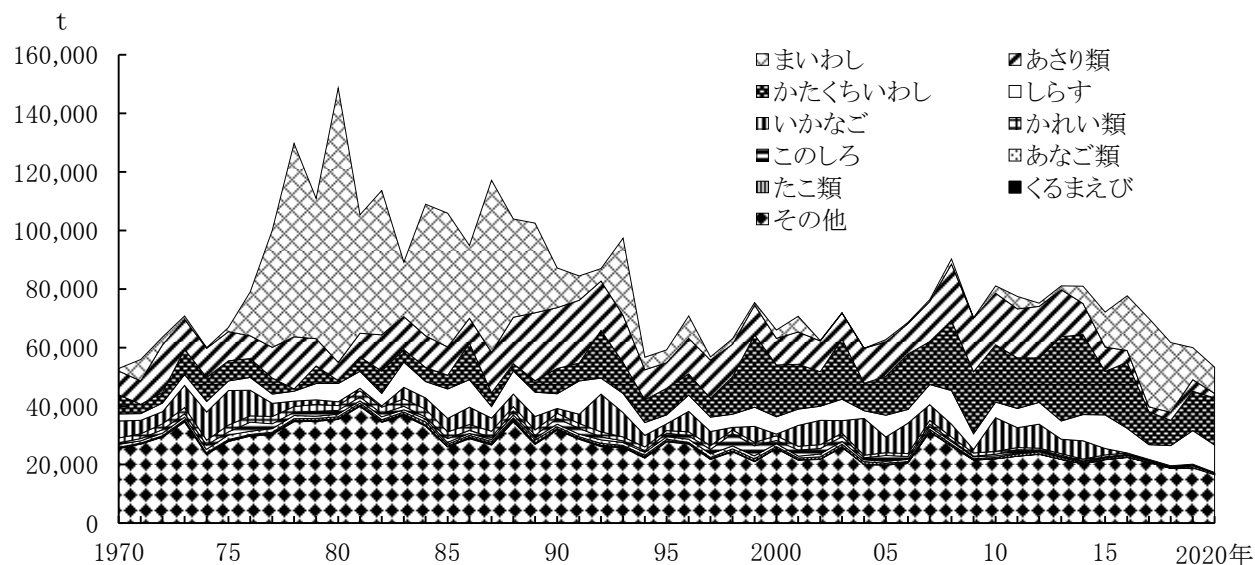
〈魚種別漁獲量〉

1970年代後半から1990年代前半にかけてまいわしの漁獲量が非常に多く、最盛期には総漁獲量の半分以上を占めていました。1994年以降まいわしは激減しましたが、2015年頃から再び増加しています。近年の本県の主要魚種では、あさりの漁獲量が2012年以降に大幅に減少し、いかなごも2016年以降漁獲がありません。かたくちいわしやしらすは、おおむね同程度の漁獲量で推移しています（A図）。

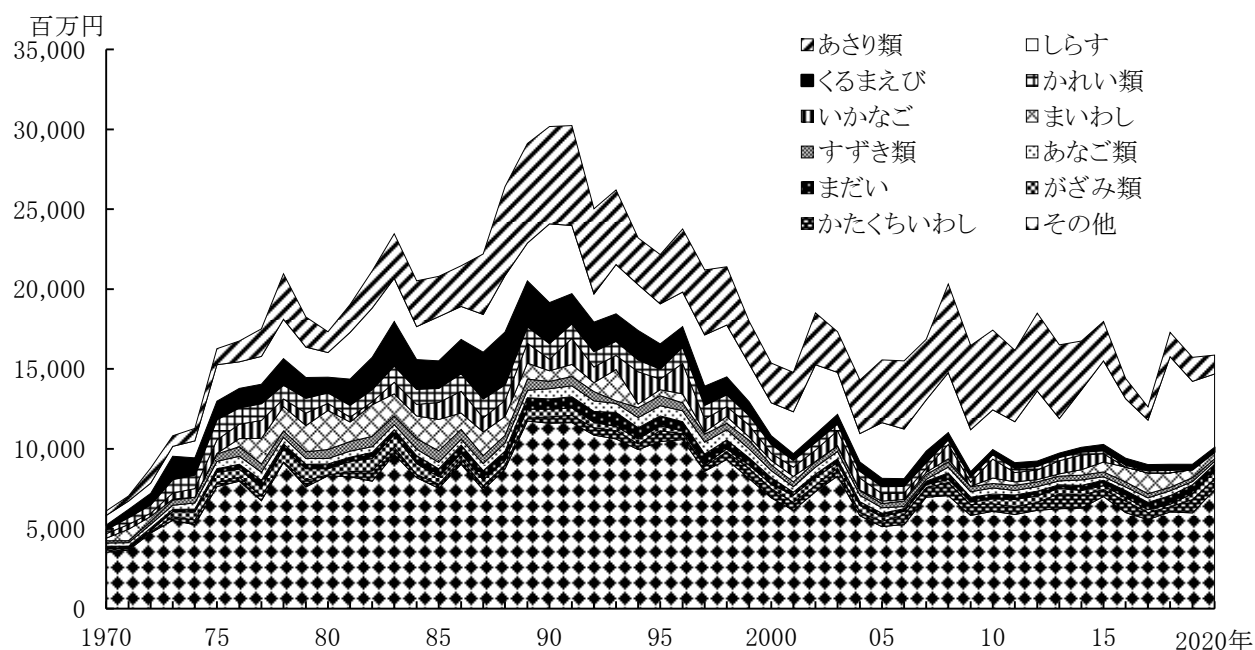
〈魚種別産出額〉

海面漁業の産出額は1991年をピークに急激に減少し、その後2000年以降は概ね安定しています。ピーク時に多くを占めたあさり類は大幅に減少しましたが、産出額の大きな割合を占めるしらすは、年による増減はあるものの、近年増加傾向です（B図）。

A図 海面漁業魚種別漁獲量の推移



B図 海面漁業魚種別産出額の推移



（資料 海面漁業生産統計調査（A、B図））

海面養殖生産の動向

●板のり生産枚数は5.6%増加（暦年）

2020年の海面養殖業の収穫量は10,292 tで、前年に比べ5.6%増加しました。本県の海面養殖業のほとんどはのり養殖業で、2020年（1～12月）における板のりの生産枚数は2億5,668万枚となり、前年に比べ5.0%増加しました（A表）。2020年の板のり平均価格は1,030円と前年より23.5%低く、のり養殖産出額は26.4億円で前年に比べて19.8%の減少となりました（A表）。

地域別では、知多地区が2億209万枚で前年に比べ2.2%の増加、西三河地区が2,637万枚で13.9%の減少、東三河地区では947万枚で24.4%の減少となっています（B図）。

●養殖年では6.8%増加

板のり生産枚数を養殖年で比較すると、2020年度（2020年11月～21年5月）は2億5,792万枚となり、前年度に比べ6.8%の増加となりました。地区別では、知多地区が1.5%の増加、西三河地区が20.8%の増加、東三河地区が60.0%の増加となっています（C図）。

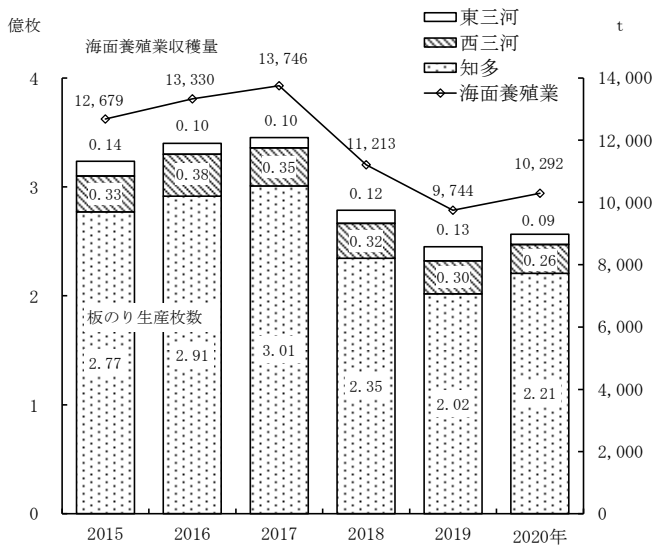
A表 板のり生産状況（暦年）

区分		年	2015	2016	2017	2018	2019	2020
生産枚数 (千枚)	くろのり		310,013	327,668	334,044	264,003	230,846	243,230
	まぜのり		2,307	3,455	x	x	x	x
	あおのり		11,116	8,975	x	x	x	x
	板のり計		323,436	340,099	345,317	278,721	244,550	256,676
産出額 (万円)	合計		354,400	410,700	481,700	329,800	329,300	264,400
板のり平均価格 (円/100枚)			1,096	1,208	1,395	1,183	1,347	1,030

(注)板のり平均単価は、ばらのり・生のりを含む。

(資料 海面漁業生産統計調査)

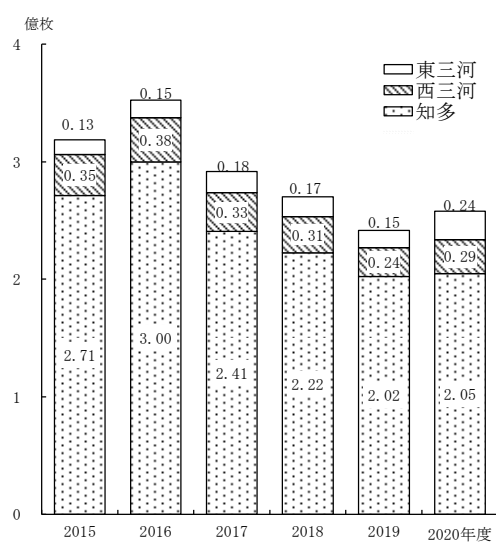
B図 海面養殖業収穫量及び板のり生産枚数の推移（暦年）



(資料 海面漁業生産統計調査)

注)2020年は海面漁業生産統計に係る調査票情報を集計した数値

C図 板のり生産枚数の推移（養殖年度）



(資料 海面漁業生産統計調査)

注)2020年は海面漁業生産統計に係る調査票情報を集計した数値

〈主要な問題の解説〉

〈2020年度（2020年9月～2021年5月）のり養殖の概要〉

1 養殖の経過

(1) 採苗状況

採苗は知多地区で9月18日、西三河地区から9月25日、東三河地区で9月30日から始まり、各地区とも順調に終了しました。

(2) 育苗

育苗は知多地区で10月18日、西三河地区で10月18日、東三河地区で10月13日から始まりました。各地域で水温降下が順調で、栄養塩濃度も十分であったことから、予定枚数を確保することができました。

(3) 秋芽網生産

あかぐされ病が知多西浜地区や東三河地区で散見されたが、生産に支障はありませんでした。一方、魚類やかもの食害被害が各地で見られ、囲網の設置や養殖網を沈める等の対策がとられました。

(4) 冷蔵網生産

1月以降、各地域で栄養塩が減少し、色の悪い製品が見られるようになりました。多くの地区で魚類やかもの食害被害が見られ、防除網などの対策がとられました。

(5) 青のり生産

近年、東三河地区の青のりは、市場の評価が高くなっています。このため、当該地区の生産者は青のり養殖に力を入れており、青のりの最盛期を迎える2月以降の生産体制は黒のりから青のりに替わります。

A表 各地区の養殖経過（黒のり）

地区	陸上採苗開始	野外採苗開始	張り込み開始	摘採開始
知多地区	9月18日	—	10月16日	11月20日
西三河地区	9月25日	—	11月5日	11月22日
東三河地区	9月30日	10月13日	10月15日	12月7日

2 養殖生産の結果

黒のりの生産枚数は237,272千枚（平成比84%）、生産金額は2,601,326千円（平成比73%）となりました。経営体あたりでは生産枚数1,671千枚（平成比97%）、生産金額18,319千円（平成比84%）でした。また、青のりの生産枚数は20,651千枚（平成比164%）、生産金額は223,867千円（平成比115%）となりました。

B表 のり生産の推移

（単位：千枚・千円）

年度	経営体数	生産枚数			生産金額			経営体当たり（黒のり）	
	（黒のり）	黒のり	青のり	合計	黒のり	青のり	合計	生産枚数	生産金額
2015	179	307,404	11,324	318,728	3,692,907	162,414	3,855,321	1,717	20,630
2016	169	340,331	12,169	352,500	4,512,387	333,300	4,845,687	2,014	26,701
2017	164	277,174	14,556	291,730	3,193,738	169,437	3,363,174	1,690	19,474
2018	156	257,692	12,585	270,277	3,397,075	144,154	3,541,229	1,652	21,776
2019	151	229,038	12,485	241,523	3,098,844	166,218	3,265,062	1,517	20,522
2020	142	237,272	20,651	257,923	2,601,326	223,867	2,825,193	1,671	18,319
対前年比	94%	104%	165%	107%	84%	135%	87%	110%	89%
対平成比	87%	84%	164%	87%	73%	115%	75%	97%	84%

（資料 県水産課調べ）

内水面生産の動向

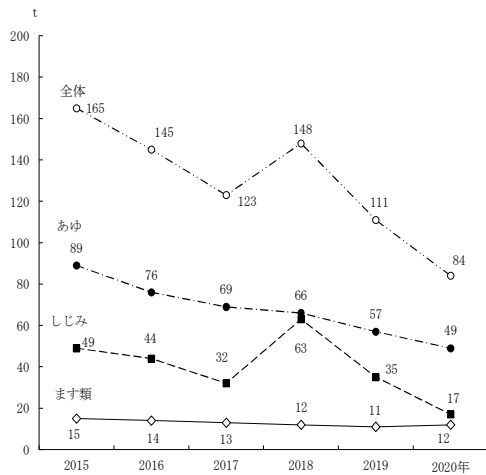
●内水面漁業漁獲量は84 t

2020年の内水面漁業の漁獲量は84 tであり、前年に比べ24.3%の減少となりました。あゆの漁獲量は49 tで、前年から14.0%の減少となっています（A図）。内水面の遊漁の主体であるあゆの遊漁者数については、レジャーの多様化などによる遊漁の参加人口（全国）が減少した一方で、本県では前年に比べ16.7%の増加となっています（B図）。

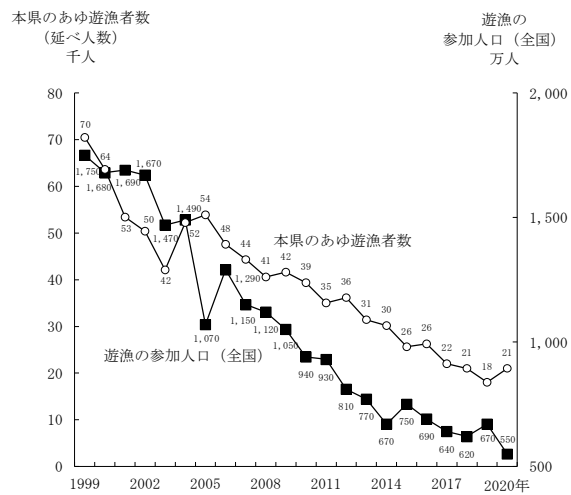
●内水面養殖業収穫量は5,668 t

2020年の内水面養殖業収穫量（観賞魚除く）は5,668 tであり、前年とほぼ同量となりました。うなぎ養殖の収穫量は県内水面養殖業の約8割を占めており、2020年は4,315 tで前年とほぼ同量となりました。あゆ養殖の収穫量は1,189 tで、前年に比べ1.5%の増加となりました（C図）。2020年の内水面養殖業の産出額は194億円であり、前年に比べ8.8%の減少となり、そのうちうなぎ養殖による産出額は170億円となっています（D図）。

A図 内水面漁業魚種別漁獲量の推移

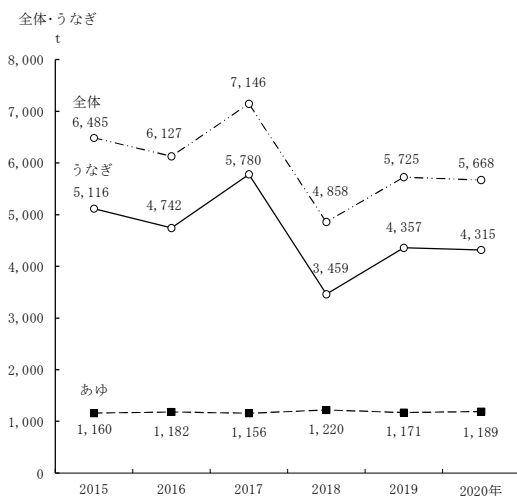


B図 遊漁者数の推移

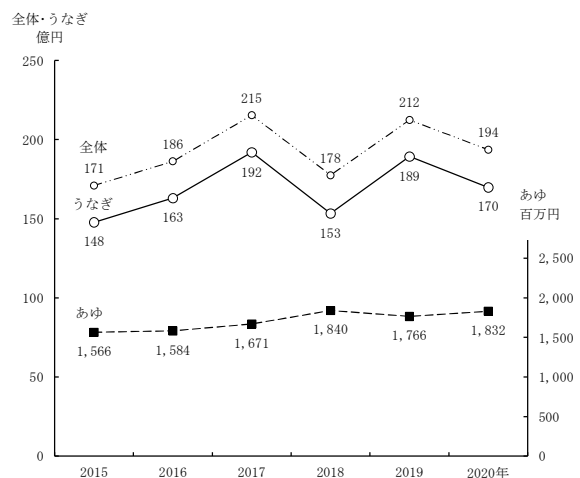


※遊漁の参加人口は「釣り」を1年に1回以上行った人口

C図 内水面養殖業魚種別収穫量の推移



D図 内水面養殖業魚種別産出額の推移



(資料 県水産課調べ (A図))

(資料 レジャー白書 (B図: 遊漁の参加人口(全国)), 県水産課調べ (B図: 本県のあゆ遊漁者数))

(資料 内水面漁業生産統計調査 (C図))

(資料 県水産課調べ (D図))

＜主要な問題の解説＞

＜内水面漁業の振興＞

内水面漁業は、遊漁を通じた県民への憩いの場の提供や、健全な河川環境の確保など、山間地振興の一翼を担う公共的な役割を果たしています。

県では、内水面漁業の主要魚種である、あゆの漁獲量増大を図るための種苗放流方法やあまご漁場の管理方法の検討を行っています。また、子供達にあゆ等に関する出前授業や放流体験を実施するとともに、2020、2021年度には、新型コロナウイルスの影響を受けた河川漁協に対して、あゆの種苗放流費の支援を行いました。

＜内水面養殖業の振興＞

本県の内水面養殖業は、うなぎ及びあゆ養殖を中心に盛んに行われています。県では養殖業者に対して魚病診断や水質検査等の養殖技術指導、水産用医薬品の適正使用指導等を行っています。また、養殖魚の歩留向上、きんぎょの新品種開発やうなぎの人工種苗量産化等の試験研究も行っています。2021年度には、燃油の急激な高騰に対応して、燃油を多く使用する養鰻業者を支援しました。

＜主要養殖業の動向＞

○うなぎ養殖業の動向

本県のうなぎ養殖は、西尾市一色町を中心とする西三河地区で盛んに行われており、2020年は鹿児島に次いで、全国第2位の収穫量となっています。

2020年は、しらすうなぎ採捕量が前年より増加しましたが、収穫量は前年並みとなりました。しかし、成鰻の品薄感等から、成鰻単価は高値で推移しています（A図）。

○あゆ養殖業の動向

本県のあゆ養殖は、豊川市を中心とする東三河地区で盛んに行われており、2013年から全国第1位の収穫量となっております。

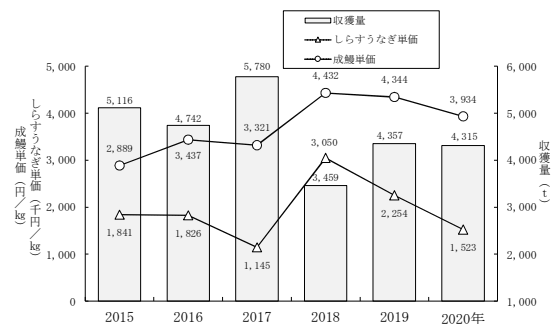
2020年の収穫量は1,189tで前年に比べ1.5%増加し、産出額は18.3億円で前年に比べ3.7%増加しました（B図）。

○きんぎょ養殖業の動向

本県のきんぎょ養殖は、弥富市を中心とする海部地区で行われており、奈良県に次いで全国第2位の生産（販売）量となっています。また、他の生産県に比べ、養殖対象となる品種が20種類以上と多く、特に高級魚が多いことが特徴となっています。

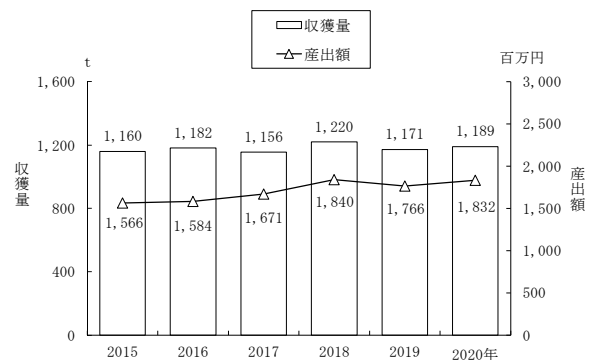
2020年の生産量は5,496千尾で前年に比べ16.1%減少し、産出額は約3.2億円で前年に比べ18.5%増加しました（C図）。

A図 成鰻収穫量、しらすうなぎ単価及び成鰻単価の推移

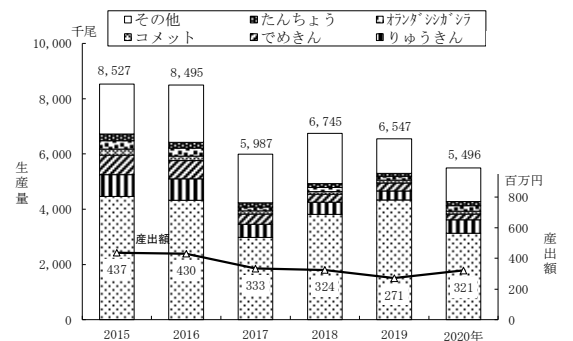


注) しらすうなぎ単価は、前年12月から当年4月までの平均単価
成鰻平均単価は、全国平均単価
(資料 内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ)

B図 あゆ収穫量及び産出額の推移



C図 きんぎょ種類別生産量及び産出額の推移



(資料 内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ)

5 流通加工

水産物流通の動向

●産地市場、消費地市場の流通量約16.8万 t

本県の水産物を扱う主な市場は、2021年4月現在で産地市場が13、消費地市場が8（2中央卸売市場含む）の計21市場があり、21市場において2020年に取引した水産物は、16.8万 t、1,315億円で、前年（17.3万 t、1,398億円）と比べて数量で0.5万 t、83億円の減少となっています。

また、産地市場の取扱量は4.5万 tで、このうち県外から移入された水産物は、0.5万 t（10.1%）でした。中央卸売市場を除く消費地市場の取扱量は1.1万 tで、このうち県外から移入された水産物は0.5万 t（44.8%）でした（A図）。

●産地価格の総平均は7.3%低下

2020年の産地における水産物の1kg当たりの総平均価格（水揚金額/水揚数量）は245円で、前年に比べ19円（7.3%）減少しました。種類別では、魚類が213円で前年に比べ28円（11.8%）低下しました。また、水産動物類は792円で13円（1.7%）、貝類は589円で163円（38.1%）上昇しました（B図）。

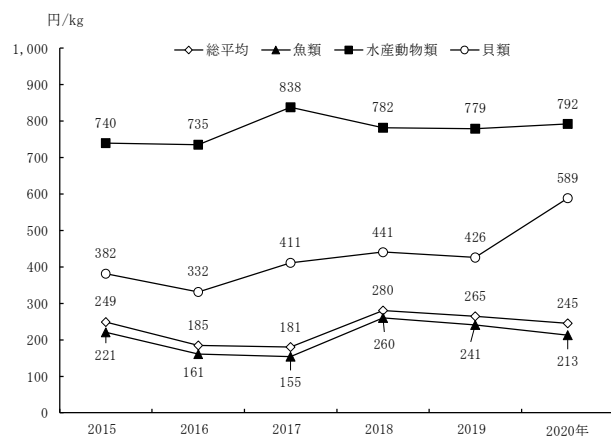
●消費地価格の総平均は4.4%低下

2020年の消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物の1kg当たりの総平均価格（取扱金額/取扱数量）は980円で前年に比べ43円（4.4%）低下しました。また、種類別では、生鮮水産物は960円で前年より72円（7.5%）、冷凍水産物は1,247円で89円（7.1%）、加工水産物は975円で41円（4.2%）低下しました（C図）。

A図 2020年の市場流通状況

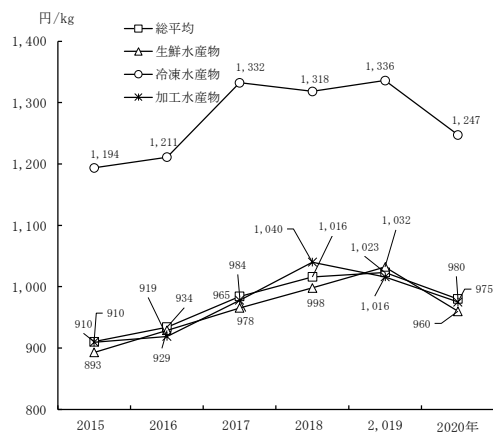
		0		20		40		60		80		100%	
産地市場 13市場 44,622t	出荷先	県内 40,111t (89.9%)						県外 4,512t (10.1%)					
消費地市場 6市場 11,301t	入荷先	県内 6,237t (55.2%)						県外 5,064t (44.8%)					
	品目	生鮮魚介類 2,481t (22.%)		水産冷凍品 6,068t (53.7%)				水産加工品 2,753t (24.4%)					

B図 産地における水産物価格の推移



(資料 海面漁業生産統計調査 (農林水産省統計部))

C図 消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物価格の推移



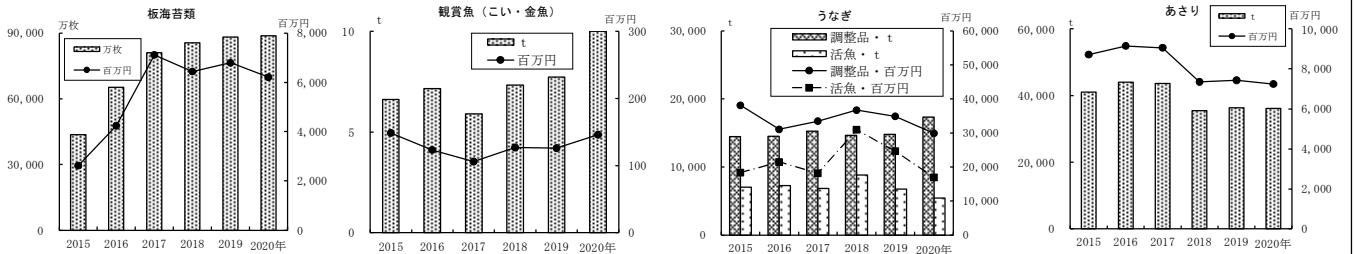
(資料 名古屋市中央卸売市場年報)

〈主要な問題の解説〉

〈水産物の輸入〉

県水産業の主要品目について、近年の輸入量（全国）の推移を見ると、板海苔類、観賞魚（こい、金魚）、うなぎは増加傾向にあります。一方、あさは横ばい傾向にあります（A図）。

A図 品目別の輸入量・輸入金額の推移



(資料 貿易統計)

〈水産物の消費〉

我が国における年間1人当たりの魚介類消費量は、減少傾向が続いており、10年前に比べて数量で25.5%、金額で1.2%減少しています。肉類が数量で30.5%、金額で40.6%増加しているのと対照的であり、消費者の魚離れが顕著になっています（B表）。

水産物は、カルシウムを始めとするミネラルのほか、不飽和脂肪酸であるDHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（エイコサペンタエン酸）等、人の健康に有益な機能成分を有し、魚介類をバランス良く消費することにより、健康増進が期待されることから、引き続き魚食普及に向けた取り組みが重要となっています。

A表 年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）（単位：g）

年	2010	2018	2019	2020	増減率 (%)	
					20/10	20/19
生鮮魚介計	10,883	7,874	7,733	8,105	▲ 25.5	▲ 4.8
鮮魚小計	9,768	7,167	7,000	7,316	▲ 25.1	▲ 4.5
まぐろ	799	647	650	688	▲ 13.9	▲ 5.8
あじ	454	313	284	278	▲ 38.7	▲ 2.1
いわし	265	215	185	196	▲ 26.1	▲ 5.9
かつお	359	273	298	243	▲ 32.3	▲ 18.2
かれい	403	239	235	252	▲ 37.5	▲ 7.0
さけ	949	841	848	962	▲ 1.4	▲ 13.4
さば	411	324	291	303	▲ 26.3	▲ 4.2
さんま	541	381	258	149	▲ 72.5	▲ 42.2
たい	227	142	138	189	▲ 16.8	▲ 37.1
ぶり	672	543	517	589	▲ 12.4	▲ 13.9
いか	816	387	371	414	▲ 49.3	▲ 11.4
たこ	270	181	181	219	▲ 18.8	▲ 20.7
えび	635	452	452	498	▲ 21.5	▲ 10.2
かに	234	120	122	133	▲ 43.1	▲ 9.3
貝類小計	1,111	699	720	772	▲ 30.6	▲ 7.2
あさり	379	237	244	252	▲ 33.5	▲ 3.2
しじみ	130	96	103	88	▲ 32.1	▲ 14.7
かき	195	157	140	148	▲ 24.2	▲ 5.5
ほたて	290	132	152	194	▲ 33.2	▲ 27.2
塩干魚介計	3,016	2,331	2,262	2,452	▲ 18.6	▲ 8.5
塩さけ	536	429	445	485	▲ 9.6	▲ 8.9
(参考) 生鮮肉	13,917	16,459	16,395	18,160	▲ 30.5	▲ 10.8
牛肉	2,245	2,254	2,201	2,436	▲ 8.5	▲ 10.7
豚肉	6,003	6,976	7,131	7,793	▲ 29.8	▲ 9.3

B表 年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）（単位：円）

年	2010	2018	2019	2020	増減率 (%)	
					20/10	20/19
魚介類支出計	26,531	24,834	24,869	26,217	▲ 1.2	▲ 5.4
生鮮魚介計	15,456	13,926	13,935	14,783	▲ 4.4	▲ 6.1
鮮魚小計	13,941	12,805	12,805	13,572	▲ 2.6	▲ 6.0
まぐろ	1,836	1,746	1,754	1,837	▲ 0.1	▲ 4.8
あじ	448	383	361	363	▲ 19.0	▲ 0.5
いわし	206	184	156	156	▲ 24.3	▲ 0.2
かつお	522	472	486	440	▲ 15.7	▲ 9.5
かれい	461	324	308	315	▲ 31.7	▲ 2.1
さけ	1,265	1,579	1,622	1,781	▲ 40.8	▲ 9.8
さば	352	328	312	319	▲ 9.2	▲ 2.2
さんま	370	372	246	182	▲ 50.9	▲ 26.3
たい	382	298	284	381	▲ 0.2	▲ 34.4
ぶり	1,017	969	939	1,049	▲ 3.2	▲ 11.8
いか	796	594	588	654	▲ 17.9	▲ 11.1
たこ	434	408	423	502	▲ 15.6	▲ 18.8
えび	1,079	951	962	1,057	▲ 2.0	▲ 9.8
かに	631	472	528	584	▲ 7.3	▲ 10.6
貝類小計	1,516	1,120	1,130	1,211	▲ 20.1	▲ 7.2
あさり	365	247	254	264	▲ 27.7	▲ 3.9
しじみ	175	133	134	124	▲ 28.8	▲ 7.2
かき	325	294	261	266	▲ 18.0	▲ 2.1
ほたて	477	316	346	417	▲ 12.6	▲ 20.6
塩干魚介計	4,904	4,589	4,500	4,708	▲ 4.0	▲ 4.6
塩さけ	657	723	735	752	▲ 14.4	▲ 2.3
魚肉練製品	2,903	2,763	2,822	2,916	▲ 0.4	▲ 3.3
他の魚介加工品	3,268	3,556	3,612	3,810	▲ 16.6	▲ 5.5
(参考) 生鮮肉	19,279	24,671	24,086	27,101	▲ 40.6	▲ 12.5
牛肉	6,133	7,339	7,131	8,025	▲ 30.8	▲ 12.5
豚肉	7,771	10,266	9,979	11,139	▲ 43.3	▲ 11.6

資料：2020年度水産白書（水産庁）より（総務省「家計調査」

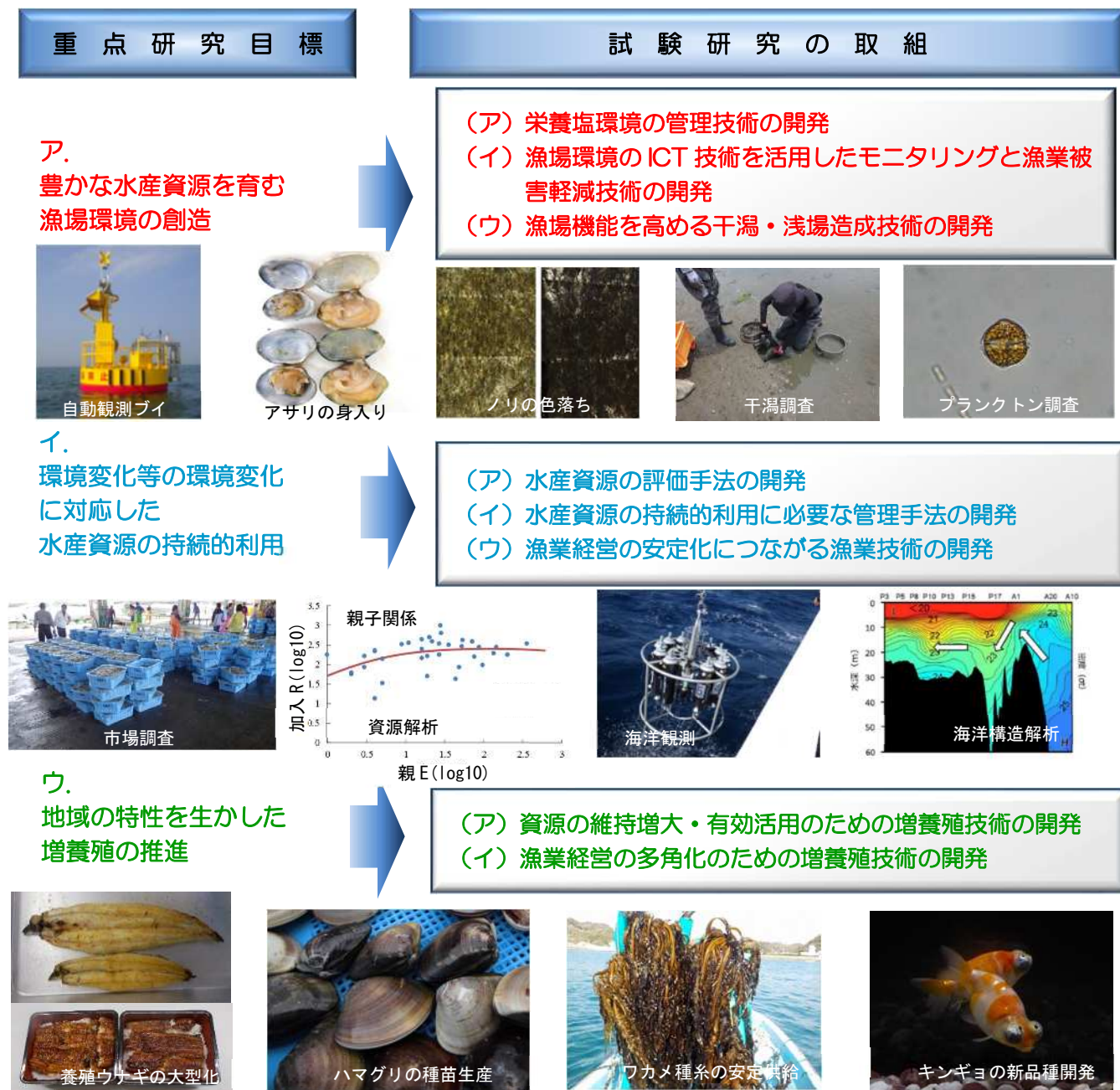
（二人以上の世帯（農林漁家世帯を除く）に基づき水産庁で作成）

6 技術の開発・普及

●試験研究の動き

県では、本県の農林水産業の振興を技術的に支援するため、2020年12月に「愛知県農林水産業の試験研究基本計画2025」を策定しました。前基本計画2020の成果と今後の課題を踏まえ、SDGsの達成等の社会的な要請に早期に応えることを目指して、効率的に試験研究に取り組み、スピード感を持って生産現場へ解決策を提示するため、重点研究目標を整理しています。

この基本計画では、2025年度を目標年度として水産試験場が取り組む3つの重点研究目標や研究事項等を取りまとめており、これら目標を達成するための研究課題を設定し、試験研究を実施していきます。



〈主要な問題の解説〉

〈船びき網の春季休漁による資源増殖効果〉

○背景・目的

本県の船びき網漁業は、イワシ類やいかなごを主に漁獲していましたが、近年いかなごの資源量が減少し、いかなご漁は2016年以降禁漁となっています。このため、船びき網漁業者にとっては、イワシ類を適切に資源管理し、安定した漁業収入を得ることが非常に重要になっています。水産試験場では、漁業者が適切な資源管理を行えるように、漁業調査船「海幸丸」によるイワシ類の卵稚仔調査結果や黒潮流路等の海況の情報提供を行っています。また、過去の漁獲データ等を分析し、効果的な資源管理手法を提案しています。

○取組の内容

水産試験場は、2019年に漁業者に対し、以下の2点を資源管理の方針として示し、春期の内湾禁漁を提案しました。

- ① 加入管理（来遊するかたくちいわし親魚を保護して湾内での産卵量を増やすこと）
- ② 成長管理（かたくちいわし、まいわし未成魚を十分に成長させてから漁獲すること）

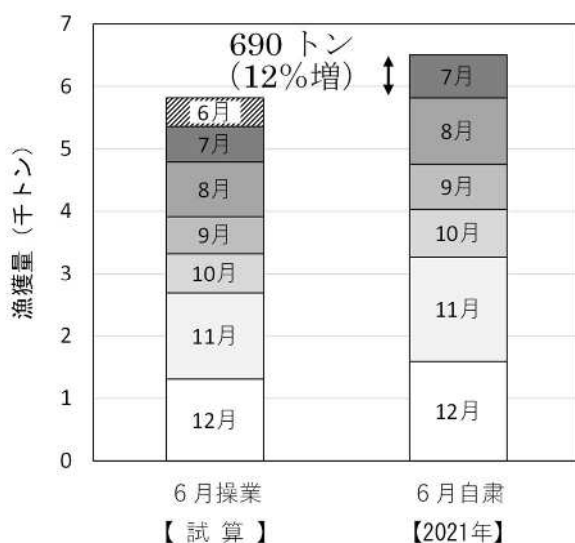
これを受け、船びき網漁業者の団体である愛知県ぱっち網漁業者組合（以下、ぱっち網組合）及び愛知県しらす・いかなご船びき網連合会（以下、しらす連合会）は、三重県漁業者とも協力して積極的に資源管理に取り組んでおり、2020年から、ぱっち網組合は6月まで操業を自粛し、しらす連合会も春季の内湾での操業を自粛する取り組みを実践しています。

○取組効果

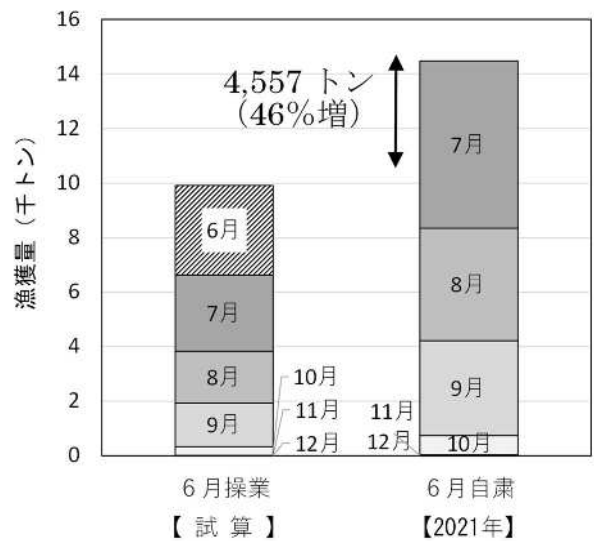
2020年に、漁業調査船「海幸丸」が実施した卵稚仔調査によると、内湾操業を自粛したことで、かたくちいわしの必要卵数（年間採集卵数2千個）が確保でき、実際に、しらすの2020年8月の漁獲量は1995年以降最高となり、2021年9月は過去2番目となりました。さらに、休漁しなかった場合の漁獲量を試算し、実際の漁獲量と比較して休漁の効果を算出したところ、かたくちいわしでは690トン増大（12%増）、まいわしでは4,557トン増大（46%増）と試算されました（A、B図）。

このように、伊勢・三河湾に来遊してくる限られた資源を、できるだけ有効に利用するため、ぱっち網組合やしらす連合会は、三重県漁業者と共に協力して資源管理に取り組んでおり、実際に漁獲量を増大して漁業収入を増やしています。これからも、水産試験場は漁業者の収入安定化を図られるよう、資源管理を推進していきます。

A図 かたくちいわしの月別漁獲量



B図 まいわしの月別漁獲量



7 時の話題

漁業用燃油価格高騰に対する支援について

漁業用燃油価格高騰対策支援金

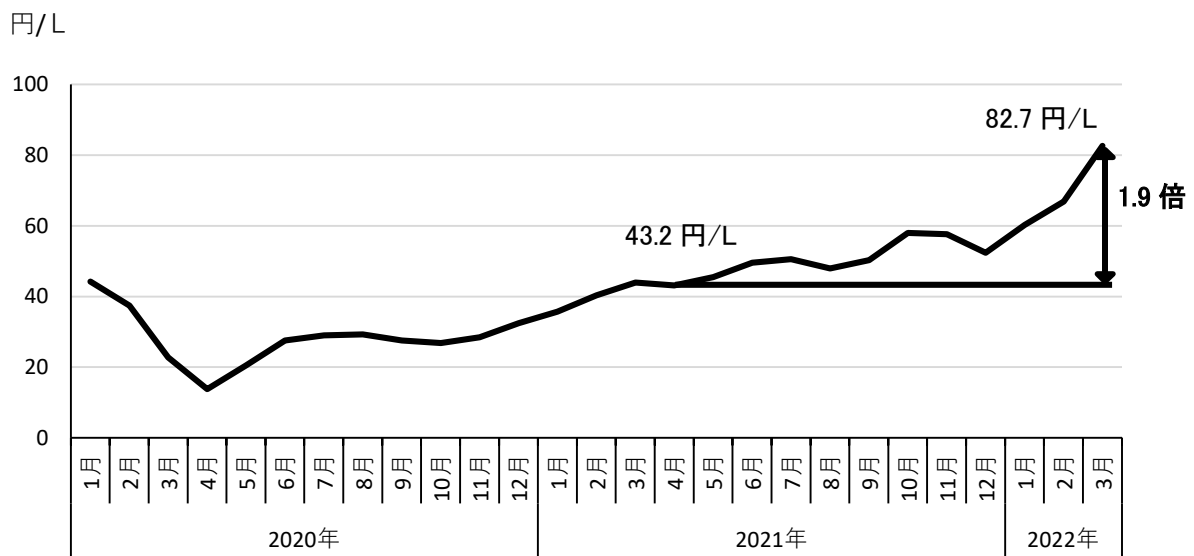
(1) 事業の背景・目的等

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界の経済活動が停滞したことで、原油価格は大幅に下落しました。その後、世界の経済活動が徐々に再開されたことに伴い、2020年4月を底に原油価格は徐々に上昇に転じました。2022年に入ってからロシアのウクライナ侵攻もあって高騰し、2022年3月には82.7円/Lとなり、1年間で約1.9倍の急激な上昇となりました（A図）。

本県水産業では、船びき網や底びき網等の漁船漁業やうなぎやのり等の養殖業において、軽油やA重油等の漁業用燃油が使用されており、燃油価格の高騰により経費が増大しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大による水産物需要の低迷による、魚価の下落に加えての打撃であり、漁業経営は一段と厳しい状況におかれています。

そのため、県では漁業者や養殖業者の漁業用燃油の購入に係る負担を軽減することで、漁業経営の安定化を図るとともに、県産水産物の安定供給に資するために、漁業用燃油の購入費に対する支援を行いました。

A図 平均原油価格の推移



※（株）東京商品取引所公表の中東産原油価格の最終決済価格

(2) 支援内容

事業名：漁業用燃油価格高騰対策支援金（2021年11月補正予算）

事業費（予算額）：215,962千円

事業主体：漁業協同組合

対象者：国が実施する漁業経営セーフティーネット構築事業（燃油対策）※への加入者

対象油種：A重油、軽油、ガソリン、灯油等の漁業用燃油

対象期間：2021年度第3四半期（2021年10月から12月）及び

2021年度第4四半期（2022年1月から3月）

支援内容：対象期間の平均原油価格と基準原油価格の差額を基準とし、県が定める漁業用燃油1Lあたりの補填単価に対象者の燃油購入量を乗じた金額を支援

（事業主体の漁業協同組合へは、事務運営費を定額で支援）

(3) 支援実績

	2021年度第3四半期 (2021年10～12月)	2021年度第4四半期 (2022年1～3月)	合計
補填単価（円/L）	10.0	7.2	-
対象者数（人）	430	352	782
燃油購入量（L）	8,280,274	6,896,904	15,177,178
燃油高騰対策費（円）	82,802,740	49,657,670	132,460,410
事務運営費（円）	462,250	378,400	840,650
支援金合計（円）	83,264,990	50,036,070	133,301,060

※第4四半期は支援対象者ごとに支援金額の小数点以下を切り捨てとしているため、補填単価と燃油購入量を乗じた金額と燃油高騰対策費は等しくならない。

(参考) 国が実施する漁業経営セーフティーネット構築事業（燃油対策）について

この事業は、漁業用燃油価格の上昇に備えて、漁業者と国が資金を積立て、原油価格が一定の基準を超えて上昇した場合に、漁業者や養殖業者に対し、補填金が支払われる制度となっています。補填金は、漁業者や養殖業者と国が1対1の割合で負担しますが、原油価格の上昇率により国の負担割合を段階的に高めて補填される仕組みとなっています。

補填金は、四半期ごとに原油の平均価格が7中5平均値（直前7年間（84ヶ月）分の各月の平均価格のうち、高値12ヶ月分と低値12ヶ月分を除いた5年（60ヶ月）分の平均値）を超えた場合に支払われます。また、急騰対策として、補填基準価格を超えない場合でも一定期間に急激な上昇があった場合には補填金が支払われます。

様々な要因により燃油価格は変動するため、漁業経営の安定化を図るために、漁業者には本事業の積極的な活用が望まれます。

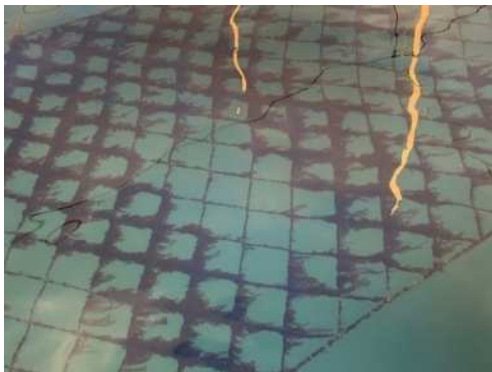
のり養殖の食害防止対策への支援について

1 目的・背景等

本県ののり養殖業は、2020年の生産枚数が全国7位となっており、本県の主要漁業の一つとなっています。しかし、県内ののり養殖業は、海域の高水温化や栄養塩濃度の低下などにより生産が低迷するなど、厳しい経営状況におかれています。

さらに、近年、問題になっているのが、養殖のりがカモや魚に食べられてしまう「食害」の発生です。のり養殖現場では、ある日のりが突然バリカンで刈ったように短くなる症状が従来から報告されており、長らく「バリカン症」と呼ばれる原因不明の病障害とされてきました。しかし、近年、カモや魚の胃内容物の調査やタイムラプスカメラでの撮影により、カモの仲間のヒドリガモやクロダイがのりを食べていることがわかってきました（A～D図）。

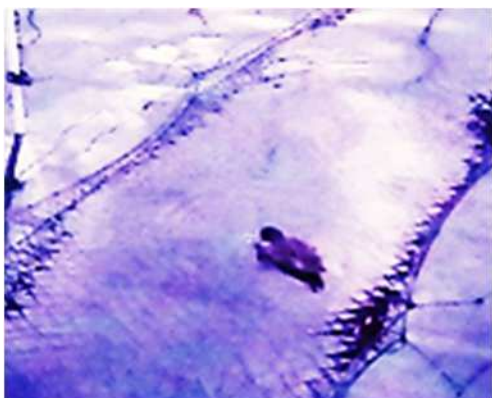
A図 食害された養殖のり



B図 養殖のりを摂食するクロダイ



C図 養殖のりを摂食するヒドリガモ



D図 駆除したヒドリガモの胃から見つかったのり葉体



これらの生物による食害の影響は大きく、のり養殖の縮小とともに被害が大きくなっているとの声が漁業者から寄せられており、県内の漁業者へのアンケートでも生産に占める食害被害は大きく、防除対策は喫緊の課題となっています。

そのため、漁業者は、カモには猟銃による駆除や音による追い払いなど様々な対策を行っていますが、カモが音に慣れてしまうため効果が長続きせず、また、魚の追い払い対策は難しいなどの問題があります。

食害対策において、食害生物の養殖施設への侵入を妨げるために養殖施設の上面や下面を防除網で覆う方法が最も効果的であることから、県では、2021年度からのり食害防止対策事業費補助金により、漁業協同組合が地域で実施するのり食害対策を支援することとしました（E, F図）。

E図 整備した防除網



F図 のり養殖網の下部に設置した防除網



2 事業の概要

事業名：のり食害防止対策事業費補助金

事業主体：市町

実施主体：漁業協同組合

事業内容：食害対策に用いる資材整備に要する費用の1/2を支援

3 2021年度の実績

	常滑市	美浜町	南知多町				合計
	鬼崎漁協	野間漁協	豊浜漁協	師崎漁協	大井漁協	篠島漁協	
防除対策 実施漁家数	34	15	7	3	5	10	74
防除対策 実施柵数	9,881	2,694	600	360	1,150	1,535	16,220
対策必要 柵数	36,315	17,684	6,224	1,870	2,900	7,920	72,913

※防除対策実施漁家数は、今回の支援により対策に取り組む漁家数

※防除対策実施柵数は、今回の支援により対策を実施するのり柵数

※対策必要柵数は、各漁協の柵数に平均的な張り替え枚数を乗じたもの

4 事業成果について

本事業により、防除資材の整備にかかる経済的な負担が低減され、2021年度は74の漁家が食害対策に取り組むことができました。また、漁業者からは「防除網は食害対策の必需品であるため、本事業は非常に助かった」という声が多く聞かれました。引き続き、防除網を用いたのり食害対策を支援するとともに、今後は、漁業経営の安定に繋がる新たな食害対策についても検討していきます。

第5次漁港漁場整備長期計画の策定

水産業をめぐる情勢の変化や今後の水産施策の展開を踏まえて水産基盤整備における課題に対応し、水産基本計画との密接な連携のもと、漁港漁場整備法第6条の2に基づき定めた漁港漁場整備基本方針に即して漁港・漁場・漁村の総合的かつ計画的な整備を推進するため、2022年度を初年度とする第5次漁港漁場整備長期計画が策定されました。

1 根拠法令

漁港漁場整備法（昭和25年法律第137号）第6条の3

概要……農林水産大臣は、漁港漁場整備事業の総合的かつ計画的な実施に資するため、政令で定めるところにより、漁港漁場整備基本方針に即して、漁港漁場整備事業に関する長期の計画（以下「長期計画」という。）の案を作成し、閣議の決定を求めなければならない。

2 計画期間

2022年度から2026年度までの5年間

3 整備目標

（1）産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

- ・流通拠点及び輸出拠点となる漁港において、水産物の高度な衛生管理体制が構築された漁港の割合を49%（2021年度）からおおむね60%（2026年度）に向上させる。
- ・圏域計画に基づき、おおむね20圏域で流通機能の再編・集約等を実施し、水産物の価格形成能力の向上や生産・流通コストの削減を図る。
- ・養殖生産拠点地域において、各地域の生産目標を達成するため、種苗の確保から養殖水産物の加工・流通に至る必要な機能が確保された地域の割合を64%（2021年度）からおおむね85%に向上させる。

（2）海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

- ・総合的な水産環境の整備を行う全ての海域において、海域の環境変化を踏まえた対策を実施する。
- ・水産物の流通拠点となる漁港や災害時に物資輸送等の拠点となる漁港等において、地震・津波に対する主要施設の安全性が確保された漁港の割合を、21%（2021年度）からおおむね60%に向上させる。
- ・予防防災型の老朽化対策を早期に行う必要がある全ての漁港で対策に着手する。

（3）「海業」振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

- ・漁港の多様な利活用に向けた取組を行う地区をおおむね150地区創出する。
- ・水産物の流通拠点や生産拠点となる漁港において、就労環境が改善された漁港の割合を、69%（2021年度）からおおむね85%に向上させる。
- ・漁業集落排水施設が整備された漁村の人口割合を、80%（2021年度）からおおむね95%に向上させる。

4 本県の計画

- ・都道府県は漁港漁場整備基本方針の規定を踏まえ、地域の実情に応じた漁港漁場圏域を設定し、圏域毎に『圏域総合水産基盤整備事業計画』を策定しています。
- ・本県では、①知多北部、②知多南部、③西三河、④蒲郡市、⑤渥美の5つの圏域を設定しており、各圏域の主な事業は、次のとおりです。

愛知県の各圏域における主な事業

圏域名	区域	国の事業名(漁港又は内容)
①知多北部	常滑市、 美浜町(伊勢湾側)	水産物供給基盤機能保全事業(鬼崎、小鈴谷、上野間)
②知多南部	南知多町、 美浜町(三河湾側)	水産物供給基盤機能保全事業(豊浜、師崎、篠島) 漁港施設機能強化事業(豊浜、師崎、篠島) 水産流通基盤整備事業(師崎) 水産業強化支援事業(篠島) 漁村総合整備事業(日間賀)
③西三河	碧南市、西尾市	水産物供給基盤機能保全事業(大浜、一色、西幡豆、蜷川、寺津、衣崎、宮崎) 漁港施設機能強化事業(栄生、佐久島)
④蒲郡市	蒲郡市	水産物供給基盤機能保全事業(形原、知柄) 漁港施設機能強化事業(形原、知柄)
⑤渥美	豊橋市、田原市	水産物供給基盤機能保全事業(福江、赤羽根) 水産生産基盤整備事業(福江、赤羽根)
愛知県海域		水産環境整備事業(干潟・浅場造成、貝類増殖場造成、魚礁漁場整備)

※水産環境整備事業については、地域的な圏域を設定せず、内湾から外海までの県内海域を対象に漁場を整備する。

漁港整備事業(水産物供給基盤機能保全事業等)

圏域総合水産基盤整備事業計画に基づき、漁港区域の長寿命化対策のための機能保全や、耐震・耐津波性能の機能強化、漁港の有効活用を図るための施設整備を支援する。

- ・漁港の長寿命化対策、耐震・耐津波対策等



漁港の整備

干潟・浅場造成事業

二枚貝の資源増大を図るとともに、水産生物の産卵・育成の場を造成する。また、二枚貝が有する水質浄化機能の活用によって漁場環境を改善する。

- ・漁場の整備面積 5年間で50ha



干潟・浅場の造成

貝類増殖場造成事業

貝類の資源減少要因の一つである波浪の影響を緩和するため、碎石等を利用した増殖場を造成する。

- ・漁場の整備面積 5年間で15ha



貝類増殖場の造成

魚礁漁場整備事業

餌料培養・産卵育成機能を有する魚礁を外海域に設置し、内湾から移動する水産生物の生息場と、ヤリイカ等の産卵・育成場を造成する。

- ・漁場の整備量 5年間で7,500空³



魚礁の整備

水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画

(第8次愛知県栽培漁業基本計画)の策定について

1 策定の目的

栽培漁業は、水産動物の減耗が最も激しい卵から幼稚仔の時期を人間の管理下において種苗を生産し、これを天然の水域へ放流した上で適切な管理を行い、対象とする水産動物の資源の持続的な利用を図ろうとするものです。

本県の栽培漁業は、沿岸漁場整備開発法（昭和49年法律第49号）に基づく「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画（愛知県栽培漁業基本計画）」（以下、計画という。）により推進され、栽培漁業対象魚種であるくるまえびやがざみの漁獲量は全国1位、とらふぐの漁獲量も全国上位となるなど、本県漁業の振興や資源の維持・増大に重要な役割を果たしています。

この栽培漁業を引き続き計画的に推進していくため、2022年7月に策定された国の「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本方針」（以下、第8次方針という。）を踏まえ、2022年度から5年間の本県の栽培漁業の進め方を定めた第8次計画を策定しました。

2 第8次計画の主な内容

(1) 漁獲管理との一体的な取組

栽培漁業を資源管理の一環に位置づけた国の第8次方針を踏まえ、第8次計画においては、稚魚段階での漁獲の抑制や親魚の獲り残し等の漁獲管理と一体的に栽培漁業を推進し、漁獲管理と種苗放流を組み合わせた資源評価とともに放流効果の検証に努めることとしました。

(2) 種苗放流を推進する種類及び放流数量目標

本県の栽培漁業は、1978年度にくるまえびとあわびの2魚種の種苗生産から開始され、技術開発の進展や資源の状況、漁場環境の変化、漁業者の要望などを踏まえて魚種の追加や変更、放流数量の見直しを行ってきました。

第8次計画の種苗生産魚種については、資源量が十分に増加したくろだいを計画から削除するとともに、新たな貝類資源として、はまぐりを種苗生産の対象魚種に位置づけました。

また、放流数量目標については、とらふぐ、くるまえび、がざみ、よしえび、なまこの5種で数量を増やすとともに、みるくい及びはまぐりの数量を新たに決めました。

(3) 継続的な実施体制の確立





種苗生産を担う愛知県栽培漁業センターは、設置後40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を図ることとし、2022年度からは、2カ年にわたる施設の長寿命化改修工事を行っています。また、第8次計画で生産対象魚種に新たに位置づけた、みるくい及びはまぐりの種苗生産等を行うため、新しい種苗生産棟の整備を進めています。

A 図 愛知県栽培漁業センター(田原市)



A 表 第 8 次計画における種苗生産・放流を推進する種類、放流数量目標及び大きさ

種苗生産・放流を推進する種類				
	とらふぐ	あわび	みるくい	はまぐり
放流数量目標 (前計画との比較)	18 万尾 (3 万尾増)	27 万個 (維持)	14 万個 (新規)	100 万個 (新規)
大きさ (cm)	3.5~4.5	1.0~2.0	0.4~0.8	0.1~0.3

種苗生産・放流を推進する種類				
	くるまえば	がざみ	よしえび	なまこ
放流数量目標 (前計画との比較)	2,200 万尾 (200 万尾増)	183 万尾 (23 万尾増)	560 万尾 (110 万尾増)	120 万尾 (50 万尾増)
大きさ (cm)	1.5~2.0	0.5~0.8	1.1~1.7	0.5~1.0

(くろだいは資源造成が図られたため、第 8 次計画から削除した。)

新たに開発した乾燥飼料でうなぎ仔魚をシラスウナギに育成成功

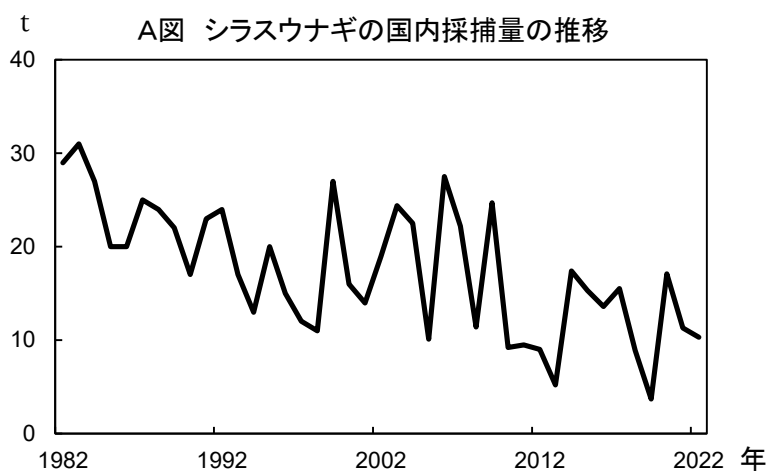
1 技術開発の背景

うなぎ養殖には天然のシラスウナギを種苗として用いますが、近年、シラスウナギの国内採捕量は減少傾向にあり（A図）、種苗の確保が不安定な状況となっています。このため、安定的にシラスウナギを確保できるよう、人工的に産卵、ふ化させ親うなぎまで飼育する完全養殖が望まれています（B図）。国立研究開発法人水産研究・教育機構では、1998年にうなぎ仔魚用飼料として、サメ卵を凍結して作成する液体状飼料が有効であることを明らかにしました。また、2002年に卵から育てたうなぎ仔魚（レプトセファルス幼生）をシラスウナギに変態させることに世界で初めて成功しました（A表）。

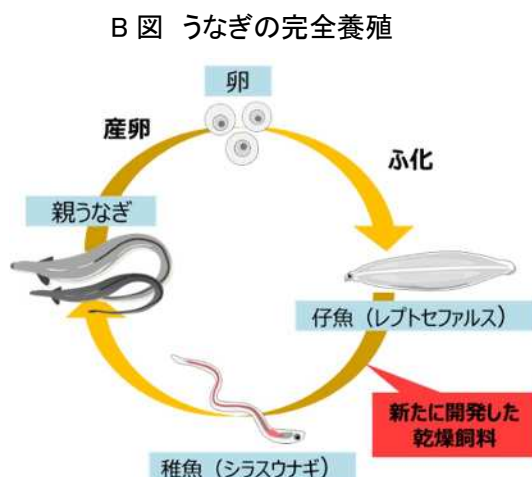
しかし、開発された液体状飼料は腐敗しやすいため、飼料の保管や輸送、給餌作業に関する手間やコストがかかることが課題でした。

このため、2020年度から水産試験場では、国や民間企業などと連携し、新しい飼料の開発に向けた共同研究を始めました。

このため、2020年度から水産試験場では、国や民間企業などと連携し、新しい飼料の開発に向けた共同研究を始めました。



（資料 農林水産省 漁業・養殖業生産統計年報、水産庁調べ）



A表 ニホンウナギの種苗生産研究の主なあゆみ

1973年	世界初の人工ふ化に成功、5日間生存(北海道大学) 以後、静岡県水産試験場、千葉県水産試験場、東京大学でも成功
1991年	メス化養成親魚によりふ化仔魚を得ることに成功(愛知県水産試験場)
1998年	うなぎ仔魚用飼料として、サメ卵を凍結して作成する液体状飼料を開発(水産研究・教育機構)
2002年	世界で初めてシラスウナギへの変態達成(水産研究・教育機構)
2010年	世界で初めて完全養殖に成功(水産研究・教育機構)
2018年～	水産庁委託「ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業」が開始
2020年	国や民間企業などと連携し、新しい飼料の開発に向けた共同研究を開始
2021年	乾燥粉末飼料のみを用いて、初めてシラスウナギまでの育成に成功

2 新たな開発技術の内容

この共同研究では、取扱いが簡易で多くの魚類養殖で用いられている乾燥飼料の開発を目指し、水槽での状態やうなぎ仔魚の摂餌状況を観察するとともに、従来の液体状飼料との比較試験を繰り返しました。

その成果として、新たに開発した乾燥飼料は、従来の液体状飼料を給餌した場合に近い飼育成績が得られ、うなぎ仔魚(C図)をシラスウナギ(D図)まで育成することに成功しました。

C図 変態開始直後のうなぎ仔魚
(ふ化後 174 日目)



D図 シラスウナギへの変態完了後
(ふ化後 186 日目)



提供：国立研究開発法人水産研究・教育機構

3 実用化に向けて

水産試験場では、前述のとおり開発した乾燥飼料と従来の液体状飼料の比較を行うため、ふ化後(E図)から20日齢(F図)までにおける飼料の評価試験を担当しましたが、今後、更に共同研究で乾燥飼料の改良や給餌方法等の検討を進めることで、将来的には人工シラスウナギの安価な大量生産につながることを期待されます。

なお、この研究は水産庁委託事業(ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業)により実施されています。

E図 ふ化直前の卵とふ化仔魚



F図 給餌開始時期のうなぎ仔魚



[資料編]

目次

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産	36
2 経済活動別就業者数	36
3 愛知県の漁業・養殖業全国順位	37
4 主要品目別全国順位	38

II 漁業経営

5 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数	39
6 主とする漁業種類別経営体数	40
7 営んだ漁業種類別経営体数	40
8 市町別海面漁業・養殖業経営体数	41
9 内水面養殖業経営体数	41
10 男女別男子年齢別漁業就業者数	41
11 新規漁業就業者数	41
12 高校卒業者の卒後状況	42
13 漁業権免許件数一覧表	42
14 遊漁船業者登録件数	42
15 漁家経済	42
16 漁業近代化資金利子補給承認状況	43
17 漁業振興資金融資状況	43
18 沿岸漁業改善資金融資状況	43
19 地域別海水動力漁船隻数	44
20 海水動力漁船機関種類別隻数、トン数及び馬力数	45
21 農林水産統計による漁船隻数	45

III 漁場と資源

22 海域におけるCODの経年変化	46
23 河川・湖沼における主要環境基準地点のBOD(COD)の経年変化	47
24 海域における全窒素・全燐の年平均値の経年変化	47
25 赤潮の経年変化(月別、水域別)、苦潮発生状況とその漁業被害	48
26 漁港整備計画別事業費実績	49
27 沿岸漁業構造改善事業等実績	49
28 水産振興対策事業実績	50
29 漁場整備事業実績	50

IV 漁業生産

30 漁業総生産	51
31 主要市町別海面漁業・養殖業生産量	51
32 海面漁業種類別地域別漁獲量	52
33 海面漁業魚種別漁獲量	53
34 海面漁業魚種別産出額	54
35 海面漁業種類別魚種別漁獲量	55
36 地域別のり生産枚数（暦年）	56
37 地区別のり生産枚数（養殖年）	57
38 内水面漁業魚種別漁獲量	58
39 内水面漁業魚種別産出額	58
40 内水面養殖業魚種別収獲量	58
41 内水面養殖業魚種別産出額	58
42 観賞魚養殖状況	59
43 しらすうなぎ池入数量	59

V 流通加工

44 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格	60
45 水産加工品生産量	60

(付属資料)

46 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図	61
47 2021年度の主な水産年譜	62
48 愛知県の水産業に関する地勢	62

*使用上の注意

- ◎表によっては、四捨五入のため計と内訳が一致しない場合がある。
- ◎内水面養殖業の総生産量には、観賞魚の生産量を含まない。
- ◎内水面養殖業の総産出額には、観賞魚の産出額を含む。

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産

(単位：百万円)

項目	年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1 産 業		25,156,620	26,454,226	26,454,226	26,454,226	26,703,264	25,308,603
(1) 第 1 次 産 業		97,233	113,906	125,036	134,177	115,285	111,016
農 業		82,195	96,799	106,639	115,184	97,699	93,375
林 業		1,382	1,484	1,555	1,509	1,564	1,720
水 産 業		13,656	15,623	16,841	17,483	16,022	15,921
(2) 第 2 次 産 業		10,411,811	11,069,422	10,609,270	10,841,186	11,025,184	9,668,996
鉱 業		3,980	4,317	3,646	4,186	3,977	4,060
製 造 業		9,059,793	9,690,719	9,197,466	9,416,125	9,635,760	8,283,988
建 設 業		1,348,038	1,374,386	1,408,158	1,420,875	1,385,447	1,380,948
(3) 第 3 次 産 業		14,647,576	15,270,898	15,719,920	15,478,863	15,562,795	15,528,591
電気・ガス・水道・廃棄物処理業		324,475	490,575	406,590	441,161	443,478	429,107
卸 売 ・ 小 売 業		4,020,815	3,974,564	3,888,498	4,056,414	4,036,230	3,946,741
運 輸 ・ 郵 便 業		1,350,718	1,362,271	1,344,489	1,447,280	1,454,947	1,427,509
情 報 通 信 業		747,340	793,893	856,717	858,657	877,289	868,159
金 融 ・ 保 険 業		1,023,396	1,037,236	982,881	1,002,297	1,030,913	1,084,987
不 動 産 業		1,980,995	2,010,269	2,038,791	2,049,134	1,969,342	1,974,336
サ ー ビ ス 業		5,199,837	5,602,090	6,201,954	5,623,920	5,750,596	5,797,752
2 一 般 政 府		1,496,198	1,492,151	1,495,353	1,510,572	1,516,971	1,504,931
3 対 家 計 民 間 非 営 利 団 体		485,190	513,996	522,594	547,975	537,431	572,479
合 計		27,138,008	28,258,183	27,851,860	28,512,773	28,757,666	27,386,013

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

2 経済活動別就業者数（従業地ベース）

(単位：人)

項目	年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1 産 業		3,836,294	3,799,768	3,808,465	3,810,199	3,826,796	3,854,417
(1) 第 1 次 産 業		77,333	75,251	73,235	71,278	69,385	67,550
農 業		72,346	70,440	68,584	66,769	65,008	63,300
林 業		821	761	707	658	615	575
水 産 業		4,166	4,050	3,944	3,851	3,762	3,675
(2) 第 2 次 産 業		1,189,160	1,187,075	1,179,117	1,180,841	1,195,662	1,212,793
鉱 業		723	686	649	652	614	615
製 造 業		921,349	917,782	914,849	915,375	931,158	946,197
建 設 業		267,088	268,607	263,619	264,814	263,890	265,981
(3) 第 3 次 産 業		2,915,315	2,884,280	2,906,272	2,912,774	2,921,880	2,940,433
電気・ガス・水道・廃棄物処理業		23,452	23,921	24,838	25,428	25,954	26,421
卸 売 ・ 小 売 業		757,620	747,541	739,381	732,591	726,786	721,694
運 輸 ・ 郵 便 業		232,087	231,176	230,822	235,401	239,020	240,022
情 報 通 信 業		76,300	78,966	81,771	84,682	87,664	90,681
金 融 ・ 保 険 業		88,343	90,034	90,734	90,836	91,401	90,221
不 動 産 業		61,850	62,347	63,084	63,988	65,006	66,106
サ ー ビ ス 業		1,675,663	1,650,295	1,675,642	1,679,848	1,686,049	1,705,288
2 一 般 政 府		201,597	201,461	201,390	201,353	201,329	201,316
3 対 家 計 民 間 非 営 利 団 体		143,917	145,377	148,769	153,341	158,802	165,043
合 計		4,181,808	4,146,606	4,158,624	4,164,893	4,186,927	4,220,776

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

注）「あいちの県民経済計算」の計数は、最近の年度を中心に推計方法の改善等により改定を行うことがあります。

3 愛知県の漁業・養殖業全国順位 (2020年)

(1) 生産量

(単位：t)

	海面漁業	海面養殖業	内水面漁業	内水面養殖業
全国	3,213,035	970,081	21,745	29,087
1位	北海道 894,911	広島 99,158	北海道 7,106	鹿児島 7,125
2位	茨城 302,213	北海道 94,115	島根 4,121	愛知 5,668
3位	長崎 228,051	宮城 83,798	青森 3,300	宮崎 3,252
4位	静岡 184,055	青森 81,374	茨城 2,438	静岡 2,499
5位	宮城 165,161	佐賀 76,685	滋賀 833	長野 1,306
	17位 愛知 53,459	21位 愛知 10,292	30位 愛知 18 (84)	

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面漁業における括弧内の数値は県調べ。

海面漁業以外の愛知県順位は秘匿県を除いた参考値である。

(2) 産出額

(単位：億円)

	海面計	海面漁業	海面養殖業
全国	12,103	7,735	4,368
1位	北海道 2,021	北海道 1,801	愛媛 586
2位	長崎 893	長崎 564	鹿児島 467
3位	愛媛 756	宮城 487	長崎 328
4位	宮城 718	静岡 432	熊本 287
5位	鹿児島 649	青森 348	佐賀 273
6位	兵庫 488	高知 240	兵庫 252
7位	静岡 459	岩手 238	大分 232
8位	青森 454	兵庫 237	宮城 231
9位	高知 424	千葉 232	北海道 220
10位	三重 361	宮崎 224	福岡 217
	24位 愛知 160	18位 愛知 131	22位 愛知 29

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面産出額の都道府県別統計は公表されていない。

海面漁業・養殖業の愛知県順位は秘匿県を除いた参考値である。

4 主要品目別全国順位

品目	年	順位					全国
		1位	2位	3位	4位	5位	
くるまえばい(t)	2015	愛媛 82	愛知 72	大分 35	香川 30	福岡 29	334
	2016	愛媛 80	愛知 79	大分 39	福岡 35	香川 29	354
	2017	愛媛 69	愛知 64	福岡 46	大分 37	熊本 23	322
	2018	愛知 86	愛媛 68	福岡 47	大分 37	香川 23	357
	2019	愛知 83	愛媛 56	大分 50	福岡 34	熊本 17	320
	2020	愛知 75	愛媛 56	福岡 32	大分 22	熊本 15	245
しらす(t)	2015	兵庫 11,696	愛知 11,445	静岡 9,885	大阪 3,943	鹿児島 9,592	64,772
	2016	兵庫 12,516	静岡 8,905	愛知 8,445	大分 4,093	大阪 3,859	63,180
	2017	兵庫 9,589	静岡 5,226	愛知 5,039	茨城 3,775	愛媛 3,687	50,855
	2018	兵庫 9,437	愛知 6,821	静岡 5,844	茨城 3,395	大阪 2,937	50,509
	2019	兵庫 14,505	愛知 11,433	静岡 4,980	大阪 3,713	茨城 3,411	59,883
	2020	兵庫 13,972	愛知 9,428	静岡 6,126	茨城 4,645	大阪 3,175	59,224
がざみ類(t)	2015	宮城 518	愛知 316	福岡 239	愛媛 204	長崎 90	2,120
	2016	宮城 662	愛知 248	福岡 237	愛媛 152	大分 90	2,160
	2017	宮城 714	福岡 247	愛知 219	愛媛 121	大分 108	2,232
	2018	宮城 747	福岡 219	愛知 185	愛媛 128	北海道 115	2,213
	2019	愛知 532	宮城 334	福岡 209	愛媛 130	北海道 108	2,209
	2020	愛知 640	宮城 337	福岡 194	長崎 105	愛媛 104	2,092
あさり類(t)	2015	愛知 8,282	静岡 3,437	北海道 1,009	千葉 209	熊本 207	13,810
	2016	愛知 3,973	静岡 1,901	北海道 1,199	福岡 548	千葉 412	8,967
	2017	愛知 1,635	福岡 1,513	北海道 1,312	静岡 968	熊本 730	7,072
	2018	愛知 2,741	福岡 1,735	北海道 1,364	静岡 978	熊本 527	7,736
	2019	愛知 3,880	北海道 1,360	福岡 1,100	静岡 872	熊本 339	7,976
	2020	愛知 1,602	北海道 1,460	静岡 707	福岡 213	長崎 103	4,305
板のり(千枚)	2015	佐賀 1,772,713	兵庫 1,683,837	福岡 1,222,264	熊本 786,891	(7位)愛知 323,436	7,658,019
	2016	佐賀 1,987,892	兵庫 1,517,402	福岡 1,334,265	熊本 1,013,142	(7位)愛知 340,099	7,792,052
	2017	佐賀 1,784,825	兵庫 1,484,568	福岡 1,423,840	熊本 1,123,015	(7位)愛知 315,317	7,845,680
	2018	佐賀 1,817,031	兵庫 1,705,627	福岡 1,133,857	熊本 857,284	(7位)愛知 278,721	7,285,399
	2019	佐賀 1,738,319	兵庫 1,327,313	福岡 1,179,821	熊本 860,486	(7位)愛知 244,550	7,658,019
	2020	佐賀 2,000,448	兵庫 1,578,382	福岡 1,453,174	熊本 946,193	(7位)愛知 256,676	7,525,614
うなぎ養殖(t)	2015	鹿児島 8,157	愛知 5,116	宮崎 3,348	静岡 1,834	徳島 393	20,119
	2016	鹿児島 7,972	愛知 4,742	宮崎 3,255	静岡 1,654	三重 306	18,907
	2017	鹿児島 8,562	愛知 5,780	宮崎 3,262	静岡 1,705	高知 603	20,979
	2018	鹿児島 6,381	愛知 3,459	宮崎 2,539	静岡 1,457	徳島 332	15,111
	2019	鹿児島 7,086	愛知 4,357	宮崎 3,070	静岡 1,534	高知 296	17,071
	2020	鹿児島 7,057	愛知 4,315	宮崎 2,856	静岡 1,536	徳島 243	16,806
あゆ養殖(t)	2015	愛知 1,160	和歌山 984	岐阜 897	滋賀 460	栃木 333	5,084
	2016	愛知 1,182	和歌山 1,039	岐阜 882	滋賀 504	栃木 330	5,183
	2017	愛知 1,156	和歌山 1,034	岐阜 967	滋賀 491	栃木 325	5,053
	2018	愛知 1,220	和歌山 788	岐阜 650	滋賀 341	栃木 327	4,310
	2019	愛知 1,171	岐阜 910	和歌山 584	栃木 310	滋賀 292	4,089
	2020	愛知 1,189	岐阜 906	和歌山 630	栃木 318	滋賀 217	4,044

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

Ⅱ 漁業経営

5 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数

年	階層 地域	総数	漁船 非使用	無動力船	船外機船	1 t 未満	1 ~ 3 t	3 ~ 5 t	5 ~ 10 t	10 t 以上	小型定置 地びき網	浅海養殖
2003	県計	2,790	75	1	—	768	312	508	262	296	78	490
	海部	3	x	—	—	x	x	x	x	x	x	3
	知多	1,349	2	—	—	152	245	331	123	182	27	287
	西三河	847	x	—	—	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	591	26	1	—	325	17	63	47	33	37	42
2004	県計	2,741	71	—	—	762	319	482	250	309	73	475
	海部	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	知多	1,325	1	—	—	163	247	303	120	185	23	283
	西三河	797	45	—	—	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	616	25	—	—	x	x	x	x	x	x	x
2005	県計	2,700	61	—	—	780	300	486	239	304	75	455
	海部	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	知多	1,302	—	—	—	161	231	309	120	185	23	273
	西三河	764	x	—	—	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	631	x	—	—	x	x	x	x	x	x	x
2006	県計	2,659	63	—	—	775	292	477	230	301	74	447
	海部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	知多	1,281	—	—	—	153	227	301	119	185	23	273
	西三河	762	x	—	—	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	616	x	—	—	x	x	x	x	x	x	x
2008	県計	2,530	96	2	776	29	263	438	245	270	47	364
	知多	1,199	1	—	152	16	198	272	125	175	20	240
	西三河	736	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	595	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
2013	県計	2,348	58	1	780	71	263	394	222	248	44	267
	知多	1,104	1	—	189	11	158	234	117	163	20	211
	西三河	695	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	549	23	1	245	58	83	27	44	27	15	26
2018	県計	1,924	61	—	683	36	164	323	172	226	43	216
	知多	993	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	西三河	479	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	452	37	—	259	24	27	15	25	23	12	30

資料：2003～06年は「稼動量調査」、08、13、18年は「漁業センサス」
(農林水産省統計部)

注) 2007年以降は漁業センサス年のみの公表(県計のみ)となった。

6 主とする漁業種類別経営体数

区分 \ 年	2004	2005	2006	2008	2013	2018
県計	2,741	2,700	2,659	2,530	2,348	1,924
沖合底びき網	4	4	4	4	4	4
小型底びき網	581	584	563	539	492	388
まき網	3	3	3	4	-	-
刺網	261	264	251	226	183	193
釣	269	256	260	204	184	171
はえ縄	26	26	26	23	7	7
地びき網	15	19	18
船びき網	116	114	115	106	102	110
小型定置網	58	56	56	47	44	43
その他の網漁業	21	4	5
採貝	657	657	660
採藻	17	25	25
採貝・採藻	747	796	536
潜水器漁業	129	125	124	113	124	125
その他の漁業	130	112	107	132	141	126
のり養殖業	449	421	413	341	233	184
わかめ養殖業	16	26	26	19	31	31
その他養殖業	10	8	8	4	3	1

資料：2006年以前は「稼動量調査」、08、13、18年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）
注）2007年以降は漁業センサス年のみの公表となった。

7 営んだ漁業種類別経営体数

区分 \ 年	2004	2005	2006	2008	2013	2018
県計	4,427	4,311	4,215	3,598	3,157	2,593
沖合底びき網	4	4	4	4	4	4
小型底びき網	718	715	683	676	587	451
まき網	4	4	3	4	3	2
刺網	506	477	461	370	289	272
釣	558	540	534	348	272	268
はえ縄	96	94	94	84	63	62
地びき網	17	19	20
船びき網	139	131	130	139	118	129
小型定置網	107	103	100	83	63	61
その他の網漁業	28	25	9
採貝	1,055	1,009	1,026
採藻	90	92	89
採貝・採藻	1,027	981	687
潜水器	142	159	157	138	139	142
その他の漁業	421	402	381	272	267	230
のり養殖業	468	454	426	358	244	191
わかめ養殖業	92	100	99	58	95	82
その他養殖業	10	8	8	9	7	3

資料：2006年以前は「稼動量調査」、08、13、18年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）
注）2007年以降は漁業センサス年のみの公表となった。

8 市町別海面漁業・養殖業経営体数

年	2004	2005	2006	2008	2013	2018
市町						
計	2,741	2,700	2,659	2,530	2,348	1,924
弥富市	3	3	-	-	-	-
常滑市	211	210	195	189	171	148
半田市	-	-	-	-	-	1
武豊町	-	-	-	-	-	1
美浜町	131	129	129	117	105	86
南知多町	983	963	957	893	828	757
碧南市	54	53	53	47	60	25
西尾市	60	51	49	52	634	454
一色町	496	477	480	459		
吉良町	87	86	84	79		
幡豆町	99	96	95	98		
刈谷市	1	1	1	1	1	-
蒲郡市	99	94	82	81	66	68
豊橋市	9	13	14	15	-	-
田原市	63	524	520	499	483	384
赤羽根町						
渥美町	445					

資料：2006年以前は「稼動量調査」、08、13、18年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

- 注) 2003年に田原町と赤羽根町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。
 2005年に田原市と渥美町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。
 2011年に西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が合併したため、統計上の区分が西尾市となった。
 2007年以降は、漁業センサス年だけの公表となった。

9 内水面養殖業経営体数

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020
区分						
ます類	12	12	10	10	11	11
あゆ	16	16	16	16	16	16
こい	14	14	14	13	12	14
うなぎ	136	135	134	133	127	125
きんぎょ	95	91	87	81	75	70
その他				4	4	3
計	273	268	261	257	245	239

注) 「その他」は2018年から掲載している。

資料：県水産課調べ

10 男女別男子年齢別漁業就業者数

年	合計	男子					女子
		計	15～24才	25～39才	40～59才	60才以上	
2003	5,304	4,091	178	679	1,467	1,767	1,213
2008	4,964	4,015	132	637	1,356	1,890	949
2013	4,319	3,555	159	586	1,142	1,668	764
2018	3,373	2,937	108	433	1,022	1,374	436

資料：2003年は「稼動量調査」、08、13、18年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

注) 2004年以降は漁業センサス年だけの公表となった。

11 新規漁業就業者数

年度	海部	知多	西三河	新城設楽	東三河	計	中学校卒	高等学校卒	その他学卒	その他(転職等)
2015	0	22	7	0	3	32	0	3	10	19
2016	2	8	3	0	5	18	1	4	1	12
2017	0	10	2	2	7	21	1	4	2	14
2018	0	10	0	0	2	12	0	3	2	7
2019	1	9	2	0	2	14	0	6	0	8
2020	0	9	1	2	3	15	3	1	2	9

資料：県水産課調べ

12 高校卒業者の卒後状況

年	新卒者 総数	大学等 進学者	就業者						その他	漁業就業者 /全就業者 (%)
			総数	第1次産業			第2次産業	第3次産業 ・その他		
				小計	農業・林業	漁業				
2015	63,156	37,139	11,819	35	24	11	6,896	4,888	14,198	0.09
2016	63,579	37,350	12,192	53	40	13	7,453	4,686	14,037	0.11
2017	65,204	37,728	12,696	45	36	9	7,760	4,891	14,780	0.07
2018	64,684	37,655	12,618	40	28	12	7,976	4,602	14,411	0.10
2019	64,353	37,374	12,662	58	44	14	8,097	4,507	14,317	0.11
2020	63,287	37,368	12,264	41	35	6	7,667	4,556	13,655	0.05
2021	62,134	37,186	10,897	51	39	12	6,569	4,277	14,051	0.11

注) 各年3月卒業者

資料: 学校基本調査結果(県統計課)

13 漁業権免許件数一覧表

種類 内訳	共同漁業権				区画 漁業権	合計
	第1種 第2種	第3種 (つきいそ)	第5種	計		
知多	12	71	-	83	38	121
西三河	5	30	-	35	21	56
東三河	19	19	-	38	37	75
小計	36	120	0	156	96	252
内水面	-	-	23	23	2	25
県計	36	120	23	179	98	277

注) 1. 海面第3種共同漁業権については、つきいそ以外は第1種・第2種の欄に含めてある。
2. 2022年1月1日現在の件数である。

資料: 県水産課調べ

14 遊漁船業者登録件数(2021年3月31日現在)

地区	尾張・名古屋市	海部	知多	西三河	東三河	その他	計
遊漁船業者数 (うち漁協所属業者数)	35 (0)	13 (1)	167 (149)	33 (12)	28 (16)	5 (0)	281 (178)
遊漁船隻数 (うち漁船隻数)	38 (0)	16 (1)	215 (172)	46 (22)	33 (20)	5 (0)	353 (215)

注) その他は、豊田加茂地区、新城設楽地区の合計

資料: 県水産課調べ

15 漁家経済

(単位: 千円)

年	項目	事業所得	漁労外事業所得				漁労所得										
			漁労所得	漁労外事業所得	漁労外事業収入	漁労外事業支出	漁労収入	漁労支出									
								計	雇用労賃	漁船・漁具費	油費	種苗代	修繕費	販売手数料	減価償却費	その他支出	
漁船漁業	2015	3,101	3,002	99	170	71	13,066	10,064	2,379	1,192	1,647	-	985	676	707	2,478	
	2016	3,812	3,775	37	43	6	11,917	8,142	1,880	642	1,159	-	999	573	624	2,265	
	2017	3,423	3,142	281	419	138	10,031	6,889	1,966	503	895	1	498	552	670	1,804	
	2018	2,492	2,289	203	355	152	9,365	7,076	1,950	532	1,105	1	528	507	699	1,754	
	2019	3,232	2,995	237	379	142	11,288	8,293	2,013	627	1,330	1	685	662	805	2,170	
	2020	2,900	2,573	327	456	129	9,433	6,860	1,499	552	1,069	1	531	489	887	1,455	
のり養殖業	2015	8,519	7,751	768	1,556	788	21,883	14,132	1,791	1,318	1,876	101	1,596	1,493	1,196	4,761	
	2016	8,283	8,227	56	486	430	21,784	13,557	2,103	1,606	1,173	164	1,167	1,417	1,469	4,458	
	2017	12,896	12,721	175	348	173	33,520	20,799	3,798	1,415	2,063	209	1,677	2,219	2,075	7,343	
	2018	9,130	9,021	109	297	188	30,611	21,590	3,650	2,215	2,454	194	2,004	1,996	2,397	6,680	
	2019	4,243	3,657	586	658	72	24,752	21,095	4,934	1,437	2,150	269	1,646	1,569	3,273	5,817	
	2020	14,482	14,500	△18	58	76	37,651	23,151	5,201	1,675	2,333	285	1,415	2,402	3,197	5,838	

注) 調査期間は、歴年(1~12月)。

資料: 漁業経営調査(農林水産省統計部)

漁船漁業は2016年以前は東海2県、17年以降は太平洋中区の数値である。

のり養殖業は東海2県の数値である。

16 漁業近代化資金利子補給承認状況

(単位：千円)

承認額	1号資金(漁船)		2号資金		3号資金		4号資金		5号資金		7号資金		共同利用施設					
	20t以上	20t未満	漁船漁具保管 修理施設等	漁場造成 器具等	漁具養殖 いかだ等	種苗購入等	大臣特認	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額			
年度	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
2015	48	1,131,910	-	-	26	351,160	6	67,840	4	14,200	-	-	9	123,500	-	-	3	575,210
2016	65	676,760	-	-	49	524,880	2	11,900	3	10,680	-	-	9	123,500	-	-	2	5,800
2017	66	1,000,700	-	-	38	348,930	6	82,850	7	26,640	-	-	10	153,500	-	-	5	388,780
2018	62	844,340	1	37,000	35	299,000	8	181,880	1	20,000	-	-	9	162,500	-	-	8	143,960
2019	67	768,540	-	-	40	359,870	3	22,480	4	18,300	-	-	12	252,500	-	-	8	115,390
2020	40	626,610	-	-	16	186,810	9	91,170	1	21,320	-	-	11	207,500	-	-	3	119,810
合計	348	5,048,860	1	37,000	204	2,070,650	34	458,120	20	111,140	-	-	60	1,023,000	-	-	29	1,348,950

資料：県水産課調べ

17 漁業振興資金融資状況

(単位：千円)

年度	件数	貸付額
2015	7	193,000
2016	6	184,500
2017	5	189,000
2018	6	199,000
2019	5	169,000
2020	4	169,000

資料：県水産課調べ

18 沿岸漁業改善資金融資状況

(単位：千円)

年度	合計				資金種類別内訳											
	年度内融資		年度末貸付残高		経営等改善資金				生活改善資金				青年漁業者等養成確保資金			
	件数	金額	件数	金額	年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高	
2014	0	0	38	277,676	-	-	33	231,676	-	-	-	-	-	-	5	46,000
2015	7	90,768	39	297,765	7	90,768	35	261,989	-	-	-	-	-	-	4	35,776
2016	2	23,360	37	245,840	2	23,360	33	218,286	-	-	-	-	-	-	4	27,554
2017	2	26,140	31	198,746	2	26,140	28	179,414	-	-	-	-	-	-	3	19,332
2018	4	40,800	27	176,103	4	40,800	25	162,993	-	-	-	-	-	-	2	13,110
2019	1	14,000	21	136,461	1	14,000	20	127,573	-	-	-	-	-	-	1	8,888
2020	0	0	16	95,235	-	-	15	88,569	-	-	-	-	-	-	1	6,666
合計	16	195,068	-	-	16	195,068	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：県水産課調べ

19 地域別海水動力漁船隻数

年	地 域	総数	5t未満	5～10t	10～15t	15t以上
2013	全 県	5,125	4,376	348	368	33
	海 部	51	51	-	-	-
	知 多	2,598	2,098	231	254	15
	西 三 河	1,274	1,115	64	88	7
	東 三 河	1,202	1,112	53	26	11
2014	全 県	4,965	4,240	331	364	30
	海 部	49	49	-	-	-
	知 多	2,522	2,033	222	253	14
	西 三 河	1,239	1,088	59	85	7
	東 三 河	1,155	1,070	50	26	9
2015	全 県	4,831	4,119	321	361	30
	海 部	46	46	-	-	-
	知 多	2,467	1,984	216	253	14
	西 三 河	1,198	1,054	58	80	6
	東 三 河	1,120	1,035	47	28	10
2016	全 県	4,680	3,971	319	361	29
	海 部	46	46	-	-	-
	知 多	2,423	1,942	215	252	14
	西 三 河	1,141	999	56	81	5
	東 三 河	1,070	984	48	28	10
2017	全 県	4,481	3,783	310	359	29
	海 部	43	43	-	-	-
	知 多	2,365	1,890	210	251	14
	西 三 河	1,040	903	52	80	5
	東 三 河	1,033	947	48	28	10
2018	全 県	4,282	3,596	304	354	28
	海 部	42	42	-	-	-
	知 多	2,301	1,827	209	250	15
	西 三 河	951	821	51	75	4
	東 三 河	988	906	44	29	9
2019	全 県	4,103	3,443	284	348	28
	海 部	37	37	-	-	-
	知 多	2,209	1,751	197	246	15
	西 三 河	903	775	50	74	4
	東 三 河	954	880	37	28	9
2020	全 県	3,905	3,295	239	344	27
	海 部	38	38	-	-	-
	知 多	2,099	1,662	176	247	14
	西 三 河	850	744	32	70	4
	東 三 河	918	851	31	27	9

資料：漁船統計表（水産庁）

20 海水動力漁船機関種類別隻数、トン数及び馬力数

年	機関種類	総 数			5トン未満			5トン以上		
		隻 数	ト ン	馬力数	隻 数	ト ン	馬力数	隻 数	ト ン	馬力数
2013	ジーゼル	1,776	11,812	299,728	1,027	3,316	106,478	749	8,495	193,250
	電気点火	3,349	2,798	179,081	3,349	2,798	179,081	-	-	-
	計	5,125	14,609	478,809	4,376	6,114	285,559	749	8,495	193,250
2014	ジーゼル	1,706	11,475	305,118	981	3,202	106,390	725	8,273	198,728
	電気点火	3,259	2,741	183,343	3,259	2,741	183,343	-	-	-
	計	4,965	14,216	488,461	4,240	5,943	289,733	725	8,273	198,728
2015	ジーゼル	1,652	11,230	310,771	940	3,077	108,264	712	8,153	202,507
	電気点火	3,179	2,692	185,715	3,179	2,692	185,715	-	-	-
	計	4,831	13,922	496,486	4,119	5,769	293,979	712	8,153	202,507
2016	ジーゼル	1,596	11,040	320,841	887	2,925	108,803	709	8,115	212,038
	電気点火	3,084	2,621	183,479	3,084	2,621	183,479	-	-	-
	計	4,680	13,661	504,320	3,971	5,546	292,282	709	8,115	212,038
2017	ジーゼル	1,535	10,824	327,749	837	2,788	108,953	698	8,036	218,796
	電気点火	2,946	2,522	177,778	2,946	2,522	177,778	-	-	-
	計	4,481	13,347	505,527	3,783	5,311	286,731	698	8,036	218,796
2018	ジーゼル	1,473	10,538	328,867	787	2,642	105,564	686	7,897	223,303
	電気点火	2,809	2,416	172,739	2,809	2,416	172,739	-	-	-
	計	4,282	12,954	501,606	3,596	5,057	278,303	686	7,897	223,303
2019	ジーゼル	1,394	10,136	329,239	734	2,459	102,651	660	7,677	226,588
	電気点火	2,709	2,342	169,236	2,709	2,342	169,236	-	-	-
	計	4,103	12,478	498,475	3,443	4,801	271,887	660	7,677	226,588
2020	ジーゼル	1,270	9,482	324,164	660	2,218	97,377	610	7,264	226,787
	電気点火	2,635	2,281	166,391	2,635	2,281	166,391	-	-	-
	計	3,905	11,763	490,555	3,295	4,499	263,768	610	7,264	226,787

注) 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

資料：漁船統計表（水産庁）

21 農林水産統計による漁船隻数

年	総 数	無動力船	船外機付船	動 力 船				
				計	3 t 未満	3 ~ 5 t	5 ~ 10 t	10 t 以上
2004	4,559	2	2,485	2,072	526	657	432	457
2005	4,339	2	2,334	2,003	482	650	420	451
2006	4,308	-	2,335	1,973	471	643	410	449
2008	4,426	17	2,621	1,788	406	581	382	419
2013	4,021	5	2,299	1,717	496	524	322	375
2018	3,154	1	1,900	1,253	248	382	271	352

資料：2006年以前は「稼働量調査」、08、13、18年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

注) 使用漁船（ただし運搬船、遊漁船は除く）

2007年以降は漁業センサス年次のみ公表となった。

Ⅲ 漁場と資源

22 海域におけるCODの経年変化

(単位：mg/ℓ)

水域区分	水域名	類型	地点名	75% 水質値						年平均値					
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
伊勢湾	名古屋港(甲)	C	○N-1	5.1	5.3	4.0	3.7	6.8	5.0	4.0	4.6	3.7	3.2	5.2	3.6
			○N-2	4.2	4.5	3.7	3.8	4.8	4.3	3.2	3.5	3.1	3.2	4.7	3.3
			○N-3	3.1	3.6	3.3	3.4	4.1	3.6	2.8	3.1	2.9	2.8	3.1	2.9
			N-10	3.8	3.6	4.3	3.6	4.6	3.7	3.6	3.3	3.7	3.1	4.3	3.2
			N-11	4.3	3.6	4.0	3.4	5.9	4.1	3.6	3.2	3.4	2.9	4.3	3.1
	名古屋港(乙)	B	○N-4	2.6	3.3	3.1	2.8	4.0	3.2	2.3	2.9	2.8	2.8	3.2	2.5
	常滑地先海域	B	○N-5	3.0	3.0	3.5	4.0	3.8	2.8	2.6	2.7	3.2	3.5	3.3	2.8
			N-12	2.9	2.3	5.0	3.5	3.2	2.7	2.5	2.2	3.5	3.0	2.8	2.5
	伊勢湾	A	○N-6	2.7	2.9	3.1	2.9	3.8	3.0	2.3	2.6	2.7	2.7	2.9	2.5
			○N-7	2.8	2.7	3.4	3.6	3.7	2.7	2.3	2.5	3.0	3.2	2.9	2.5
			○N-8	2.1	2.1	3.2	3.2	3.2	2.4	1.8	1.9	2.7	2.8	3.0	2.2
			○N-9	3.0	2.1	2.8	3.2	2.7	2.7	2.2	1.9	2.6	2.6	2.4	2.2
			N-13	2.5	2.2	2.5	3.2	2.6	2.4	2.1	2.0	2.4	2.8	2.4	2.1
衣浦湾	衣浦港	C	○K-1	4.5	3.4	4.3	5.0	4.8	4.4	3.8	3.0	3.9	4.3	4.1	3.6
	衣浦港南部	C	○K-2	4.4	3.3	4.6	5.2	5.6	4.9	3.6	3.1	4.1	4.5	4.4	3.7
			○K-3	4.6	4.2	4.0	3.9	4.6	3.9	3.4	3.2	3.7	3.9	3.9	3.2
	衣浦湾	A	○K-4	3.5	3.0	3.6	3.9	4.5	3.4	2.9	2.6	3.3	3.5	3.5	2.9
			○K-5	2.7	2.3	2.7	3.0	3.4	2.8	2.2	2.2	2.5	2.8	2.9	2.3
			○K-6	2.8	2.3	3.5	4.4	3.8	3.1	2.5	2.2	2.9	3.5	3.2	2.4
			K-7	3.0	2.6	3.2	4.3	4.1	3.6	2.7	2.4	3.0	3.5	3.3	2.8
			K-8	3.1	2.7	3.4	4.3	3.4	3.2	2.9	2.5	3.1	3.6	3.2	2.8
渥美湾	蒲郡地先海域	C	○A-1	4.5	3.3	4.6	5.1	4.5	3.2	3.9	3.1	4.1	4.2	3.6	3.1
			○A-2	4.4	3.6	5.1	6.4	5.6	4.0	5.4	3.5	4.7	5.0	4.5	3.9
	神野・田原地先海域	C	○A-3	6.7	6.3	6.6	4.8	4.3	5.3	5.9	5.3	5.0	4.0	3.8	5.0
			○A-4	4.7	4.1	4.6	4.8	4.0	3.8	4.1	3.6	4.2	4.4	3.8	3.5
			A-11	5.7	4.6	4.2	3.4	3.6	4.4	5.1	4.2	3.8	3.4	3.3	4.1
			A-12	5.8	5.0	4.4	3.4	3.5	4.5	5.6	4.1	4.2	3.1	2.9	4.1
	渥美湾(甲)	B	○A-5	4.2	3.1	4.0	3.9	3.9	3.3	3.5	2.8	3.6	3.7	3.6	3.0
			○A-6	4.2	3.4	4.7	4.7	4.3	3.6	3.9	3.3	4.1	4.3	3.8	3.3
			A-10	4.8	3.7	4.6	5.1	4.2	3.6	4.1	3.5	4.3	4.7	4.0	3.4
			A-13	5.7	5.1	4.9	4.0	4.5	4.5	5.4	4.4	4.5	4.0	3.6	4.3
	渥美湾(乙)	A	○A-7	3.7	3.5	3.8	4.4	3.9	3.1	3.4	3.1	3.6	4.0	3.6	2.9
			○A-8	3.7	3.0	3.7	4.2	3.2	2.8	3.0	2.6	3.3	3.5	3.0	2.6
			○A-9	3.8	3.3	3.7	4.4	3.4	3.2	3.3	2.9	3.5	3.7	3.3	2.9
			A-14	3.2	2.6	3.7	4.0	3.3	2.6	2.8	2.4	3.4	3.7	3.1	2.5

注) 1. 地点名の○印は環境基準地点である。

資料：公共用水域の水質調査（県環境局）

2. 75%水質値は、海域におけるCODの環境基準適合状況を判断するためのものである。

3. 各類型の基準値はA：2mg/ℓ以下、B：3mg/ℓ以下、C：8mg/ℓ以下である。

23 河川・湖沼における主要環境基準地点のBOD（COD）の経年変化

(単位：mg/ℓ)

河川名	地点名	環境基準	75% 水質値						年平均値					
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
木曾川	犬山橋	A. 2mg/ℓ	0.6	1.1	0.6	0.6	0.6	0.8	0.6	0.9	0.6	0.6	0.6	0.8
	濃尾大橋	A. 2 "	0.6	0.7	0.5	0.7	0.7	1.0	0.6	0.8	0.6	0.7	0.6	0.8
日光川	日光大橋	E.10 "	3.2	3.4	4.3	6.8	4.0	4.5	2.9	3.2	3.4	5.0	4.0	3.9
新川	萱津橋	E.10 "	3.0	3.4	3.5	5.0	3.8	3.7	2.7	3.0	3.5	3.3	4.6	3.6
五条川	待合橋	E.10 "	1.5	2.5	2.1	2.9	2.1	2.3	1.2	2.1	2.1	2.3	1.9	2.1
庄内川	枇杷島橋	D. 8 "	2.9	2.7	3.0	3.4	4.1	4.0	2.5	2.4	2.6	2.7	3.2	3.3
矢田川	大森橋	D. 8 "	5.7	7.5	5.1	7.6	7.4	4.9	4.9	5.5	5.0	5.9	5.3	4.2
荒子川	荒子川ポンプ所	E.10 "	5.8	4.7	5.4	8.9	5.9	7.2	4.8	4.4	4.9	6.7	5.9	5.5
中川	運東海橋	E.10 "	8.2	9.7	7.6	6.8	17.0	10.0	6.3	8.3	6.3	5.7	12.0	8.3
堀川	港新橋	D. 8 "	4.2	6.5	5.8	4.2	8.7	4.7	3.5	5.8	5.6	3.2	6.3	4.5
境川	境大橋	C. 5 "	2.2	2.3	2.6	2.5	1.7	1.6	2.7	2.1	2.1	2.2	1.5	1.8
逢妻川	境大橋	D. 8 "	3.0	2.8	3.0	2.4	1.8	2.2	3.1	2.0	2.4	2.2	1.5	2.0
矢作川	明治用水頭首工	A. 2 "	0.9	0.9	0.8	0.5	0.7	1.3	0.7	0.8	0.8	0.6	0.6	1.0
	米津大橋	B. 3 "	0.6	1.0	0.7	0.7	0.7	1.2	0.6	0.9	0.7	0.6	0.6	0.9
矢作古	古川頭首工	C. 5 "	1.7	1.6	1.6	1.5	1.0	1.2	1.4	1.5	1.1	1.3	0.9	1.0
豊川	江島橋	A. 2 "	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	1.1	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.8
	吉田大橋	B. 3 "	0.8	1.0	0.9	1.0	1.0	1.6	0.7	0.8	0.9	0.8	0.8	1.4
梅田川	御厩橋	C. 5 "	3.7	3.7	3.0	3.1	4.6	3.9	3.3	2.9	2.8	2.8	3.4	3.4
油ヶ淵	中央	B. 5 "	7.2	7.4	7.4	6.9	8.1	7.9	6.5	6.9	6.7	6.5	6.6	6.9

注) 油ヶ淵・中央については、CODの値である。

資料：公共用水域の水質調査（県環境局）

24 海域における全窒素・全磷の年平均値の経年変化

(単位：mg/ℓ)

水域名	類型	地点名	全窒素						全磷					
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
伊勢湾(イ)	IV	N-2	0.93	0.88	0.85	0.83	1.20	0.91	0.096	0.097	0.095	0.090	0.130	0.089
		N-3	0.60	0.60	0.60	0.54	0.53	0.61	0.066	0.073	0.069	0.060	0.061	0.065
		N-4	0.45	0.37	0.42	0.41	0.43	0.41	0.048	0.048	0.053	0.050	0.046	0.052
伊勢湾(ハ)	III	N-6	0.38	0.34	0.37	0.35	0.37	0.35	0.044	0.050	0.048	0.047	0.043	0.052
伊勢湾(ニ)	II	N-5	0.40	0.32	0.34	0.36	0.40	0.35	0.035	0.033	0.035	0.032	0.033	0.030
		N-7	0.37	0.28	0.34	0.37	0.39	0.33	0.032	0.027	0.032	0.038	0.025	0.023
		N-8	0.28	0.26	0.26	0.27	0.38	0.25	0.024	0.021	0.025	0.021	0.020	0.018
		N-9	0.26	0.26	0.30	0.29	0.32	0.27	0.022	0.016	0.023	0.018	0.016	0.017
		N-13	0.28	0.25	0.28	0.26	0.27	0.31	0.022	0.019	0.021	0.019	0.014	0.019
三河湾(イ)	IV	K-3	0.58	0.51	0.54	0.49	0.57	0.47	0.078	0.064	0.075	0.062	0.064	0.053
三河湾(ロ)	III	A-1	0.42	0.38	0.38	0.35	0.42	0.38	0.043	0.048	0.039	0.039	0.042	0.037
		A-4	0.56	0.46	0.47	0.53	0.68	0.51	0.061	0.052	0.049	0.066	0.075	0.057
		A-5	0.40	0.35	0.39	0.36	0.43	0.34	0.044	0.034	0.037	0.034	0.037	0.033
		A-6	0.44	0.40	0.41	0.41	0.46	0.38	0.049	0.048	0.040	0.042	0.044	0.040
三河湾(ハ)	II	K-4	0.37	0.41	0.38	0.35	0.40	0.33	0.042	0.042	0.041	0.033	0.036	0.032
		K-5	0.30	0.35	0.32	0.29	0.32	0.28	0.032	0.035	0.032	0.027	0.030	0.026
		K-6	0.28	0.27	0.31	0.32	0.35	0.32	0.029	0.026	0.026	0.028	0.027	0.023
		K-8	0.35	0.32	0.34	0.32	0.35	0.30	0.038	0.027	0.031	0.031	0.027	0.026
		A-7	0.36	0.33	0.38	0.34	0.36	0.37	0.035	0.030	0.032	0.032	0.029	0.029
		A-8	0.32	0.29	0.31	0.27	0.39	0.27	0.030	0.026	0.028	0.024	0.024	0.023
		A-9	0.32	0.31	0.35	0.30	0.33	0.41	0.033	0.028	0.032	0.027	0.028	0.034
		A-14	0.37	0.29	0.38	0.30	0.42	0.30	0.030	0.026	0.033	0.027	0.027	0.024

資料：公共用水域の水質調査（県環境局）

25-1 赤潮の経年変化（月別）

年度	月	月												県計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2015	件数	0	4	3	7	9	[2] 5	2	1	[1] 3	[1] 1	0	5	36 (36)
	日数	0	6	4	35	44	17	9	20	20	23	0	6	184 (184)
2016	件数	0	4	4	[1] 4	8	[1] 8	[3] 5	1	[1] 2	[1] 1	[1] 1	1	31 (31)
	日数	0	13	21	19	58	22	49	8	22	31	6	1	250 (250)
2017	件数	0	5	5	[3] 7	[4] 7	2	4	1	0	2	0	1	27 (27)
	日数	0	26	28	90	75	13	17	3	0	21	0	1	274 (274)
2018	件数	1	[1] 4	[1] 7	[1] 3	6	[1] 4	3	2	1	2	0	1	30 (30)
	日数	2	46	20	39	24	11	45	4	8	22	0	13	234 (234)
2019	件数	1	2	3	[2] 7	2	[1] 3	5	[2] 3	[1] 2	1	[1] 2	4	28 (28)
	日数	17	18	47	77	9	26	20	50	18	17	31	6	336 (336)
2020	件数	0	1	[1] 5	4	1	2	[1] 3	2	0	0	0	0	16 (16)
	日数	0	8	29	20	1	24	16	11	0	0	0	0	109 (109)
2021	件数	2	[1] 3	3	5	[1] 7	4	1	2	2	[1] 1	0	1	28 (28)
	日数	4	14	3	29	39	13	1	2	6	23	0	1	135 (135)

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

[]内の数字は前月から引き続いて発生した件数で内数
 ()内は渥美外海の発生件数を含む件数

25-2 赤潮の経年変化（水域別）

年度	水域	県計	水域区分		
			伊勢湾	知多湾	渥美湾
2015	件数	36 (36)	9	14	13
	日数	184 (184)	22	59	103
2016	件数	31 (31)	6	8	17
	日数	250 (250)	56	31	163
2017	件数	27 (27)	7	7	13
	日数	274 (274)	93	67	114
2018	件数	30 (30)	5	10	15
	日数	234 (234)	67	55	112
2019	件数	28 (28)	8	8	12
	日数	336 (336)	83	102	151
2020	件数	16 (16)	4	5	7
	日数	109 (109)	8	19	82
2021	件数	28 (28)	7	7	14
	日数	135 (135)	7	27	101

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

()内は渥美外海の発生件数を含む件数

25-3 苦潮発生状況とその漁業被害

年度	発生回数	水域区分			漁業被害
		伊勢湾	知多湾	渥美湾	
2014	2 (1)	0	0	2 (1)	定置網等の入網魚が一部衰弱
2015	4 (2)	0	0	4 (2)	魚介類の衰弱、一部の漁場であさり稚貝のへい死
2016	14 (5)	0	0	14 (5)	魚介類の衰弱、一部の漁場であさり稚貝のへい死
2017	5 (2)	0	0	5 (2)	魚介類の衰弱、一部の漁場であさり稚貝のへい死
2018	6 (2)	0	0	6 (2)	魚介類の衰弱、へい死
2019	2 (1)	0	0	2 (1)	一部の漁場であさり稚貝のへい死
2020	2 (1)	0	0	2 (1)	魚介類の衰弱、へい死
2021	2 (1)	0	0	2 (1)	一部の漁場であさり稚貝のへい死

資料：県水産試験場調べ

注) ()内は魚介類に影響が確認された件数（独立した発生地区ごとに1件とした）

26 漁港整備計画別事業費実績

(単位：千円)

	年度	水産基盤整備事業				農山漁村地域整備交付金					災害	県計
		流通	生産	機能保全	機能強化	漁村再生	漁港環境	漁集環境	水域環境	海岸	漁港・海岸	
第4次長計	2017	0	0	939,024	210,609	157,255	10,000	0	10,000	163,692	0	1,490,580
	2018	134,998	0	1,168,943	299,491	19,999	0	0	0	436,379	0	2,059,810
	2019	154,000	0	983,612	131,898	9,997	0	0	0	306,059	0	1,585,566
	2020	196,999	0	1,083,582	325,880	149,999	0	10,000	0	446,804	0	2,213,264
	2021	64,999	0	876,347	161,075	77,717				488,265		1,668,403
	計	550,996	0	5,051,508	1,128,953	414,967	10,000	10,000	10,000	1,841,199	0	9,017,623

繰越分の実績は予算が措置された年度に計上

資料：県水産課調べ

27 沿岸漁業構造改善事業等実績（国庫補助事業）

(1) 漁村コミュニティ基盤整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費＋県費	備考
産地水産業強化支援事業	2012～2013	渡船場上屋施設整備	1件	102,374	53,957	
水産業強化支援事業	2017～2018	渡船場上屋施設整備	1件	133,584	80,817	

資料：県水産課調べ

(2) のり養殖経営構造改善事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費＋県費	備考
産地水産業強化支援事業	2012～2016	のり共同加工場施設整備	1件	1,712,570	938,723	

資料：県水産課調べ

(3) 水産業競争力強化施設整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費＋県費	備考
水産業競争力強化緊急施設整備事業	2016～2021	鮮度保持施設整備	2件	925,200	462,600	

資料：県水産課調べ

(4) のり競争力強化対策事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費＋県費	備考
水産業強化支援事業	2017～2018	のり共同加工場施設整備	5件	237,575	142,304	

資料：県水産課調べ

(5) 水産業強化対策整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費＋県費	備考
水産業強化支援事業	2019～2021	鮮度保持施設	8件	1,343,821	935,049	

資料：県水産課調べ

(6) 水産業競争力強化施設緊急整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費＋県費	備考
地方創生臨時交付金	2020～2021	海水供給システム整備	1件	82,000	41,000	

資料：県水産課調べ

28 水産振興対策事業実績（県補助事業）

漁村活性化総合対策事業（2020年度）・漁業生産力強化総合対策事業（2021年度）実績

（金額単位：円）

年度	補助対象施設	事業主体	事業実施主体	事業内容	補助対象 事業費	負担区分	
						県費	その他
20	水産物荷さばき施設	南知多町	豊浜漁協	魚類移送機	8,890,000	4,445,000	4,445,000
		碧南市	大浜漁協	魚市場の電気設備改修	6,970,000	3,485,000	3,485,000
		西尾市	西三河漁協	照明（LED）取替	6,400,000	3,200,000	3,200,000
	水産物鮮度保持施設	蒲郡市	蒲郡漁協	製氷施設自動化	3,880,000	1,940,000	1,940,000
	漁業用作業保管施設	常滑市	鬼崎漁協	のり網脱水機	30,500,000	12,915,000	17,585,000
	運搬施設	南知多町	片名・日間賀島漁協	ウインチ、レール取替	5,230,000	2,615,000	2,615,000
			師崎漁協	フォークリフト	5,300,000	2,650,000	2,650,000
		碧南市	大浜漁協	軽トラック	1,670,000	835,000	835,000
		西尾市	西三河漁協	梶島渡り棧橋改修	1,269,887	634,000	635,887
	2020年度計					78,759,887	34,870,000
21	漁船保全修理施設	美浜町	美浜町漁協	ユニック付きトラック整備	1,800,000	900,000	900,000
		田原市	小中山漁協	船揚げ用ウインチ整備	6,850,000	3,425,000	3,425,000
	種苗生産施設	常滑市	鬼崎漁協	海水ポンプ整備	1,130,000	565,000	565,000
	燃料等補給施設	蒲郡市	蒲郡漁協	冷凍庫圧縮機取替	7,775,600	3,887,000	3,888,600
	漁場の耕耘・整地・浚渫	蒲郡市	蒲郡漁協	給油計量機取替	3,000,000	1,500,000	1,500,000
	水産物荷さばき施設	南知多町	師崎漁協	トラクター整備	2,914,500	1,457,000	1,457,500
		常滑市	鬼崎漁協	フィッシュポンプ更新	8,690,000	4,345,000	4,345,000
		西尾市	衣崎漁協	海水くみ上げポンプと配管の更新	6,991,210	3,495,000	3,496,210
		蒲郡市	蒲郡漁協	シャッター修理	2,900,000	1,450,000	1,450,000
		田原市	渥美漁協	市場支柱鋼製補強	3,900,000	1,950,000	1,950,000
		田原市	愛知外海漁協	海苔出荷場の屋根改修	2,550,000	1,275,000	1,275,000
	水産物鮮度保持施設	西尾市	衣崎漁協	トイレの改修	1,262,000	631,000	631,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	冷凍機更新、冷凍庫改良	19,600,000	7,418,000	12,182,000
	運搬施設	南知多町	豊浜漁協	冷凍庫、冷蔵庫更新	3,640,000	1,820,000	1,820,000
			師崎漁協	フォークリフト整備	1,870,000	935,000	935,000
			片名・日間賀島漁協	フォークリフト整備	1,620,000	810,000	810,000
		片名漁協	フォークリフト、トラック整備	3,674,327	1,837,000	1,837,327	
		片名漁協	棧橋改修	935,000	467,000	468,000	
		大井漁協	フォークリフト整備	2,170,000	1,085,000	1,085,000	
		美浜町	野間漁協	フォークリフト整備	1,980,000	990,000	990,000
	田原市	渥美漁協	軽自動車（バン）整備	867,773	433,000	434,773	
2021年度計					86,120,410	40,675,000	45,445,410

29 漁場整備事業実績

(1) あさりとさかな漁場総合整備事業（公共）

年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考				
							千円	千円	千円	千円	年度
第3次長計	2013~2016	11	19.9ha 10,301空m3	665,350	325,014	340,336	-	2013	愛知県海域・ 遠州灘	西尾、田原	高松西部、軍艦、 高松中部
第4次長計	2017~2021	11	24.9ha 6663.3空m3	882,906	431,296	451,610	-	2014	〃	西尾、田原	高松中部
								2015	〃	西尾、衣崎	
								2016	〃	西尾、衣崎	
								2017	愛知県海域	西尾、衣崎	
								2018	〃	衣崎、田原	
								2019	〃	西尾、田原	高松中部
								2020	〃	西尾、田原	
								2021	〃	西尾、田原	

資料：県水産課調べ

(2) 貝類増殖場造成事業（非公共）

年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
			千円	千円	千円	千円	
2019	1	1.2ha	29,983	13,967	16,016	-	衣崎地区

資料：県水産課調べ

(3) 貝類増殖場造成事業（公共）

年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考			
							千円	千円	千円	年度
第4次長計	2019~2021	6	6.5ha	171,738	83,325	88,413	-	2019	愛知県海域	幡豆、吉良
								2020	〃	吉田
								2021	〃	一色、幡豆、東幡豆

IV 漁業生産

30 漁業総生産

項目		年										
		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
生産量 (t)	海面	漁業	77,478	75,171	81,039	80,949	72,056	77,711	69,970	61,727	59,934	53,459
		養殖業	14,989	15,496	15,338	14,906	12,679	13,330	13,746	11,213	9,744	10,292
		計	92,467	90,667	96,377	95,855	84,735	91,041	83,716	72,940	69,678	63,751
	内水面	漁業	197	178	422	319	165	145	123	148	111	84
		養殖業	6,759	5,114	4,381	6,222	6,485	6,127	7,146	4,858	5,725	5,668
		計	6,956	5,292	4,803	6,541	6,650	6,272	7,269	5,006	5,836	5,752
	合計		99,423	95,959	101,180	102,396	91,385	97,313	90,985	77,946	75,514	69,503
きんぎょ (千尾)		15,646	13,504	11,802	9,195	8,527	8,495	5,987	6,745	6,547	5,496	
産出額 (百万円)	海面	漁業	16,171	18,502	16,504	16,735	17,975	14,406	12,632	17,297	15,873	13,123
		養殖業	4,084	4,453	3,670	4,525	3,950	4,488	5,105	3,587	3,516	2,856
		計	20,256	22,955	20,174	21,261	21,925	18,894	17,737	20,883	19,390	15,979
	内水面	漁業	397	386	508	441	322	328	330	311	262	217
		養殖業	15,246	13,778	12,876	16,480	17,641	19,157	21,531	17,750	21,236	19,256
		計	15,643	14,164	13,384	16,921	17,963	19,485	21,861	18,061	21,498	19,473
	合計		35,899	37,119	33,558	38,182	39,888	38,379	39,598	38,944	40,888	35,452
うち きんぎょ		683	666	587	512	461	430	333	324	271	321	

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）、県水産課調べ

注) 内水面漁業の生産量、きんぎょは県水産課調べ。
内水面漁業・養殖業の産出額は、県水産課が推計。
小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

31 主要市町別海面漁業・養殖業生産量 (2020年)

(単位：t)

区分		海面漁業	海面養殖業
市町			
県計		53,459	10,292
常滑市		x	x
美浜町		x	x
南知多町		32,570	3,317
知多計		33,066	8,540
碧南市		x	—
西尾市		x	1,071
刈谷市		x	—
西三河計		8,160	1,071
蒲郡市		x	x
豊橋市		x	—
田原市		9,281	x
東三河計		12,233	1,318

注) 海面漁業生産統計調査に係る調査票情報を元に集計した数値。

32 海面漁業種類別地域別漁獲量

(単位：t)

年	地域別	沖合底 びき網	小型底 びき網	まき網	刺網	釣	その他 はえ縄	小型 定置網	船びき 網 ばっち 網	採貝 採藻	その他 漁業	計
2011	県計	1,113	18,615	2,511	459	596	x	254	35,183	15,502	x	77,478
	知多	-	3,173	-	235	579	41	77	27,716	262	1,558	33,641
	西三河	-	x	2,511	x	3	x	64	6,183	4,623	x	x
	東三河	1,113	1,722	-	x	14	-	113	1,285	10,618	x	x
2012	県計	1,329	18,969	x	466	613	41	240	32,602	16,928	x	75,171
	知多	-	3,495	-	236	594	36	73	27,102	372	1,953	33,861
	西三河	-	13,873	x	x	4	5	51	4,405	6,124	x	x
	東三河	1,329	1,604	-	x	16	-	115	1,095	10,432	x	x
2013	県計	1,045	18,056	x	498	624	27	218	41,433	14,953	x	81,039
	知多	-	3,507	-	224	605	24	58	32,385	411	1,881	39,095
	西三河	-	13,427	x	198	2	2	53	7,535	5,670	x	x
	東三河	1,045	1,122	-	76	17	-	106	1,512	8,872	x	x
2014	県計	861	12,328	x	505	x	49	259	47,954	13,268	3,493	80,949
	知多	-	2,910	-	229	629	47	69	37,086	393	1,927	43,290
	西三河	-	8,354	x	235	1	2	51	9,584	4,644	x	x
	東三河	861	1,063	-	41	x	-	140	1,283	8,232	x	x
2015	県計	1,053	12,034	x	526	730	64	264	39,209	13,175	x	72,056
	知多	-	2,743	-	184	689	60	73	31,281	378	x	x
	西三河	-	8,127	x	268	2	2	46	6,756	3,737	x	x
	東三河	1,053	1,164	-	75	39	-	144	1,173	9,059	x	x
2016	県計	1,376	9,349	x	641	756	46	270	47,590	12,408	2,452	77,711
	知多	-	2,685	-	288	720	45	95	36,176	370	1,426	41,805
	西三河	-	5,641	x	x	1	1	42	9,991	1,909	x	x
	東三河	1,376	1,023	-	x	36	-	132	1,423	10,130	x	x
2017	県計	1,427	6,800	x	606	773	47	276	43,238	10,801	2,443	69,970
	知多	-	2,198	-	416	738	46	140	30,639	234	1,531	35,943
	西三河	-	3,718	x	x	1	1	17	11,257	351	x	x
	東三河	1,427	884	-	x	35	-	119	1,342	10,214	x	x
2018	県計	1,316	7,089	x	668	x	27	209	38,928	9,546	2,264	61,727
	知多	-	2,128	0	430	647	26	60	28,431	341	1,524	33,587
	西三河	-	3,937	x	x	x	0	19	9,667	445	x	x
	東三河	1,316	1,023	-	x	x	-	130	830	8,761	x	x
2019	県計	1,298	6,369	-	611	856	35	254	37,625		12,882	59,934
	知多	-	x	-	x	x	x	x	x		x	x
	西三河	-	x	-	x	x	x	x	x		x	x
	東三河	1,298	x	-	x	29	-	x	x		10,173	x
2020	県計	1,004	4,750	-	673	1,154	29	242	34,914		10,682	53,459
	知多	-	x	-	376	1,127	x	x	x		x	33,066
	西三河	-	x	-	x	x	x	x	x		x	8,160
	東三河	1,004	x	-	x	x	-	x	x		8,705	12,233

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）「採貝・採藻」は2019年より「その他漁業」に統合
2019年より海面漁業生産統計調査に係る調査票情報を集計した数値

33 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

年		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
魚類	このしろ	982	274	385	253	179	112	122	110	193	109
	まいわし	4,229	1,141	1,263	5,927	11,904	18,764	30,209	23,787	10,905	8,880
	かたくちいわし	17,404	15,168	28,829	27,386	14,848	22,570	11,246	8,684	13,510	15,955
	しらす	6,492	7,433	6,229	8,936	11,445	8,445	5,039	6,821	11,433	9,428
	まあじ	296	292	303	180	228	214	211	189	379	225
	むろあじ類	77	184	130	134	30	27	20	13	12	6
	さば類	120	166	168	314	208	208	228	74	328	219
	ぶり類	43	68	70	53	68	81	101	74	181	422
	さわら類	22	27	31	40	65	68	148	222	269	261
	いかなご	6,777	8,209	4,827	6,230	2,247	—	—	—	—	—
	ひらめ	135	167	112	133	186	182	176	214	227	205
	かれい類	836	675	611	627	603	391	341	337	333	309
	あなご類	415	413	313	456	351	319	269	254	233	128
	たちうお	43	47	17	38	49	60	46	66	55	67
	にぎす類	331	556	418	377	419	419	426	351	351	310
	まだい	260	247	219	325	419	551	595	483	651	629
	くろだい※1	306	324	319	409	414	351	356	278	279	260
	いさき	14	20	22	40	22	30	22	27	24	11
	すずき類	515	516	563	542	598	629	458	443	425	377
	とらふぐ※2	63	63	36	61	82	57	69	39	42	34
あおめえそ※2	451	427	351	307	399	460	381	341	341	324	
その他魚類	3,133	2,925	2,504	2,102	2,562	2,919	2,338	2,331	3,148	2,002	
計	42,944	39,342	47,720	54,870	47,326	56,857	52,801	45,138	43,319	40,161	
貝類	あさり類	16,703	17,562	16,063	10,563	8,282	3,973	1,635	2,741	3,880	1,602
	さざえ	63	40	46	47	62	71	83	65	42	50
	あわび類	1	3	4	2	2	2	2	1	1	1
	その他貝類	4,092	5,189	5,711	4,785	5,728	5,160	4,480	5,145	3,816	2,430
計	20,858	22,793	21,823	15,398	14,074	9,206	6,200	7,952	7,739	4,083	
水産動物類	するめいか	89	98	81	96	97	71	81	53	84	53
	その他いか類	724	847	783	947	586	559	630	441	499	412
	たこ類	673	604	702	280	414	594	346	157	520	380
	くるまえび	83	91	62	59	72	79	64	86	83	75
	よしえび※2	30	32	17	13	12	11	18	6	23	21
	その他えび類	1,530	694	652	714	731	764	365	829	356	465
	がざみ類	606	629	492	341	316	248	219	185	532	640
	その他かに類	48	56	34	39	48	41	47	79	80	94
	なまこ類※2	209	179	130	163	191	150	199	154	122	123
	しゃこ※2	414	377	205	323	266	216	103	216	104	67
その他水産動物類	26	58	82	44	68	99	45	167	105	176	
計	4,434	3,666	3,240	3,020	2,800	2,831	2,118	2,372	2,509	2,506	
藻類	9,242	9,370	8,256	7,661	7,856	8,817	8,851	6,265	6,367	6,709	
合計	77,478	75,171	81,039	80,949	72,056	77,711	69,970	61,727	59,934	53,459	

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

※1：「くろだい」は2018年以前は「くろだい・へだい」

※2：県調べの魚種（「なまこ類」は2018年以前は県調べ、2019年以降は国調べ）

34 海面漁業魚種別産出額

(単位：百万円)

年		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
魚	このしろ	38	19	30	21	20	15	21	24	22	15
	まいわし	237	120	153	356	631	901	1,297	897	502	414
	かたくちいわし	487	516	951	822	445	745	439	326	851	699
	しらす	2,571	4,400	2,155	3,592	5,219	3,724	2,786	6,746	5,185	4,582
	まあじ	174	198	225	138	148	163	151	138	107	49
	むろあじ類	12	15	12	12	3	5	4	3	2	1
	さば類	40	45	56	61	62	81	86	50	69	23
	ぶり類	38	53	38	35	47	53	52	39	130	195
	さわら類	21	21	29	32	52	59	125	201	204	192
	いかなご	583	624	816	910	510	-	-	-	-	-
	ひらめ	141	131	122	135	172	190	197	314	254	214
	かれい類	274	229	210	220	214	144	137	187	147	123
	あなご類	284	281	229	344	206	242	277	297	197	169
	たちうお	21	22	9	19	23	25	21	17	17	21
	にぎす類	81	90	75	83	84	82	85	67	79	66
	まだい	280	295	220	309	344	428	476	539	546	444
	くろだい・へだい	142	150	151	178	166	149	170	182	134	110
	いさき	24	33	29	38	24	34	23	22	12	6
	すずき類	309	311	303	296	313	323	264	231	236	166
	その他魚類	1,674	1,590	1,431	1,382	1,778	1,802	1,554	1,474	1,756	1,059
計	7,431	9,143	7,244	8,983	10,461	9,165	8,165	11,754	10,450	8,548	
貝類	あさり類	4,476	4,865	4,610	3,053	2,476	1,260	830	1,527	1,494	1,181
	さざえ	38	25	32	33	42	46	52	43	44	33
	あわび類	9	16	18	10	13	10	10	6	4	10
	その他貝類	1,706	2,091	2,427	2,508	2,841	1,739	1,659	1,930	1,755	1,179
	計	6,229	6,997	7,088	5,603	5,372	3,054	2,551	3,506	3,297	2,403
水産動物類	するめいか	21	25	21	26	27	22	26	23	30	28
	その他いか類	277	313	285	397	241	236	283	313	231	330
	たこ類	430	404	445	199	300	399	334	178	448	267
	くるまえび	336	325	269	263	370	436	380	345	362	298
	その他えび類	430	356	393	430	407	375	265	464	272	315
	がざみ類	445	400	337	278	241	203	183	155	369	487
	その他かに類	21	26	15	18	24	23	25	61	36	40
	その他水産動物類	478	439	334	454	461	388	278	316	206	219
計	2,437	2,287	2,106	2,072	2,071	2,081	1,774	1,855	1,954	1,984	
藻類	74	75	66	77	71	106	142	182	172	188	
合計	16,171	18,502	16,504	16,735	17,975	14,406	12,632	17,297	15,873	13,123	

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

35 海面漁業種類別魚種別漁獲量 (2020年)

(単位：t)

漁業種類 魚種	愛知県	うち、主な漁業種類							
		沖合底 びき網	小型底 びき網	船び き網	刺網	小 型 定置網	はえ縄	釣	その他 漁業
魚 類 計	40,161	875	2,683	34,613	504	222	29	1,131	95
さ め 類	5	-	5	-	-	-	-	-	-
こ の し ろ	109	-	4	9	25	71	-	0	0
ま い わ し	8,880	0	3	8,844	1	32	-	0	-
う る め い わ し	45	-	0	45	0	-	-	-	-
か た く ち い わ し	15,995	-	2	15,993	-	-	-	-	-
し ら す	9,428	-	-	9,428	-	-	-	-	-
ま あ じ	225	11	76	32	2	8	-	96	-
む ろ あ じ 類	6	-	5	0	0	0	-	1	-
さ ば 類	219	1	7	167	0	0	-	44	-
ぶ り 類	422	0	27	6	7	8	0	374	0
さ わ ら 類	261	-	64	2	148	0	0	40	-
ひ ら め	205	2	113	0	6	3	0	80	0
か れ い 類	309	7	247	-	47	6	-	2	0
あ な ご 類	128	9	60	-	4	0	-	-	55
た ち う お	67	1	31	5	0	0	-	30	0
に ぎ す 類	310	172	138	-	0	0	-	0	-
ま だ い	629	38	446	14	17	1	0	112	0
く ろ だ い	260	28	184	2	18	10	-	18	-
い さ き	11	-	4	-	0	0	-	6	-
す ず き 類	377	-	254	33	12	21	0	57	0
ふ ぐ 類	175	6	120	5	5	5	28	5	1
そ の 他 魚 類	2,095	600	893	28	212	57	1	266	39
貝 類 計	4,083	0	636	-	23	-	-	-	3,425
あ さ り 類	1,602	-	53	-	-	-	-	-	1,549
さ ざ え	50	-	-	-	21	-	-	-	29
あ わ び 類	1	-	-	-	0	-	-	-	1
そ の 他 貝 類	2,430	0	583	-	1	-	-	-	1,846
水産動物類計	2,506	129	1,431	301	146	20	-	23	453
す る め い か	53	21	32	-	-	-	-	-	-
そ の 他 い か 類	412	18	356	0	26	7	-	0	4
た こ 類	380	14	208	0	27	1	-	23	107
く る ま え び	75	-	62	-	13	0	-	-	0
そ の 他 え び 類	628	61	243	301	23	0	-	-	0
が ざ み 類	640	0	393	0	30	6	-	-	210
そ の 他 か に 類	94	14	37	-	24	5	-	-	14
な ま こ 類	123	0	37	-	1	-	-	-	84
う に 類	1	-	-	-	0	-	-	-	0
そ の 他 水 産 動 物 類	100	1	63	-	2	1	-	-	34
藻 類	6,709	-	0	-	-	-	-	-	6,709
合 計	53,459	1,004	4,750	34,914	673	242	29	1,154	10,682

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。
中・小型まき網、遠洋かつお一本釣、ひき縄釣は秘匿値のため含まない。

36 地域別のり生産枚数（暦年）

	地 域	生産量						産出額 (百万円)
		生換算重量 (単位：t)	板 の り				その他 生重量 (t)	
			生産枚数 (千枚)	くろのり (千枚)	まぜのり (千枚)	あおのり (千枚)		
2015	県 計	12,173	323,437	310,014	2,307	11,116	42	3,544
	知 多	10,439	277,268	277,268	—	—	42	—
	西三河	1,224	32,649	32,649	—	—	—	—
	東三河	510	13,520	97	2,307	11,116	—	—
2016	県 計	12,798	340,099	327,668	3,455	8,975	34	4,107
	知 多	10,961	291,375	x	x	—	34	—
	西三河	1,442	38,457	x	x	—	—	—
	東三河	396	10,266	108	1,183	8,975	—	—
2017	県 計	13,228	345,317	334,044	x	x	27	4,817
	知 多	11,312	300,933	x	x	—	27	—
	西三河	1,302	34,709	32,908	1,801	—	—	—
	東三河	615	9,675	x	1,905	x	—	—
2018	県 計	10,756	278,721	264,003	x	x	20	3,298
	知 多	8,820	234,658	x	x	—	20	—
	西三河	1,198	31,835	29,459	2,376	—	—	—
	東三河	739	12,228	x	3,583	x	—	—
2019	県 計	9,403	244,550	230,846	x	x	27	3,293
	知 多	7,588	201,616	x	x	—	27	—
	西三河	1,159	30,412	28,080	2,332	—	—	—
	東三河	657	12,522	x	3,067	x	—	—
2020	県 計	9,913	256,676	243,230	x	7,257	x	2,644
	知 多	8,294	220,836	x	x	—	x	—
	西三河	996	26,367	22,308	4,059	—	—	—
	東三河	623	9,473	x	2,061	7,257	—	—

注) 1月～12月

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

2003年からは、地域別の板のり生産額の統計データは公表されていない。

2019年より海面漁業生産統計調査に係る調査票情報を集計した数値。

37 地区別のり生産枚数（養殖年）

地区	年度	経営体数	養殖柵数（柵）			生産枚数（千枚）	生産金額（千円）	1経営体当たり			1柵当たり		100枚当たりの平均単価（円）
			支柱柵	浮流柵	計			柵数（柵）	生産枚数（千枚）	生産金額（千円）	生産枚数（枚）	生産金額（円）	
知多	2015	150	15,460	40,741	56,201	271,217	3,200,577	375	1,808	21,337	4,826	56,949	1,180
	2016	140	15,579	39,739	55,318	299,887	3,904,467	395	2,142	27,889	5,421	70,582	1,302
	2017	138	15,527	38,765	54,292	240,811	2,697,109	393	1,745	19,544	4,435	49,678	1,120
	2018	131	14,541	37,891	52,432	222,421	2,867,184	400	1,698	21,887	4,242	54,684	1,289
	2019	127	13,882	36,837	50,719	202,457	2,695,880	399	1,594	21,227	3,992	53,153	1,332
	2020	116	13,264	35,045	48,309	204,819	2,192,968	416	1,766	18,905	4,240	45,395	1,071
西三河	2015	21	6,552	0	6,552	34,900	477,380	312	1,662	22,732	5,327	72,860	1,368
	2016	21	6,578	0	6,578	37,678	571,658	313	1,794	27,222	5,728	86,905	1,517
	2017	19	6,006	0	6,006	32,854	458,037	316	1,729	24,107	5,470	76,263	1,394
	2018	18	5,620	0	5,620	30,990	479,503	312	1,722	26,639	5,514	85,321	1,547
	2019	18	5,818	0	5,818	24,359	372,003	323	1,353	20,667	4,187	63,940	1,527
	2020	19	5,630	0	5,630	28,804	370,472	296	1,516	19,499	5,116	65,803	1,286
東三河	2015	13	9,660	432	10,092	12,611	177,364	776	970	13,643	1,250	17,575	1,406
	2016	24	11,364	400	11,764	14,935	369,562	490	622	15,398	1,270	31,415	2,474
	2017	25	11,960	280	12,240	18,065	208,029	490	723	8,321	1,476	16,996	1,152
	2018	25	12,606	192	12,798	16,866	194,542	512	675	7,782	1,318	15,201	1,153
	2019	26	12,085	192	12,277	14,707	197,179	472	566	7,584	1,198	16,061	1,341
	2020	28	11,974	216	12,190	24,300	261,753	435	868	9,348	1,993	21,473	1,077
	2015	195	33,376	41,141	74,517	321,052	4,047,519	382	1,646	20,757	4,308	54,317	1,261
	2016	186	34,117	40,019	74,136	355,630	4,684,154	399	1,912	25,184	4,797	63,183	1,317
	2017	182	34,139	38,957	73,096	290,531	3,349,688	402	1,596	18,405	3,975	45,826	1,153
	2018	175	32,246	38,083	70,329	268,118	3,543,866	402	1,532	20,251	3,812	50,390	1,322
	2019	171	31,785	37,029	68,814	241,523	3,265,062	402	1,412	19,094	3,510	47,448	1,352
	2020	163	30,868	35,261	66,129	257,923	2,825,193	406	1,582	17,332	3,900	42,722	1,095

注) 年度は、11月から5月までとした。

生産は、黒生のり、青ばらのり、青生のりも板のり換算して含む。
経営体数は、黒のり及び青のり養殖者の合計。

資料：県水産課調べ

38 内水面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

魚種		年					
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
魚類	ます類	15	14	13	12	11	12
	あゆ	89	76	69	66	57	49
	こい	3	3	2	2	2	2
	ふな	5	5	5	3	3	2
	その他	4	3	2	2	2	2
貝類（しじみ）		49	44	32	63	35	17
その他水産動物類		0	0	0	0	0	0
計		165	145	123	148	111	84

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。資料：県水産課調べ
「貝類（しじみ）」は農林水産統計公表値による。

39 内水面漁業魚種別産出額

(単位：百万円)

魚種		年					
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
魚類	ます類	39	28	28	24	22	25
	あゆ	247	266	278	249	217	174
	こい	1	2	1	1	1	1
	ふな	2	3	3	2	1	1
	その他	5	3	4	4	4	4
貝類（しじみ）		28	26	19	32	17	10
その他水産動物類		0	0	0	0	0	0
計		322	328	330	311	262	215

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。資料：県水産課が全国平均単価をもとに推計

40 内水面養殖業魚種別収獲量

(単位：t)

魚種		年					
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
にじます		164	154	176	157	167	137
その他ます類		46	49	35	x	x	x
あゆ		1,160	1,182	1,156	1,220	1,171	1,189
こい		—	—	—	x	x	x
うなぎ		5,116	4,742	5,780	3,459	4,357	4,315
計		6,485	6,127	7,146	4,858	5,725	5,668

資料：内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

41 内水面養殖業魚種別産出額

(単位：百万円)

魚種		年					
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
にじます		116	130	155	149	150	129
その他ます類		68	76	55	x	x	x
あゆ		1,566	1,584	1,671	1,840	1,766	1,832
こい		—	—	—	x	x	x
うなぎ		14,778	16,298	19,195	15,330	18,927	16,975
きんぎょ		437	430	333	324	271	321
計		17,091	18,626	21,531	17,750	21,235	19,356

資料：県水産課が全国平均単価をもとに推計、水産課調べ

注) ます類、あゆ、うなぎは県水産課が全国平均単価をもとに推計（こい、その他食用を除く）。

きんぎょは水産課調べ、前年12月1日から当年11月30日までの集計値。

42 観賞魚養殖状況

魚種		年					
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
きんぎよ	経営体数	95	91	87	81	75	70
	養殖面積 (ha)	66	64	60	60	52	53
	販売量 (千尾)	8,527	8,495	5,987	6,745	6,547	5,496

資料：県水産課調べ

注) 年は前年12月1日から当年11月30日までを示す。

43 しらすうなぎ池入数量

(単位：kg)

地区		年度							
		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
県内産	海部	8	2	2	2	1	2	1	6
	碧海	4	11	92	66	16	0	7	19
	西三河	112	361	510	539	642	351	316	1,575
	東三河	5	89	31	23	134	21	68	265
	その他	...	0	0	0	0	0	0	0
	計	129	463	635	630	794	375	391	1,865
県外産	海部	31	61	45	52	53	16	32	41
	碧海	125	306	181	241	289	210	132	278
	西三河	817	2,453	2,412	2,217	2,475	1,313	655	1,631
	東三河	151	313	302	379	258	219	95	83
	その他	...	25	1	0	3	14	0	12
	計	1,123	3,158	2,941	2,889	3,078	1,773	914	2,044
外国産	海部	0	0	0	0	0	0	0	0
	碧海	127	133	45	71	66	72	126	70
	西三河	1,394	2,580	765	1,134	825	723	2,058	645
	東三河	32	45	0	0	0	18	76	25
	その他	...	0	34	28	30	0	30	16
	計	1,553	2,758	844	1,233	921	813	2,290	756
県計	海部	38	63	47	54	54	18	32	46
	碧海	256	450	318	378	371	282	265	367
	西三河	2,323	5,394	3,687	3,891	3,943	2,387	3,029	3,851
	東三河	188	447	333	401	392	258	239	372
	その他	...	25	35	28	33	14	30	28
	うち異種うなぎ	...	100	0	55	0	0	1	12
	計	2,805	6,378	4,420	4,752	4,793	2,960	3,595	4,665

資料：県水産課調べ

注) 2014年度からの年度表記は前年12月から当年5月とする。
 その他地区については、2014年度から調査実施。
 2014年度からは異種うなぎを含む数値。2013年度以前は不明。
 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

V 流通加工

44 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格

年 区分		2015	2016	2017	2018	2019	2020
		取扱数量	67,899	63,578	59,332	55,772	51,942
生鮮水産物	取扱金額	60,619	59,056	57,270	55,648	53,627	49,088
	平均価格	893	929	965	998	1,032	960
	取扱数量	23,728	22,466	20,344	20,573	19,334	19,020
冷凍水産物	取扱金額	28,325	27,209	27,103	27,122	25,836	23,717
	平均価格	1,194	1,211	1,332	1,318	1,336	1,247
	取扱数量	34,004	33,297	31,483	29,622	28,886	29,769
加工水産物	取扱金額	30,930	30,595	30,793	30,806	29,359	29,033
	平均価格	910	919	978	1,040	1,016	975
	取扱数量	14,594	14,062	13,550	13,184	13,490	11,864
加工食料品	取扱金額	7,773	7,730	7,570	7,535	7,440	7,663
	平均価格	533	550	559	572	551	646
	取扱数量	140,226	133,402	124,709	119,151	113,652	111,781
計	取扱金額	127,647	124,589	122,736	121,111	116,262	109,501
	平均価格	910	934	984	1,016	1,023	980

取扱数量：t
取扱金額：百万円
平均価格：円/kg

資料：名古屋市中央卸売市場年報（名古屋市）

45 水産加工品生産量

年 区 分		2015	2016	2017	2018	2019	2020
		ねり製品	16,958	18,601	13,531	13,989	17,051
かまぼこ類	16,958	18,601	13,531	13,989	17,051	21,903	
冷凍食品	11,264	10,626	10,982	11,806	10,110	…	
素干し品	48	64	34	146	3	…	
塩干し品	865	715	789	675	751	…	
煮干し品	7,067	5,099	2,601	4,032	5,058	…	
塩蔵品	2,584	2,644	2,612	3,537	3,271	…	
くん製	x	x	x	x	x	…	
節製	x	x	2,240	1,875	1,595	…	
その他食用加工品	10,819	10,444	10,534	9,573	9,312	…	
焼・味付のり（千枚）	682,003	670,112	654,121	643,732	682,147	664,198	
冷凍水産物	8,780	11,952	13,668	8,480	10,921	…	

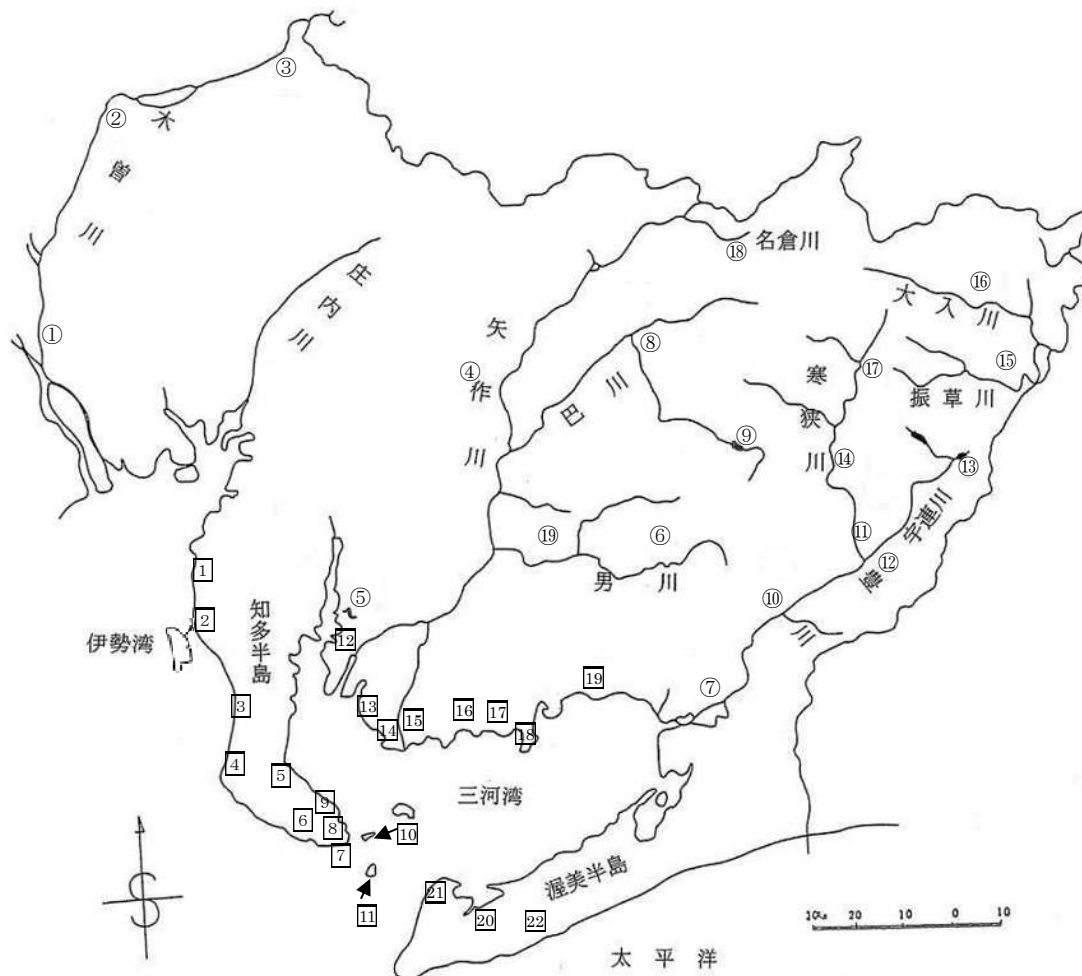
（単位：t）

資料：水産加工統計調査（農林水産省統計部）

※2020年は主産県調査となったため、かまぼこ類、焼・味付のり以外の加工品については調査未実施となった。

(付 属 資 料)

46 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図



沿海漁業協同組合

1	鬼崎	11	篠島	21	小中山
2	常滑	12	大濱	22	愛知外海
3	小鈴谷	13	西三河		
4	野間	14	衣崎		
5	美浜町	15	吉田		
6	豊浜	16	幡豆		
7	師崎	17	東幡豆		
8	片名	18	蒲郡		
9	大井	19	三谷		
10	日間賀島	20	渥美		

内水面漁業協同組合

①	立田	⑪	寒狭川下
②	木曾川	⑫	三輪川下
③	愛北	⑬	宇連川
④	矢作川	⑭	寒狭川中部
⑤	油ヶ渚	⑮	振草川
⑥	男川	⑯	大入川
⑦	下豊川	⑰	寒狭川上流
⑧	巴川	⑱	名倉川
⑨	三河湖	⑲	岡崎市
⑩	豊川上		

47 2021年度（2021年4月～2022年3月）の主な水産年譜

年 月 日	内 容
2021. 4. 1	第22期愛知海区漁業調整委員会委員選任
7. 10	金魚の学校（於碧南市・明石公園）
7. 24	金魚の学校（於岐阜県各務原市・オアシスパーク）
7. 30	少年少女水産教室（於蒲郡市・水産試験場）
9. 14	漁業士認定（於名古屋市・愛知県庁）
10. 9	金魚の学校（於蒲郡市・竹島水族館）
10. 23	水産試験場公開デー（於蒲郡市・水産試験場）
11. 4	「ウナギ雌化誘導方法、ウナギ飼育方法、ウナギ雌化剤、及び、ウナギ用飼料」の特許取得（特許6970992号）
11. 6～7	金魚の学校（於弥富市・海南こどもの国）
11. 18	山下三千男氏（愛知県漁業協同組合連合会代表理事長）県条列表彰
11. 24	愛知県の豊かな海の恵み「トラフグ」を知事にPR（於名古屋市・知事公館）
11. 27	第16回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える「碎石覆砂によるアサリ漁場造成」（WEB開催）
12. 22	愛知県漁連会長及び自民党愛知県議員団水産議員連盟会長による豊かな海の実現等に関する国への要請
2022. 2. 14	「ウナギ仔魚用乾燥飼料」の記者発表
2. 16	「新しい技術を用いた大きくておいしいウナギの試験生産に成功」知事にをPR（於名古屋市・知事公館）
2. 28～3. 11	令和3年度水産試験場研究発表会（WEB公開）

48 愛知県の水産業に関する地勢

項 目	数 量	出 典
海 岸 線 総 延 長	597 km	海岸統計 2020年度版（国土交通省河川局）
法 河 川 延 長	2,965km	県建設局（2021年4月1日現在）
伊 勢 湾 面 積	1,738 km ²	伊勢湾、三河湾及び東京湾の形態と汚染負荷（西条・宇野木、1979）
三 河 湾 面 積	604 km ²	

動向調査資料 No. 183 水産業の動き

2022年12月発行

愛知県農業水産局水産課

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1-2

電話 (052) 961-2111 (代表) 内線 3783・3786
(052) 954-6458 (ダイヤルイン)

FAX (052) 951-1645

E-mail suisan@pref.aichi.lg.jp

Home page <https://www.pref.aichi.jp/suisan/>



この用紙は、間伐材印刷用紙です。



あいちの四季の魚

